ユーザーズマニュアル

LaVie

このマニュアルの内容

まず、添付の『安全にお使いいただくために』をよくお読みください。このパソコンを使う上での重要な注意事項が記載されています。

PART1　使用前の準備

パソコンの接続とWindowsのセットアップを説明しています。
はじめて使用するときは、このPARTをご覧になりパソコンを使うための準備をしてください。また、購入時のソフトウェアのインストール状況や起動のしかたなども説明しています。

PART2　このパソコンの機能

このパソコンで利用できる機能や、別売の周辺機器を利用する場合の説明をしています。電子マニュアル「ぱそガイド」と合わせてお読みください。

PART3　再セットアップ

このパソコンのハードディスクをカスタマイズしたくなったときや、トラブルなどから復旧できず購入時の状態に戻したいときは、このPARTをご覧になり、再セットアップを行ってください。

PART4　トラブル解決Q＆A

パソコンを使っていて困ったことが起きたとき、故障かな？と思ったときは、このPARTをご覧ください。

PART5　付録

このパソコンの機能仕様やアフターケアに関する情報、サポート窓口の一覧などの情報を記載しています。

853-810601-199-A

凡例

記号

チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトウェアの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
メモ	利用の参考となる補足的な情報や、用語について説明しています。
参照	関連する情報が書かれている所を示しています。

モデル

◆ モデルの呼び方

LaVie J	LJ700を指します。
Windows XP Professionalモデル	Windows XP Professionalがあらかじめインストールされているモデルです。
Windows XP Home Editionモデル	Windows XP Home Editionがあらかじめインストールされているモデルです。
Office 2003モデル	Office Personal 2003があらかじめインストールされているモデルです。
DVD-RAM/R/RWモデル	外付DVD-RAM/R/RWドライブを添付しているモデルです。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	外付CD-R/RW with DVD-ROMドライブを添付しているモデルです。
トリプルワイヤレスLANモデル	5GHz(IEEE802.11a)と2.4GHz(IEEE802.11bおよびIEEE802.11g)に対応したワイヤレスLAN機能を搭載しているモデルです。
2.4GHzワイヤレスLANモデル	2.4GHz(IEEE802.11b)に対応したワイヤレスLAN機能を搭載しているモデルです。
ワイヤレスLANモデル	トリプルワイヤレスLANモデルと2.4GHzワイヤレスLANモデルの両方を指します。

853-810601-199-A
2003年11月　初版

◆ LaVie Gシリーズについて

LaVie Gシリーズの各モデルについては、添付の『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

記載内容

- 本文中に記載されているCD/DVDドライブは、DVD-RAM/R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれかを指します。
- 本文中に記載されているBIOSセットアップユーティリティは、画面上では「BIOS SETUP UTILITY」と表示されます。
- イラストや画面は、モデルによって異なることがあります。
- 本文中に記載の画面は、実際の画面と多少異なることがあります。

このマニュアルに出てくる基本的な操作

キーボードでの操作

キーボードでの操作は、【　】で囲んで記載しています。

記載例	意味
【F2】を押す	キーボードのF2を押すことを表しています。
【Ctrl】+【Alt】+【Del】	CtrlとAltを押しながら同時にDel SysRqを押すことを表しています。

「スタート」ボタンからの操作

Windowsの「スタート」ボタンから行う操作は、「　」で囲んで記載しています。

記載例	意味
「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」をクリックする	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを表しています。

「デバイス マネージャ」の開き方

次のようにするとデバイス マネージャを開くことができます。

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする

「コントロールパネル」が表示されます。

2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックする

「パフォーマンスとメンテナンス」が表示されます。

3 「システム」をクリックする

「システムのプロパティ」が表示されます。

4 「ハードウェア」タブをクリックする

5 「デバイス マネージャ」をクリックする

「デバイス マネージャ」が表示されます。

目　次

PART 1

PART 2

PART

1

使用前の準備

型番の確認／電源の接続

パソコンを起動する前に必要な準備をしてください。

チェック

- 接続の前に、必ず添付の『安全にお使いいただくために』をご覧ください。
- マニュアルどおりに正しい手順で接続してください。
- セットアップが終わるまでは、ACアダプタ、バッテリパック以外の添付品や、別売のプリンタ、増設メモリなどの周辺機器の取り付けは行わないでください。ACアダプタ、バッテリパック以外の添付品や別売の周辺機器は、Windowsのセットアップを完了させてから取り付けてください。

型番の確認

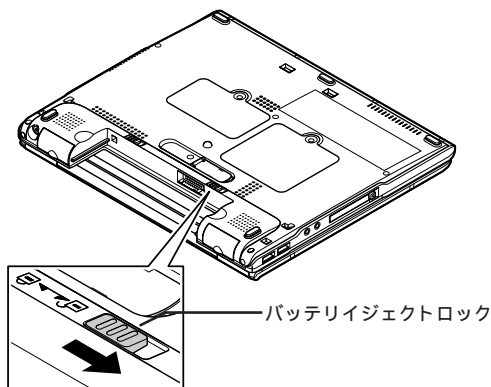
パソコンの底面に記載されている型番と製造番号が保証書の番号と合っているか確認してください。番号が異なる場合は、すぐにNEC121コンタクトセンターにお申し出ください。

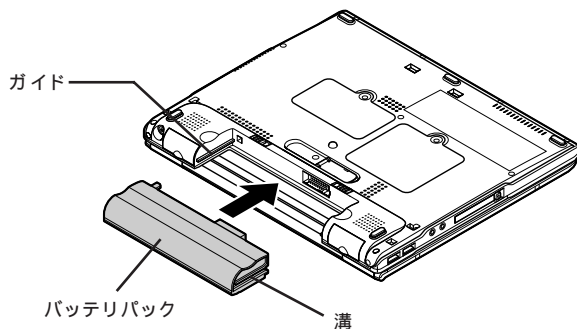
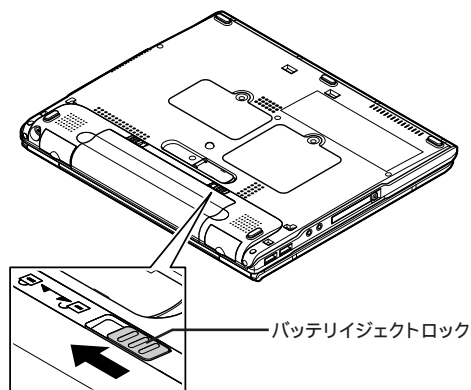
メモ

保証書は箱に貼付されています。

バッテリパックの接続

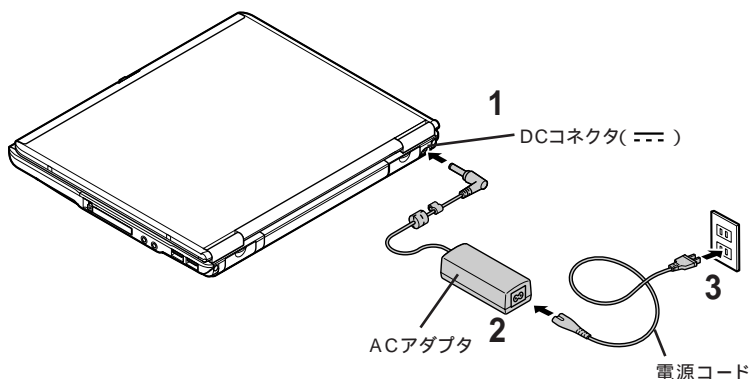
1 パソコンを裏返す

2 バッテリイジェクトロックを図の矢印の方向にスライドさせ、ロックを解除する

3 バッテリパックの両側の溝と本体のガイドを合わせて、図の矢印の方向にスライドさせ、カチッと音がするまでしっかり取り付ける

取り付けるときは、バッテリパックの向きに注意してください。

4 バッテリイジェクトロックを図の矢印の方向にスライドさせ、バッテリパックをロックする

ACアダプタの接続

1 **ACアダプタをDCコネクタ（⎓）に接続する**

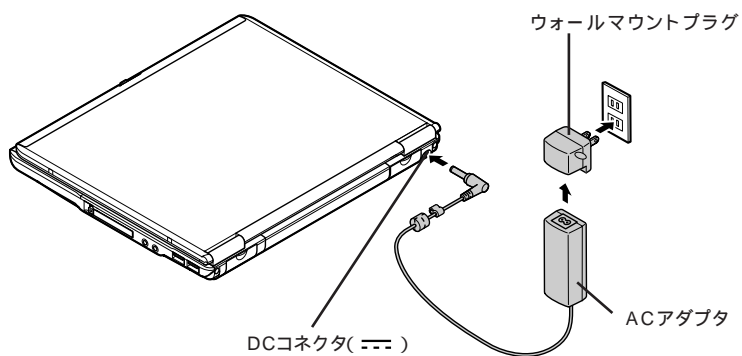
2 **電源コードをACアダプタに接続する**

3 **電源コードのプラグをACコンセントに差し込む**

プラグをACコンセントに差し込むとバッテリ充電ランプ（）がオレンジ色に点灯して、バッテリの充電がはじまります。
バッテリがフル充電されるとバッテリ充電ランプが消灯します。

チェック

- 購入直後は、バッテリ駆動ができなかったり動作時間が短くなることがあります。またバッテリ残量が正しく表示されない場合もあります。必ずバッテリをフル充電してから使用してください。
- バッテリ容量が95%以上のときにはランプが点灯せず、充電状態にならない場合があります。
- Windowsのセットアップが終わるまで、ACアダプタを抜かないでください。

■ ウォールマウントプラグ

電源コードの代わりにウォールマウントプラグを使うこともできます。

セットアップ

はじめてパソコンの電源を入れたときには、Windowsのセットアップの作業が必要です。
セットアップが終わらないとパソコンを使えるようになりません。この作業には全部で30分程度の時間がかかります(時間はモデルにより異なります)。

セットアップするときの注意

■ 途中で電源を切らない

セットアップの途中では絶対に電源を切らないでください。途中で電源スイッチを操作したり電源コードを抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、故障ではありません。あわてずに手順どおり作業してください。
万が一途中で電源を切ってしまった場合は、5秒以上待ってから、もう一度電源スイッチを操作し、そのままセットアップの作業を続けてください。その場合、正しくセットアップされていない可能性がありますので、セットアップ完了後に「PART3 再セットアップ」をご覧になり、標準再セットアップを行ってください。

■ セットアップ中はパソコンをそのまま放置しない

キー操作が必要な画面で、長時間放置しないでください。

■ NXパッドの使い方について

セットアップでは、NXパッドを使って画面のマウスポインタ( )を操作します。
NXパッドの使い方については、PART2の「ポインティングデバイス」(p.73)をご覧ください。

■ 画面について

セットアップ中に表示される画面は、モデルにより多少異なります。

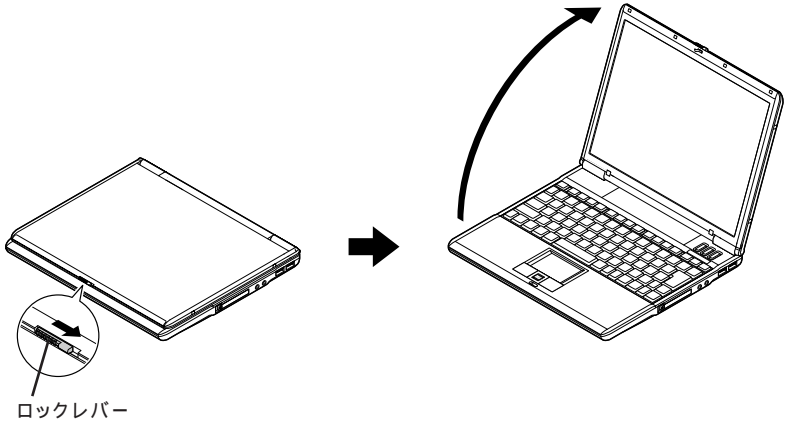
■ 電源を入れてもセットアップの画面が表示されないときは

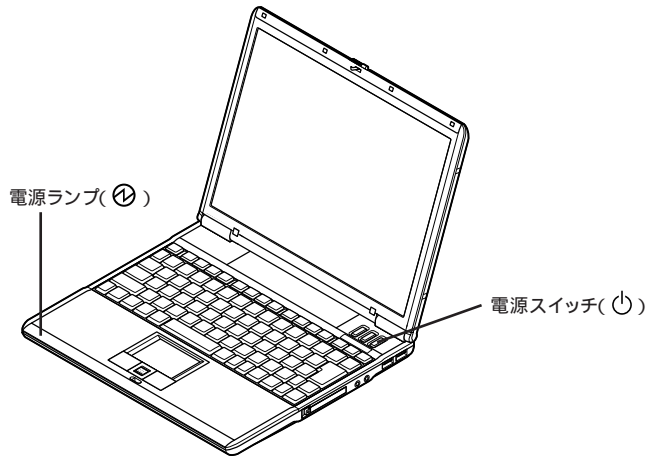
はじめて電源を入れたときにセットアップの画面が表示されない場合は、PART4の「電源を入れたが」(p.169)をご覧ください。

Windowsのセットアップ

セットアップをはじめる

1 パソコンのふたを開ける

ロックレバーを右にスライドさせたまま、ふたを持ち上げます。

2 電源を入れる

電源スイッチ(⏻)を押すと電源が入り、電源ランプ(Ø)が緑色に点灯します。

しばらくすると、画面に「NEC」のロゴが表示されます。
次の画面が表示されるまで、何も操作せずにお待ちください。

セットアップ中に困ったときは、ここをクリックするか、または【F1】を押して、表示された項目をクリックすると解決のしかたが表示されます。

- 上記の画面が表示される前にメッセージが表示される場合がありますが、異常ではありません。しばらくして上記の画面が表示されるまでお待ちください。
- 上記の画面が表示されない場合は、PART4の「電源を入れたが」(p.169)をご覧になり、作業を行ってください。
- これ以降は、セットアップが完了するまで、電源スイッチ(⏻)に触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因となります。

3 画面右下の➡(次へ)をクリックする

NXパッドの左ボタンを1回押す操作を「クリック」、左ボタンを続けて2回押す操作を「ダブルクリック」といいます。
NXパッドについて詳しくは、PART2の「ポインティングデバイス」(p.73)をご覧ください。

「使用許諾契約」の画面が表示されます。

使用許諾契約に同意する

このパソコンを使うには、「パソコンに入っているソフトを違法にコピーして他人に渡したりしない」という契約に同意していただく必要があります。

1 「使用許諾契約」の内容を確認する

▼をクリックすると続きを読むことができます。

2 記載内容に同意する場合は「同意します」の左にある○をクリックして◉にする

チェック

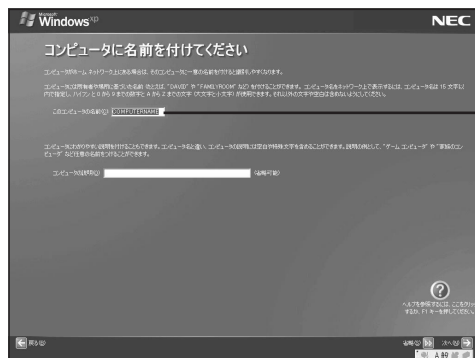
「同意しません」を選択した場合は、このパソコンを使うことはできません。

3 画面右下の➔（次へ）をクリックする

「コンピュータに名前を付けてください」の画面が表示されます。

コンピュータに名前を付ける

このパソコンをLANに接続して使う場合は、ここでコンピュータ名を入力しておくと便利です。入力する場合は、「このコンピュータの名前」欄に半角英数字で入力して、画面右下の➔（次へ）をクリックしてください。

特に必要ない場合は、この操作を省略することができます。入力を省略する場合は、画面右下の▷▷（省略）をクリックしてください。

コンピュータ名を入力する場合は、ここに半角英数字で入力する

セットアップ後にコンピュータ名を変更することもできます。
変更方法は、Windowsのヘルプで「コンピュータ名」のキーワードで検索し、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。

Windows XP Professionalモデルの場合は、次の「管理者パスワードの設定をする」に進んでください。
Windows XP Home Editionモデルの場合は、「インターネットに接続する方法を指定する」(p.11)に進んでください。

管理者パスワードの設定をする(Windows XP Professionalモデルのみ)

「管理者パスワードを設定してください」の画面が表示されます。
ここで、パソコンの管理者のパスワードを設定します。

1 「管理者パスワード」欄をクリックして、管理者パスワードを入力する

- パスワードには大文字／小文字の区別があります。
- パスワード欄に入力した文字は「●」で表示されます。
- パスワードは忘れないようにしてください。
- ここで入力したパスワードは、セットアップ完了後に変更することができます。変更方法は、Windowsのヘルプで「パスワード」をキーワードに検索し、「ユーザーのパスワードを変更する」をご覧ください。

2 「パスワードの確認入力」欄をクリックして、手順1と同じパスワードを入力する

3 画面右下の➡(次へ)をクリックする

「このコンピュータをドメインに参加させますか？」の画面が表示された場合は次の「ドメインの参加をキャンセルする」に進んでください。表示されない場合は「インターネットに接続する方法を指定する」(p.11)に進んでください。

ドメインの参加をキャンセルする(Windows XP Professionalモデルのみ)

1 「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません」の左が ◉ になっていることを確認する

2 画面右下の ➔ (次へ)をクリックする

コンピュータをドメインに参加させる場合は、セットアップ完了後に設定できます。設定方法は、Windowsのヘルプで「ドメイン」をキーワードに検索し、「ドメインに参加する」をご覧ください。

インターネットに接続する方法を指定する

「インターネット接続が選択されませんでした」の画面、または「インターネットに接続する方法を指定してください。」の画面のどちらかが表示される場合があります。

どちらの画面も表示されない場合は、次の「ユーザー登録をキャンセルする」に進んでください。

1 画面右下の ▷▷ (省略)をクリックする

インターネットへの接続は、セットアップ完了後に設定することができます。接続方法については、電子マニュアル「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「インターネットの設定」をご覧ください。

ユーザー登録をキャンセルする

モデルによって、「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」の画面が表示されない場合があります。その場合は、次の「インターネットアクセスのセットアップをキャンセルする」に進んでください。

1 「いいえ、今回はユーザー登録しません」の左にある◯をクリックして◉にする

2 画面右下の➡（次へ）をクリックする

ユーザー登録は、セットアップ完了後に「ユーザー登録ウィザード」で行ってください。「ユーザー登録ウィザード」については、Windowsのヘルプで「ユーザー登録」をキーワードに検索し、「オンラインユーザー登録を使用する」をご覧ください。

インターネットアクセスのセットアップをキャンセルする

モデルによって、「今すぐインターネット アクセスのセットアップを行いますか？」の画面が表示されない場合があります。その場合は、次の「コンピュータを使うユーザーを指定する」に進んでください。

1 「いいえ、今回はインターネットに接続しません」の左にある◯をクリックして◉にする

2 画面右下の➡（次へ）をクリックする

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」の画面が表示されます。

コンピュータを使うユーザーを指定する

1 「ユーザー1」欄にカーソルが点滅していることを確認し、名前を入力する

メモ

- ニューメリックロックキーランプ(🔒)が点灯している場合は、【Fn】を押しながら【Num Lk】を押してランプを消してから名前を入力してください。
- ユーザー2〜5は、ここでは入力しないでください。
- ユーザー名は、セットアップ完了後に変更したり追加したりできます。詳しくは、Windowsのヘルプで「アカウント」をキーワードに検索し、「ユーザーのアカウントの種類を変更する」または「ユーザーのグループまたはアカウントの種類を変更する」をご覧ください。

2 画面右下の➡(次へ)をクリックする

「設定が完了しました」と表示されます。

パソコンを使う準備をする

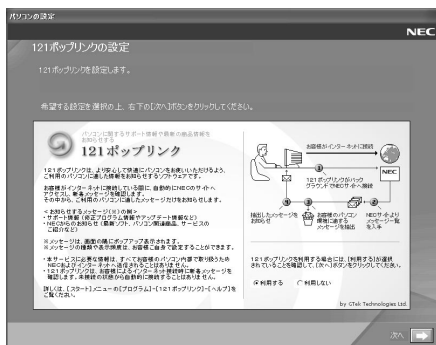
1 画面右下の (完了)をクリックする

Windowsが再起動し、「パソコンの診断が終了しました。」と表示されます。

メモ

パソコンの処理が行われている間は、画面に が表示されたり、ハードディスクアクセスランプ( )が点灯したりします。この間は何も操作せず、そのままお待ちください。

2 (次へ)をクリックする

次の画面が表示されます。

121ポップリンクを設定する

121ポップリンクは、お客様が安心して快適にパソコンをお使いいただくためのサービスを提供するソフトウェアです。
121ポップリンクを使用すると、お使いのパソコンについての最新情報がインターネットを通じて届くようになります。

参照

「121ポップリンク」について→電子マニュアル「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

1 「利用する」の左が◉になっていることを確認する

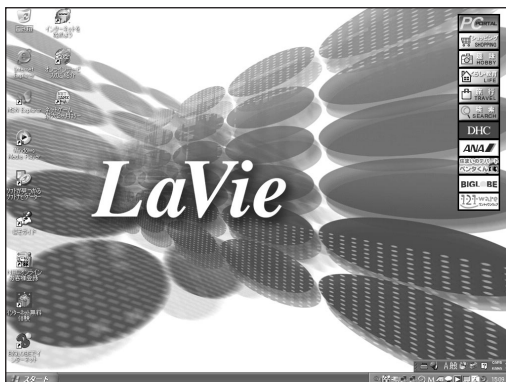
メモ

「利用する」を選ぶと、121ポップリンクがパソコンに常駐します。

2 ➡(次へ)をクリックする

「設定が完了しました。」という画面が表示されます。

3 ➡(完了)をクリックする

Windowsが再起動し、「システムの復元ポイントの設定」と表示されます。しばらくこの画面が表示された後、自動的に再起動します。再起動後、次のようなデスクトップ画面が表示されます。

これでセットアップは完了です。「お客様登録のご案内」(p.16)に進んでください。

お客様登録のご案内

登録料・会費無料
お客様登録はこれからパソコンをあんしん・快適にお使いいただく上で非常に重要です。お客様登録をしていただきますと、以下のさまざまなサービス・サポートをご提供いたします。

■電話サポート
電話で121コンタクトセンターに商品に関する技術的なお問い合わせができるようになります。

■インターネットサービス＆サポート
NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」で「ログインID」を取得していただきますと、ご登録商品に応じたサポート情報やサポートプログラム（ドライバ、モジュール）をいち早くご提供いたします。また、自動アップデートサービスでパソコンを常に最新の状態でお使いいただけます。

■メールサービス
ご利用製品のサポート情報、新商品情報（商品広告など含む）、お買い得情報、講習会やキャンペーンのご案内などをメールマガジンにてお届けいたします。
※携帯電話・FAXでのメールアドレスのご登録はご遠慮ください。

NEC121コンタクトセンターに技術的なお問い合わせをする際は、「お客様登録番号」が必要になります。「お客様登録番号」はインターネットで登録された場合、121ware.comのマイアカウントに表示されます。「NECオンラインお客様登録」または「FAX（お客様登録申込書）」で登録された場合は、Eメールまたは郵送でお知らせしています。

お客様登録の方法

「インターネット」による登録をおすすめします。

お客様登録をしながら、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」でさまざまなサービス＆サポートをご利用するための「ログインID」も同時に取得できます。

下記の方法からいずれかひとつをお選びください。

1. インターネットで登録する
   インターネットに接続して、NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」のマイアカウントから登録していただく方法です。
   http://121ware.com/my/　へアクセス
   詳しくは「お客様登録ガイド」をご覧ください。

2. 「NECオンラインお客様登録」で登録する※

   [ご注意]ISDN・ADSL・CATV・光ファイバー等の回線および携帯電話・PHSの接続では、オンライン登録できませんので他の方法で登録ください。

   専用のソフトウェア「NECオンラインお客様登録」を使って登録する方法です。登録はパソコン本体に内蔵のモデムと電話回線を使用してフリーコールで行われますので、インターネット接続環境をまだお持ちでない方もご利用できます。
   詳しくは「お客様登録ガイド」をご覧ください。

3. 「FAX（お客様登録申込書）」で登録する※
   商品に添付されている専用FAX用紙を使って登録する方法です。
   詳しくは「お客様登録申込書」をご覧ください。

※「NECオンラインお客様登録」または「FAX」で登録された方が121ware.comのサービスをご利用するには、Eメールまたは郵送でご連絡いたします「お客様登録番号」が届き次第、インターネットにてログインIDを取得していただくことになりますので、あらかじめご了承ください。

参照

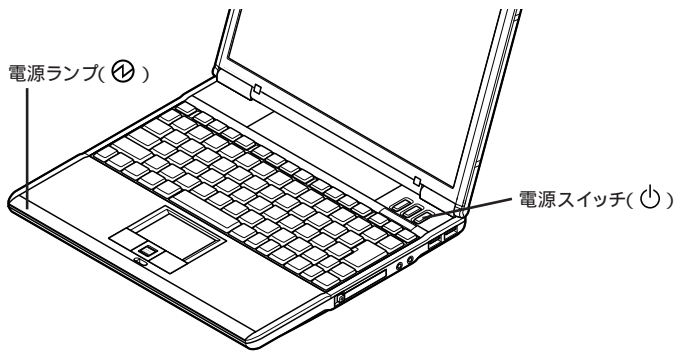
・「121ware.com」→『121wareガイドブック』
・インターネットに接続する方法→電子マニュアル「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「インターネットに接続する」

基本的な使い方

電源の入れ方／切り方

電源を入れる

1 電源スイッチ（⏻）を1秒くらい押す

電源が入り、電源ランプ（⏻）が緑色に点灯します。

電源を切る

1 「スタート」-「終了オプション」をクリックする

「コンピュータの電源を切る」が表示されます。

2 「電源を切る」をクリックする

パソコンの電源が自動的に切れ、電源ランプ（⏻）が消灯します。

チェック

電源を切ったあとに再度電源を入れなおすときは、電源ランプ（⏻）が消えて5秒以上たってから行ってください。電源を切ってすぐに電源を入れなおすとパソコンに負担がかかり、故障の原因になります。

省電力機能について

購入時の状態では、一定時間何も操作を行わなかった場合、自動的に画面が真っ暗になり、電源ランプ( )が点滅します。これは無駄な電力を使わないように、省電力機能が働いたためです。この場合、次の操作をすることで省電力状態になる前の状態に戻すことができます。

1 電源スイッチ( )を1秒くらい押す

電源が入ると、電源ランプ( )が点灯します。

省電力機能について詳しくは、PART2の「電源」の「省電力機能」(p.45)をご覧ください。

このパソコンに入っているソフトウェア

このパソコンには多くのソフトが用意されていますが、購入時の状態ではインストールされていないソフトがあります。必要に応じて、ソフトをインストールしてください。

「スタート」-「すべてのプログラム」をクリックすると表示されるメニューには、現在インストールされているソフトのみ表示されています。

● ソフトナビゲーター

ソフトのインストールやアンインストール作業は、「ソフトナビゲーター」を使って簡単にできるようになっています。ソフトナビゲーターでは、ソフトのインストール／アンインストールのほかに、現在ソフトがインストールされている状態なのかを確認することもできます。

■ おもなソフトウェア

○ ：インストール済み
△ ：ハードディスクに格納（インストールして利用）
▲ ：DVD-ROM 添付（添付の DVD-ROM からインストールして利用）
※ ：DVD-RAM/R/RW モデルのみ

分類		ソフトウェア名	LaVie J
基本OS		Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 1	○
		Microsoft® Windows Media™ Player 9.0	○
		Microsoft® DirectX® 9.0a	○
Java		Microsoft® Virtual Machine for Java™	○
日本語入力		Microsoft® IME 2002	○
		Microsoft® IME 2003	○
統合ビジネス プラットフォーム		Microsoft® Office Personal Edition 2003	
	日本語ワード プロセッサ	Microsoft® Office Word 2003	○
	統合型表計算ソフトウェア	Microsoft® Office Excel 2003	○
	電子メール・情報管理ソフトウェア	Microsoft® Office Outlook® 2003	○
	オフィス パワーアップツール	Microsoft® Office Home Style+	○
	オンラインサービス	Microsoft® Office Online	○
メニュー		ソフトナビゲーター	○
インターネット	インターネット体験	BIGLOBEインターネット無料体験	○
	プロバイダ入会・インターネット接続	BIGLOBEでインターネット	○
		DIONサインアッププログラム	○
		ODN (Open Data Network)	○
		So-net簡単スターター	○
		POINT　サインアップナビ	○
		OCNスタートパック	○
		@niftyでインターネット for Windows®	○
		かるがるネット	○
		光でつながるUSENのブロードバンド	○
		AOL 7.0 for Windows	○
	ホームページ閲覧	Microsoft® Internet Explorer 6.0 Service Pack 1	○
	ホームページ表示補助	BIGLOBEツールバー	○
		JWord Plugin	○
	ホームページ作成	ホームページミックス	△
	英日・日英翻訳	翻訳アダプタII CROSSROAD(Ver.3.0)	△

分類		ソフトウェア名	LaVie J
インターネット	インターネット テレビ電話	Microsoft® Windows Messenger Version4.7	○
		Fresh Voice	○
	インターネット電話	BIGLOBE IP電話	○
	インターネット 写真印刷	BIGLOBEフォトサービス	○
		百年プリント@コニカ(店頭受け取り)	○
	通信カラオケ	Victor Sound Café	○
	ポータルサイト	PCポータル	○
		インターネットを始めよう	○
		オンラインサービスのご紹介	○
	ドット・ゲートサービス	ドット・ゲートサービス	○
		Webアルバム	○
		ライブフォト/ i	△
	通信環境切替	MobileOptimizer	○
地図		SmartExcursion	▲
携帯電話連携		携帯マスター10 for NEC	△
生活情報		パーソナルライフウィンドウ	○
画像表示・ 編集	ビデオ編集	Ulead® VideoStudio® 6 SE Basic	△
		DVD-MovieAlbumSE※	△
	マルチメディアファイル管理	SmartHobby	○
DVDコンテンツ作成		Ulead® DVD MovieWriter™ for NEC Ver.2	○
パソコン学習	パソコン操作レッスン	パソコンのいろはII	○
プレーヤ	DVDビデオ再生	InterVideo® WinDVD™ 4 for NEC (Dolby Headphone、Dolby Virtual Speaker機能搭載)	○
CD-R/CD-RW書き込み、DVD-R/DVD/RW書き込み		Sonic RecordNow DX	○
仮想CD/DVD作成		Virtual CD 7	△
DVD-RAM管理		DVD-RAM用ドライバーソフト※	△
ソフトウェア操作・サポート		ぱそガイド	○
サポート		CyberSupport for NEC	○
		121ポップリンク	○
パソコンの トラブル予防	ファイアウォールソフト	PCGATE Personal Ver2.1	○
	データバックアップ	バックアップ-NX(パソコン乗換機能付)	○
		再セットアップディスク作成ツール	○

分類		ソフトウェア名	LaVie J
パソコンの設定	キーボード設定	ワンタッチスタートボタンの設定	○
	ユーザー設定	ログオンアイコン作成ツール	○
	スクリーンセーバー	AquaReal LE	△
	デスクトップの設定	スタイルセレクター	○
	省電力設定	電源管理ユーティリティ	○
	世界時計	ワールドクロック	△
	ホームネットワーク構築・管理	ホームネットワークアシスタント	○
オンラインゲーム	RPG	Helbreath	○
	パズル	Gunbound	○
	対戦型ロボットシューティング	Epoch Online	○
	囲碁	Cyber 囲碁	○
電子文書表示		Adobe® Acrobat® Reader®	○

■ ソフトチョイス サービス対象ソフトウェア

○ :インストール済み
△ :ハードディスクに格納済み(インストールして利用)

分類	ソフトウェア名	LaVie J
はがき作成	筆王	○
	筆まめVer.13 ベーシック	△
	デジカメde!!年賀状Lite for NEC	△
	筆ぐるめ Ver.10 機能限定版(使用期間限定版)	△
画像表示・編集	蔵衛門10デジブック for NEC	○
	Ulead iPhotoExpress 4.0 SE デジカメWalker	△
	デジカメde!!同時プリント6　30日間使い放題版(使用期間限定版)	△
	Adobe Photoshop Album Mini	△
	デジカメNinja 2003EX(使用期間限定版)	△
	フォトペタ!体験版 for NEC(使用期間限定版)	△
交通情報検索	駅すぱあと	△
	乗換案内 時刻表対応版	△
ウイルス対策	McAfee VirusScan Online(使用期間限定版)	○
	Norton AntiVirus 2003(使用期間限定版)	△
	ウイルスバスター2003 リアルセキュリティ(使用期間限定版)	△
	V3 ウイルスブロック(使用期間限定版)	△
音楽編集・再生	BeatJam for NEC	○
	MUSICMATCH Jukebox 7 Basic(使用期間限定版)	△
	Audio Magic Studio Light	△
電子メール	Microsoft® Office Outlook® 2003	○
	Microsoft® Outlook® Express 6.0	○
	Shuriken Pro3体験版(使用期間限定版)	△
	Eudora 5.1-J(使用期間限定版)	△

参照

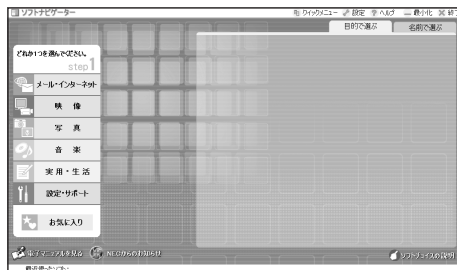
各ソフトの使い方→電子マニュアル「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」、または各ソフトのヘルプ

「ソフトナビゲーター」でソフトを起動

ソフトナビゲーターでソフトを起動することができます。選択したソフトがインストールされていない場合は、のアイコンで表示されています。アイコンをクリックすると、インストールできます。
インストール方法や注意事項については、電子マニュアル「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「アプリケーションの追加と削除」をご覧ください。

■ ソフトナビゲーターの使い方

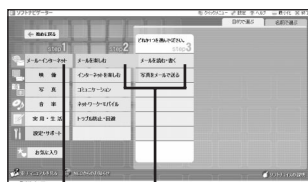
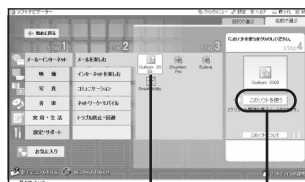
1 デスクトップの をダブルクリックする

ソフトナビゲーターが表示されます。

2 「目的で選ぶ」または「名前で選ぶ」のどちらかをクリックする

- 「目的で選ぶ」:やりたいことのジャンルと項目を選んでいくと、目的に合ったソフトが表示されます。
- 「名前で選ぶ」:やりたいことのジャンルを選ぶと、ソフト名が表示されます。起動したいソフトの名前がわかっているときは、こちらを選んでください。

目的で選ぶ　名前で選ぶ

3 ソフトを起動する

◆「目的で選ぶ」をクリックした場合

◆「名前で選ぶ」をクリックした場合

これで目的のソフトが起動します。

メモ

- 「名前で選ぶ」をクリックした場合は、③でソフトをダブルクリックして起動することもできます。
- ソフトナビゲーターの画面に表示される「このソフトについて」をクリックすると、表示されているソフトの詳細情報(電子マニュアル「ぱそガイド」の説明)を見ることができます。
- ソフトナビゲーターの画面は、よりすばやくソフトを起動させるための「クイックメニュー」に切り替えることもできます。詳しくは、ソフトナビゲーターのヘルプをご覧ください。

電子マニュアルの使い方

このパソコンには電子マニュアルが入っています。
電子マニュアルでは、ソフトの使い方、WindowsやBIOSの設定方法をはじめ、トラブル事例や基本操作用チュートリアルなど、幅広い内容を紹介しています。

ぱそガイド

「ぱそガイド」はこのパソコンの使い方を詳しく説明した電子マニュアルです。

■ 起動のしかた

デスクトップ上にある(ぱそガイド)アイコンをダブルクリックすると、ぱそガイドが表示されます。

●ぱそガイドの画面

アプリケーションの概要と使い方や、追加と削除のしかたについて説明しています。目的別／５０音別の両方でアプリケーションを検索できます。

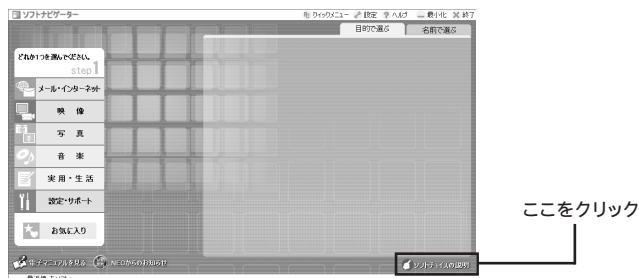
トラブル事例と解決方法をQ&A形式で紹介しています。

パソコンに関するさまざまな設定方法を詳しく説明しています。

「パソコンのいろはII」

「パソコンのいろはII」は、Windowsの基本操作を練習できるチュートリアルソフトです。「パソコンのいろはII」では、実際のソフトを操作しながら使い方を練習できます。また文字入力のしかたや、インターネット（Internet Explorer）、メール（Outlook Express）などの基本操作について学習できます。

ソフトチョイスについて

一つの目的に対して、複数のソフトを用意してあるのがソフトチョイスです。いろいろなソフトを実際に試してから、正式版を購入できます。
詳しくは、「ソフトナビゲーター」の「ソフトチョイスの説明」をクリックしてご覧ください。

他のパソコンからのデータの移動について

他のパソコンからこのパソコンへデータを移動したい場合は、「バックアップ-NX」や「Outlook Express」のインポート／エクスポート機能が便利です。
詳しくは、「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」-「移行ユーティリティ」をご覧ください。

省電力機能の設定

外出先で使用するときなど、バッテリを節約しながらパソコンを使いたいときには、あらかじめ省電力機能を設定しておくことをおすすめします。
省電力機能について詳しくは、PART2の「電源」の「節電するには」（p.44）をご覧ください。

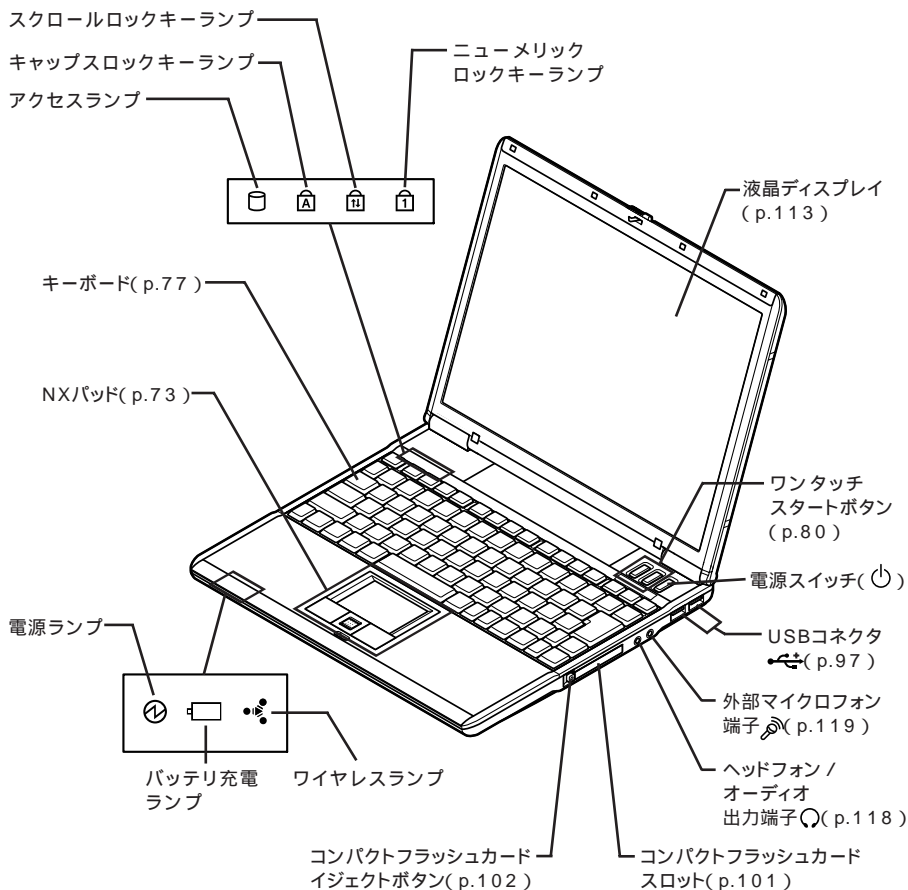
PART

2

このパソコンの機能

各部の名称と役割

お使いのモデルによって、各部の位置や形状が多少異なる場合があります。

本体前面／右側面

チェック

ワイヤレスLAN機能を搭載していないモデルにも、ワイヤレスLANランプ（ ）がありますが、ワイヤレスLAN機能は使用できません。

本体背面／左側面

LANコネクタ（p.53）

電話回線用モジュラーコネクタ（p.63）

外部CRT用コネクタ（p.115）

DCコネクタ（p.4）

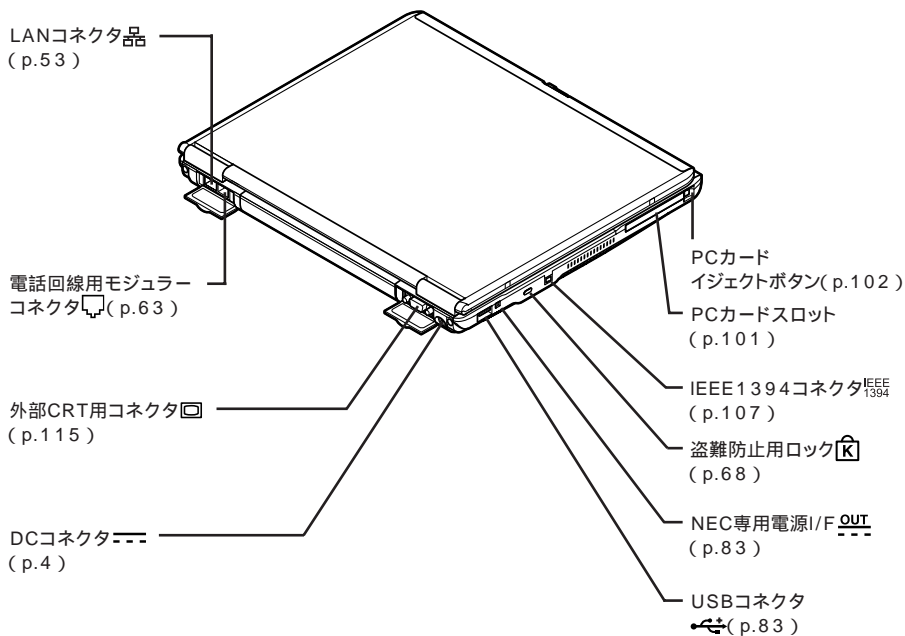
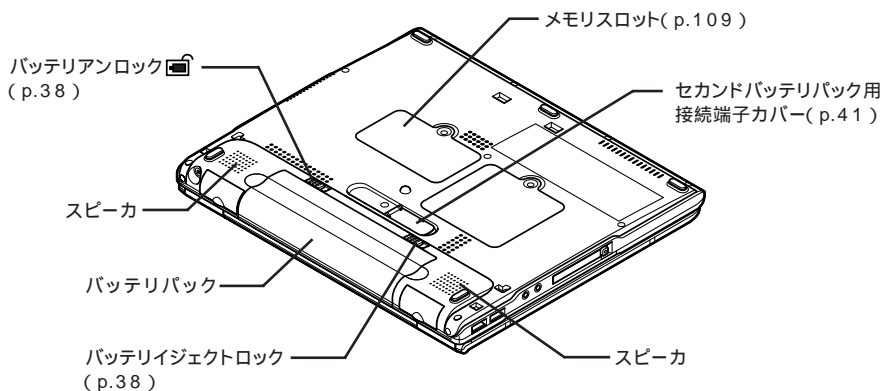
PCカードイジェクトボタン（p.102）

PCカードスロット（p.101）

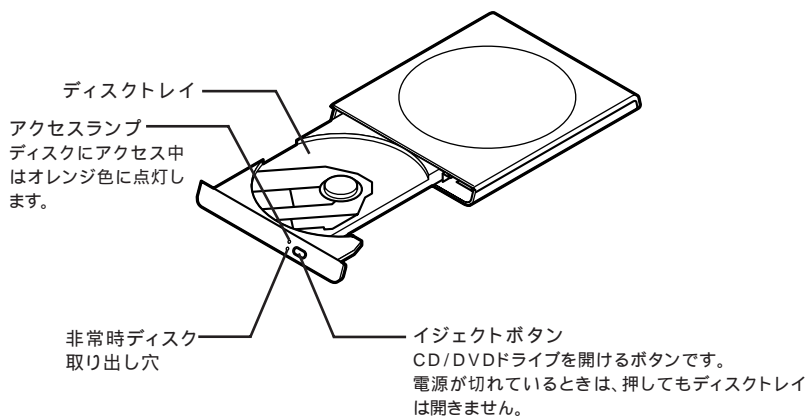
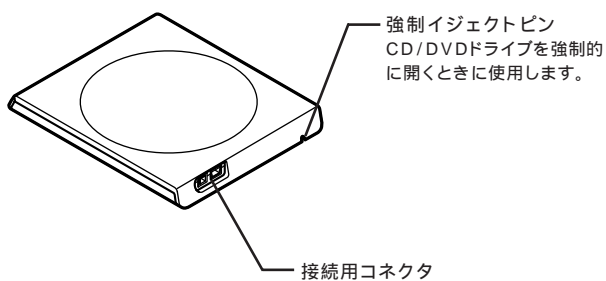
IEEE1394コネクタ（p.107）

盗難防止用ロック（p.68）

NEC専用電源I/F（p.83）

USBコネクタ（p.83）

本体底面

CD/DVDドライブ

接続のしかたや使い方などについて詳しくは、「CD/DVDドライブ」(p.82)をご覧ください。

■ 前面

■ 背面

電源

電源コードをACコンセントに接続しているときは、AC電源でパソコンは駆動しています。ACコンセントから電源コードを抜くとバッテリ駆動に切り替わります。

電源状態の確認方法

電源ランプ(⏻)(p.30)の色で電源の状態を確認できます。

ランプ		状態
緑	点灯	電源が入っている
	点滅	スタンバイ状態
黄色	点灯	バッテリ残量が少ない
	点滅	スタンバイ状態でバッテリ残量が少ない
オレンジ	点灯	バッテリ残量が残りわずか
	点滅	スタンバイ状態でバッテリ残量が残りわずか
消灯		電源が切れている、または休止状態

バッテリ駆動

ACアダプタをパソコンから取り外すと自動的にバッテリ駆動に切り替わります。
バッテリのみでの駆動時間は限られていますので、長時間使用するときは節電の機能を使用することをおすすめします(p.44)。
バッテリのみでの駆動時間については、PART5の「仕様一覧」(p.194)をご覧ください。

バッテリ残量の確認

バッテリのみで使用するときは、バッテリの残量に注意してください。バッテリの残量は、次の方法で確認できます。

■ 電源ランプで確認する

電源ランプ(⏻)の状態で、バッテリ残量を確認できます。緑は通常の状態ですが、黄色やオレンジの場合はバッテリ残量が少ない状態です。

■ 画面右下の通知領域で確認する

の上にポインタをあわせると、バッテリ残量が表示されます。また、をダブルクリックすると、バッテリについての詳しい情報が表示されます。

■「電源オプションのプロパティ」で確認する

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「パフォーマンスとメンテナンス」-「電源オプション」をクリックする

「電源オプションのプロパティ」が表示されます。

2 「電源メーター」タブをクリックする

バッテリの状態を確認できます。

バッテリの残量が少なくなったら

バッテリ残量が少なくなった場合は、次のどちらかの操作を行ってください。

● ACコンセントが使えないとき

使えるACコンセントが近くにない、ACアダプタを持ってきていないなどの理由で、すぐにACコンセントを使用できないときは、使用中のソフトを終了して、パソコンの電源を切ってください。

● ACコンセントが使えるとき

ACアダプタを持っていて、使えるACコンセントが近くにあるときは、パソコンにACアダプタを接続してコンセントから電源を供給してください。バッテリ充電ランプ()が点灯し、バッテリの充電がはじまります。

バッテリを充電しながらパソコンを使用することもできます。

上記の操作をしないで、バッテリ残量が少ないままバッテリのみで使用していると、再度バッテリ残量が少ないというメッセージが表示され、しばらくすると自動的に休止状態(p.48)になります。

フロッピーディスクやハードディスクの読み書き中にバッテリ残量がなくなり、パソコンの電源が切れると、作成中のデータや、フロッピーディスク、ハードディスクのデータが失われたり、壊れることがあります。

■ バッテリ残量が少なくなったときの動作の設定

バッテリでパソコンを使用中に、バッテリ残量が少なくなった場合や残りわずかになった場合のパソコンの動作を設定できます。
次の手順で設定してください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「パフォーマンスとメンテナンス」-「電源オプション」をクリックする

「電源オプションのプロパティ」が表示されます。

2 「アラーム」タブをクリックする

3 バッテリ残量が少ないとき（バッテリ低下アラーム）と、バッテリ残量が残りわずかなとき（バッテリ切れアラーム）の□が☑になっていることを確認する

□になっている場合、□になっているアラームは動作しません。

4 「アラームの動作」をクリックする

表示される画面で設定できます。

5 「OK」をクリックする

バッテリの充電

■ バッテリを充電するときの注意

・ バッテリの充電中は、バッテリパックをパソコンから取り外さないでください。ショートや接触不良の原因になります。
・ できるだけフル充電するようにしてください。バッテリ残量が少ない状態で少量の充放電を繰り返すと、バッテリ残量に誤差が生じることがあります。
・ 購入直後や長期間放置したバッテリは、必ずフル充電してから使用してください。

■ バッテリ充電のしかた

バッテリパックをパソコンに取り付けて、ACアダプタをACコンセントに接続してください。自動的にバッテリの充電がはじまります。
バッテリが充電中かどうかは、バッテリ充電ランプ（▭）で確認できます。

ランプ		状態
オレンジ	点灯	バッテリ充電中
	点滅	バッテリのエラー
緑	点灯	バッテリ充電中（セカンドバッテリパック増設時）※
	点滅	バッテリのエラー（セカンドバッテリパック増設時）※
消灯		ACアダプタが接続されていない、または充電完了

※セカンドバッテリパック添付モデルや別売のセカンドバッテリパックをご使用の場合

バッテリ充電ランプがオレンジ色に点滅しているときは、バッテリパックを取り付けなおしてください。

■ バッテリリフレッシュ

バッテリリフレッシュは、一時的に低下したバッテリの性能を回復させるために行います。次のようなときには、バッテリリフレッシュを実行してください。

- バッテリでの駆動時間が以前よりも短くなったとき
- 購入直後や、長期間の放置でバッテリの性能が一時的に低下したとき
- バッテリの残量表示に誤差が生じているとき

バッテリリフレッシュ→ＰＡＲＴ４の「バッテリ」の「すぐにバッテリ切れになってしまう」（p.１７９）

バッテリのみで長時間使用するには

バッテリパックは消耗品です。充放電を繰り返すと充電能力が低下します。

携帯して外に持ち出したときなどは、バッテリのみで使用することになります。上手に節電しながら使うことで、より長い時間バッテリのみで使用できるようになります。また、バッテリを増設することもできます。

■ 省電力機能を上手に使う

省電力機能を使うと、一定時間パソコンを操作しなかったときに自動的に消費電力を抑えることができます。操作しない時間が長く続いたときは自動的にパソコンの電源を切ることもできます。使い方にあわせて設定することで、バッテリ駆動時間を長くすることができます。

省電力機能を使う→「節電するには」（p.４４）

■ セカンドバッテリパックを増設する

バッテリスロットに取り付けるバッテリパックのほかに、セカンドバッテリパック（PC-VP-BP32）を増設することで駆動時間を長くすることができます。セカンドバッテリパックは本体底面に取り付けます。

参照

セカンドバッテリパックの増設→「セカンドバッテリを増設する」（p.40）

チェック

セカンドバッテリパックのみで使用することはできません。標準のバッテリパックを取り付けた状態でセカンドバッテリパックを取り付けてください。

バッテリパックの交換

■ 使用できる交換用バッテリパック

このパソコンのバッテリスロットに取り付けることのできる交換用のバッテリパックは、次の表のとおりです。

モデル名	品名	型番
LaVie J	バッテリパック	PC-VP-BP31

■ バッテリパックの交換をするときの注意

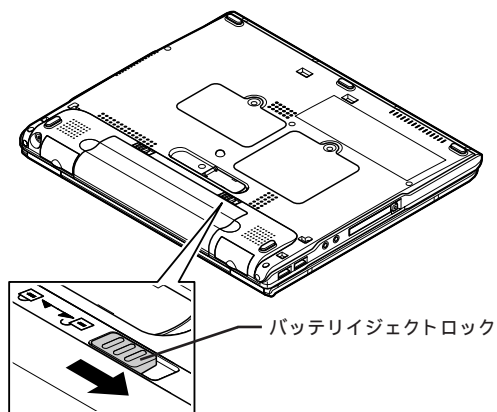
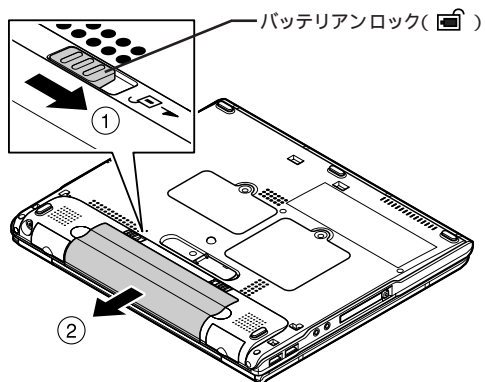
・バッテリパックの交換を行う際は、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
・バッテリやバッテリスロットの端子部分には絶対に触れないでください。接触不良の原因となります。
・休止状態またはスタンバイ状態のままでバッテリパックを交換しないでください。バッテリパックの交換を行うときは、休止状態またはスタンバイ状態を解除してパソコンの電源を切ってください。
・特に必要でない限り、バッテリパックを交換しないでください。故障の原因となります。

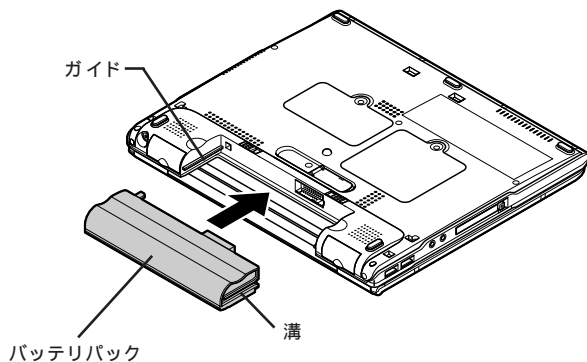
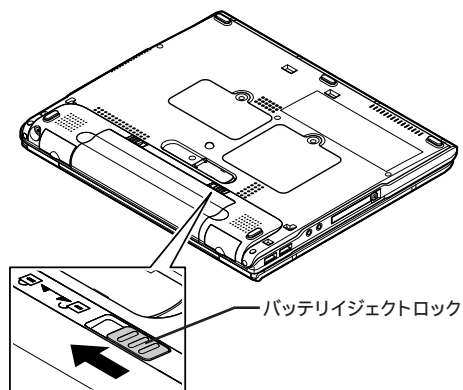
■ バッテリパックの交換のしかた

1 パソコンの電源を切る

2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いて、ACアダプタをパソコンから取り外す

3 液晶ディスプレイを閉じて、パソコンを裏返す

4 **バッテリイジェクトロックを図の矢印の方向にスライドさせ、ロックを解除する**

5 **バッテリアンロック（ ）を図の矢印の方向にスライドさせたまま、バッテリパックを外側にスライドさせて取り外す**

6 新しいバッテリパックの両側の溝と本体のガイドを合わせて、図の矢印の方向にスライドさせ、カチッと音がするまでしっかり取り付ける

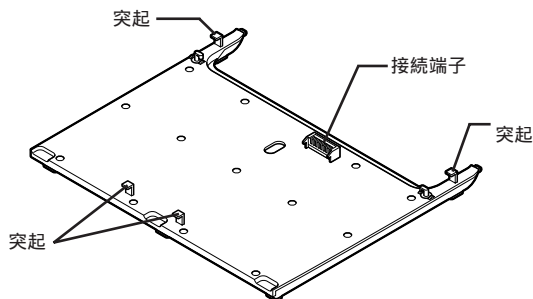
取り付けるときは、バッテリパックの向きに注意してください。

7 バッテリイジェクトロックを図の矢印の方向にスライドさせ、バッテリパックをロックする

セカンドバッテリパックを増設する

セカンドバッテリパックが添付のモデルや、別売のセカンドバッテリパックを購入された場合は、このパソコンにセカンドバッテリパックを取り付けて、バッテリ容量を増やすことができます。このパソコンで使用できるセカンドバッテリパックは次のとおりです。

モデル名	品名	型番
LaVie J	セカンドバッテリパック	PC-VP-BP32

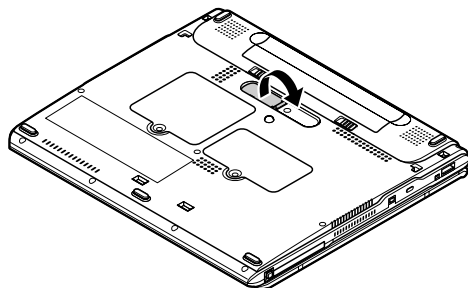
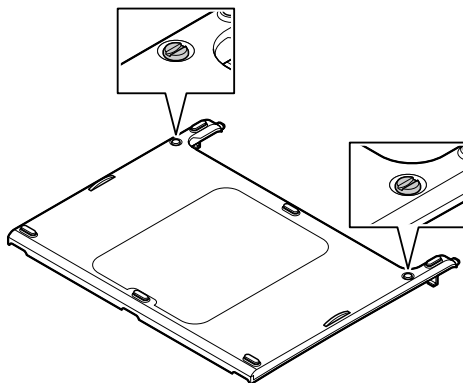
セカンドバッテリパックのみで使用することはできません。標準のバッテリパックを取り付けた状態でセカンドバッテリパックを取り付けてください。

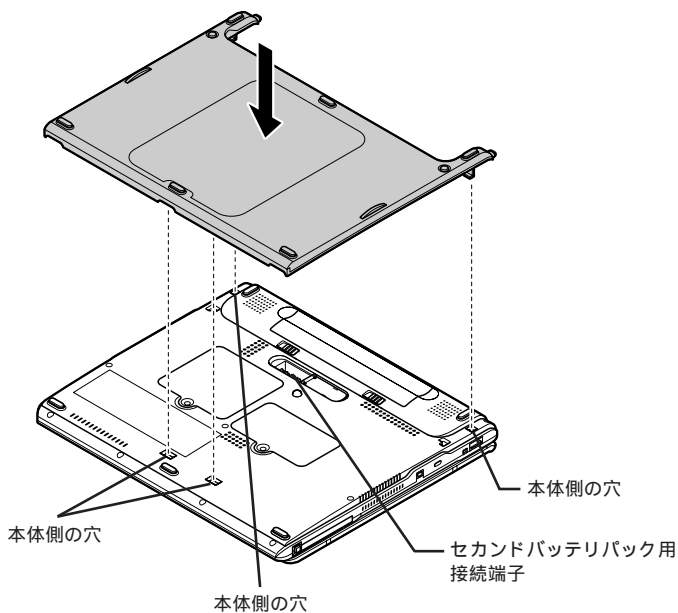
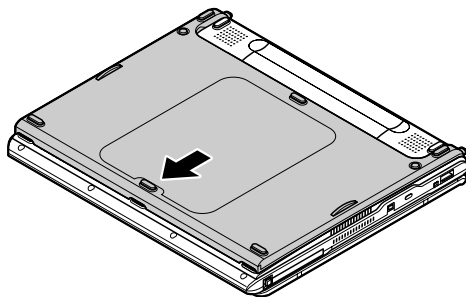
■セカンドバッテリパックを取り付ける

セカンドバッテリパックは、本体の底面に取り付けるバッテリパックです。必ず、バッテリスロットに取り付けたバッテリと併用してください。

1 **パソコンを使用中の場合は、電源を切る**

2 **電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本体から取り外す**

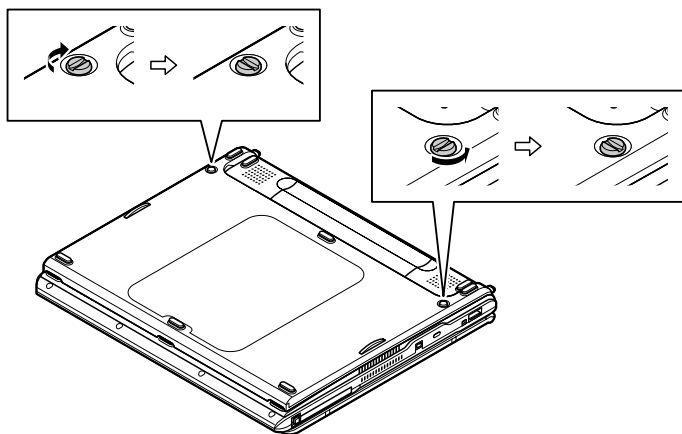
3 **液晶ディスプレイを閉じて、本体を裏返す**

4 **本体底面のセカンドバッテリパック用接続端子カバーを開く**

5 **セカンドバッテリパックのネジを硬貨などで緩め、イラストのような状態にする**

6 本体底面の上にセカンドバッテリパックを重ねる

セカンドバッテリパックの4カ所の突起（p.40）を、本体底面の4カ所の穴に合わせてはめ込んでください。

7 セカンドバッテリパックのみを図のように手前側にスライドさせて、本体底面のセカンドバッテリパック用接続端子とセカンドバッテリパック側の接続端子（p.40）を確実に接続する

チェック

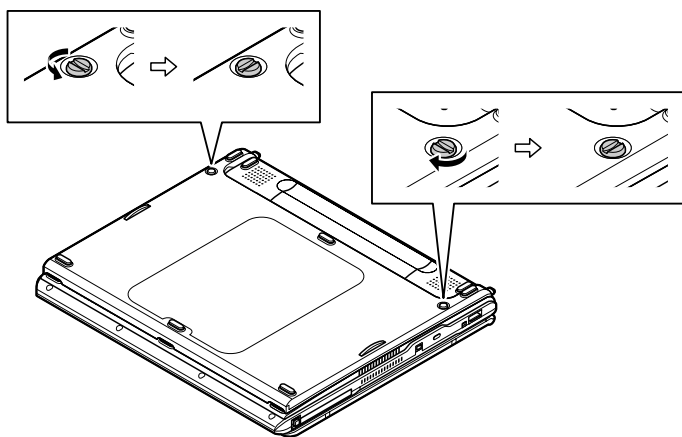
セカンドバッテリパックは最後まで確実にスライドさせてください。最後までスライドしていない状態でセカンドバッテリパックのネジを締めると、本体が破損する場合があります。

8 セカンドバッテリパックのネジを硬貨などで締めて固定する

ネジの○と、セカンドバッテリのの○が合う位置までネジを締めてください。

■セカンドバッテリパックを取り外す

1 「セカンドバッテリパックを取り付ける」(p.40)の手順1〜3を行う

2 セカンドバッテリパックのネジを硬貨などで緩める

ネジの○と、セカンドバッテリのの○が合う位置までネジを緩めてください。

3 **セカンドバッテリパックのみを奥側にスライドさせて、本体底面のセカンドバッテリパック用接続端子とセカンドバッテリパック側の接続端子(p.40)が外れたら、セカンドバッテリパックを持ち上げて取り外す**

4 **本体底面のセカンドバッテリパック用接続端子カバーを閉める**

節電するには

たとえばこんな節電方法

パソコンを外出先などに携帯したときは、いつでもACアダプタを使って電源をとれるとはかぎりません。バッテリだけで使用する機会が増えるはずです。しかし、バッテリで使用できる時間は限られています。限られたバッテリ容量を有効に使うためにも上手に節電しましょう。

■ 省電力機能を使う

何も操作をしないまま一定時間が経過すると、自動的にディスプレイやハードディスクの電源を切ったり、パソコン本体の電源を切って消費電力を節約する機能を省電力機能と呼びます。パソコンの電源を入れたまま放置してしまったときなどは、自動的に節電をはじめてくれるので便利な機能です。節電がはじまるまでの時間を設定したり、ボタンを押す操作などで節電をはじめるように設定することもできます。

参照

省電力機能の設定→「省電力機能」(p.45)

■ CPUの処理スピードを変更する

CPUの処理スピードを変更することで節電することもできます。スピードを上げると節電よりも性能優先となってパソコンの消費電力も大きくなります。処理スピードを控えめにすることで節電効果を得ることができます。

電源管理ユーティリティを使うと、CPUクロックの最高速度に対して現在どの程度の性能を出しているかを表示できます。また、設定の変更もできますので状況に応じて設定してください。

参照

「電源管理ユーティリティ」→「省電力機能の設定」(p.49)、または「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

■ ディスプレイの輝度を下げる

液晶ディスプレイの輝度を下げることでも節電効果はあります。使用環境によっては輝度を下げたほうが見やすかったり、ということもありますので、こまめに調整してみましょう。

参照

輝度の調整→このPARTの「表示機能」の「画面表示の調整」(p.113)

省電力機能

省電力状態とは

省電力機能によってパソコンが電力を節約している状態を、省電力状態と呼びます。省電力状態には、「スタンバイ状態」と「休止状態」があります。また、これらをまとめて「スリープ状態」と呼ぶ場合もあります。

● スタンバイ状態

パソコンの液晶ディスプレイやハードディスクなどの電源を切っている状態です。このときパソコンの電源は完全には切れていません。作業中のデータがメモリに保存されているため、わずかに電力を消費しますが、復帰した後すぐに作業の続きをはじめることができます。少しの間、作業を中断するときなどに便利です。

● 休止状態

パソコンの状態や作業中のデータをハードディスクに保存して、Windowsを終了せずにパソコンの電源を切っている状態です。休止状態を解除すると、休止状態にする前の状態から作業を続けることができます。Windowsを終了していないので、Windowsの起動にかかる時間は省かれます。ただしスタンバイ状態から復帰するよりも時間がかかります。長時間作業を中断するときなどに便利です。

メモ

ソフトによっては、スタンバイ状態のことを「サスペンド」、休止状態のことを「ハイバネーション」、省電力状態から復帰することを「レジューム」と呼ぶことがあります。

■ 省電力状態の確認

パソコンが省電力状態になっているかどうかは、電源ランプ(⏻)で確認できます。

ランプ	状態
緑点滅	スタンバイ状態
黄色点滅	スタンバイ状態でバッテリ残量が少ない
オレンジ点滅	スタンバイ状態でバッテリ残量が残りわずか
消灯	電源が切れている、または休止状態

■ 購入時の省電力機能の設定

一定時間何も操作を行わなかった場合、自動的に省電力状態になります。購入時には次のような時間に設定してあります。使用状況にあわせて設定を変更してください。

状態	ACアダプタ接続時	バッテリ駆動時
ディスプレイの電源が切れる	ー	2分後
ハードディスクの電源が切れる	ー	3分後
スタンバイ状態になる	20分後	5分後
休止状態になる	ー	15分後

参照

省電力機能の設定→「省電力機能の設定」(p.49)

省電力機能を利用するときの注意

- 次のようなときには、省電力機能を使用しないでください。パソコンが正常に動かなくなったり、正しく復帰できなくなることがあります。
  - ーハードディスクやフロッピーディスク、CD-ROMなどのディスクの読み書きをしているとき
  - ー省電力状態に対応していないソフトや周辺機器を使用しているとき
  - ー音声または動画ファイルを再生しているとき
  - ープリンタへ出力しているとき
  - ーLANまたはワイヤレスLANでファイルコピーなどの通信作業をしているとき
  - ー通信用のソフトを使用しているとき
  - ー電話回線を使って通信しているとき
  - ー「システムのプロパティ」の画面が表示されているとき
  - ーWindowsの起動/終了処理中
- NEC製プリンタのMultiWriterシリーズ、MultiImpactシリーズでPrintAgentをお使いの場合は、スタンバイ機能が正常に動作しないことがあります。その場合は、「省電力機能の設定」(p.49)をご覧になり、「システムスタンバイ」を「なし」に設定してください。

■ 省電力状態にするときの注意

・省電力状態への移行中にフロッピーディスクやCD-ROMなどのディスク、PCカードの入れ替えを行わないでください。
・省電力状態にする前に、フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクを取り出してください。
・省電力状態のときに、PCカードの入れ替えや周辺機器の取り付け／取り外しを行わないでください。
・休止状態を利用する場合、ハードディスクにパソコンのメモリ容量分の空き領域が必要です。あらかじめハードディスクの空き領域を確認してください。確認方法については、「ぱそガイド」-「トラブル解決」-「Step2 カテゴリー別Q&A」-「省電力機能」-「スタンバイ状態または休止状態にできない」をご覧ください。

■ 省電力状態から復帰するときの注意

・省電力状態から復帰するときにパスワードを入力するように設定している場合、パスワード入力画面が表示されるので、パスワードを入力してください。
・タイマ、LAN、FAXモデムの自動受信操作や、液晶ディスプレイを開いてスタンバイ状態から復帰した場合、液晶ディスプレイに何も表示されないことがあります。その場合は、NXパッドかキーボードを操作してください。
・省電力状態から復帰後、デバイスの警告メッセージが表示される場合があります。その場合は「OK」をクリックしてください。警告が発生したデバイスは、そのまま使用できます。
・省電力状態にしてからすぐに復帰させたいときは、パソコンに負担がかからないよう、省電力状態になった後、約5秒以上たってから操作してください。

省電力状態にする

■ スタンバイ状態にする

購入時の状態では、バッテリ駆動時に一定時間以上キーボードやNXパッドからの入力がないと、自動的にスタンバイ状態になります。
また、次の手順でスタンバイ状態にすることもできます。

1 **「スタート」-「終了オプション」をクリックする**

2 **「スタンバイ」をクリックする**

次の操作でスタンバイ状態になるように設定することもできます。

・ 電源スイッチを押す

・ 液晶ディスプレイを閉じる

省電力機能の設定→「省電力機能の設定」(p.49)

■ 休止状態にする

購入時の状態では、バッテリ駆動時に一定時間以上キーボードやNXパッドからの入力がないと、自動的に休止状態になります。
また、次の手順で休止状態にすることもできます。

1 「スタート」-「終了オプション」をクリックする

2 【Shift】を押したまま、「休止状態」をクリックする

【Shift】を押すと、「スタンバイ」が「休止状態」に切り替わります。

次の操作で休止状態になるように設定することもできます。

・ 電源スイッチを押す

・ 液晶ディスプレイを閉じる

省電力機能の設定→「省電力機能の設定」(p.49)

省電力状態から復帰する

■ スタンバイ状態から復帰する

スタンバイ状態から復帰するには、次の操作を行ってください。

1 電源スイッチを押す

ログオン画面が表示されます。

2 ログオンしたいユーザー名をクリックする

上記以外にも次の方法でスタンバイ状態から復帰できます。

● 液晶ディスプレイを開いて復帰する

液晶ディスプレイを閉じてスタンバイ状態にした場合は、液晶ディスプレイを開くとスタンバイ状態から復帰できます。

● タスクスケジューラを使って復帰する

タスクスケジューラを使い、時刻を指定して復帰できます。

参照

タスクスケジューラの使い方→Windowsのヘルプ

■ 休止状態から復帰する

休止状態から復帰するには、次の操作を行ってください。

1 電源スイッチを押す

「Windows を再開しています…」と表示された後、ログオン画面が表示されます。

2 ログオンしたいユーザー名をクリックする

休止状態にする前の状態でWindowsが起動します。

省電力機能の設定

「電源管理ユーティリティ」では、CPUの処理スピード優先かバッテリ駆動優先かの電源設定を切り替えたり、省電力機能が働くまでの時間を設定できます。パソコンの使用状況に合わせて選んでください。
また、スタンバイ状態や休止状態にする操作を設定することもできます。

チェック

省電力の設定を行う場合は、コンピュータの管理者権限を持つユーザアカウントでログオンしてください。

■電源設定を変更する

「電源管理ユーティリティ」は、パソコンのCPUクロックの最高速度に対する割合を表示します。画面右下の通知領域にあるを右クリックし、表示されるメニューから「復元」をクリックすると「電源管理ユーティリティ」ウィンドウが表示されます。

1 **「電源管理ユーティリティ」ウィンドウで右クリックし、表示されるメニューから「電源設定の変更」をクリックする**

2 **「パフォーマンスで選ぶ」または「利用シーンで選ぶ」から電源設定を選択し、「OK」をクリックする**

●パフォーマンスで選べる電源設定

電源設定	説明
バッテリの最大利用	これは電力を最も節約する設定です。
ポータブル/ ラップトップ	これは、コンピュータを主に外出先で使用し、電力の節約を優先する設定です。
LaVie	ACアダプタ接続時は速度優先で、バッテリ駆動時は電力を節約する電源設定です。
常にオン	これは、ネットワークからアクセスできるように、コンピュータを実行したままにしておく設定です。いかなるときもCPUを高速な状態に保ち、システムスタンバイは行いません。

●利用シーンで選べる電源設定

電源設定	説明
自分または会社の デスク	通常は電源に接続されている家庭のコンピュータ、または会社の机の上で使用するコンピュータに適した設定です。ACアダプタ、バッテリ駆動ともに高速な処理ができます。
プレゼンテーション	これは、プレゼンテーションを行うためにモニタをオンにしておく設定です。
最小の電源管理	これは、コンピュータを主に外出先で使用し、速度を優先する設定です。
音楽鑑賞	音楽鑑賞等、モニタの電源を短時間でオフにしてもよい場合に適した電源設定です。
ワープロ	文章の入力等、パフォーマンスを必要としない作業に適しています。
DVD/ゲーム	DVDやゲーム等、パフォーマンスが必要なアプリケーションを使用していて、モニタの電源を常にオンにしておく場合に適しています。

メモ

「電源管理ユーティリティ」ウィンドウのブーストボタンをクリックすると、電源状態（バッテリ駆動）や電源設定に関係なく、CPUの省電力設定を「高速」に設定できます。

参照

「電源管理ユーティリティ」→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

■ 省電力機能が働くまでの時間を設定する

1 「電源管理ユーティリティ」ウィンドウで右クリックし、表示されるメニューから「電源設定の変更」をクリックする

2 「カスタマイズ」をクリックする

3 次の項目について、時間を設定する

状態	説明
モニタの電源を切る	ここで指定した時間に何も入力がなかった場合は、液晶ディスプレイの電源が切れます。
ハードディスクの電源を切る	ここで指定した時間にハードディスクへのアクセスがなかった場合は、ハードディスクの電源が切れます。
システム スタンバイ	ここで指定した時間に何も入力がなかった場合は、自動的にパソコンがスタンバイ状態になります。
システム休止状態	ここで指定した時間に何も入力がなかった場合は、自動的にパソコンが休止状態になります。

4 「OK」をクリックし、次の画面でも「OK」をクリックする

メモ

電源設定はコントロールパネルからも設定できます。「スタート」-「コントロールパネル」-「パフォーマンスとメンテナンス」-「電源オプション」をクリックし、「電源設定」タブで設定します。

■ 休止状態やスタンバイ状態にする操作を設定する

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「パフォーマンスとメンテナンス」-「電源オプション」をクリックする

「電源オプションのプロパティ」が表示されます。

2 「詳細設定」タブをクリックする

3 「電源ボタン」欄で、それぞれの操作をしたときの動作を設定する

- 「ポータブル コンピュータを閉じたとき」
  パソコンの液晶ディスプレイを閉じたときの動作を選択します。
- 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」
  パソコンの電源スイッチを押したときの動作を選択します。

PART 2 このパソコンの機能

状態	説明
何もしない	その操作をしても、何もしません
入力を求める※	「コンピュータの電源を切る」の画面が表示されます。動作を決定してください。
スタンバイ	スタンバイ状態にします
休止状態	休止状態にします
シャットダウン※	Windowsを終了して、パソコンの電源を切ります

※:「コンピュータの電源ボタンを押したとき」のみ設定可能

休止状態を利用する場合は、「休止状態」タブをクリックして、「休止状態を有効にする」がになっていることを確認してください。

4 「適用」をクリックして、「OK」をクリックする

通信回線

LANで接続する場合

LANコネクタにADSLモデムやCATVモデムを接続してブロードバンドでインターネットに接続したり、ネットワークを作って複数のパソコンでプリンタやファイルを共有することができます。また、ブロードバンドルータを使用すると、複数のパソコンから同時にインターネットを使用できます。

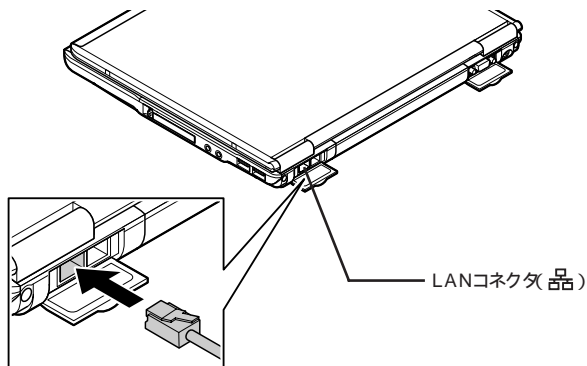
LANケーブルを接続する

■ 接続するときの注意

・LANケーブルは別売です。
・接続するLANや機器の規格にあったLANケーブルを用意してください。
・100BASE-TXでLANに接続するためには、カテゴリー5のLANケーブルが必要です。
・LANケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。目的によって使用するケーブルが違うので、購入の際は注意してください。
どちらのケーブルが必要かは、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。

■ 接続のしかた

1 パソコンの電源を切る

2 本体背面のカバーを開け、LANケーブルのプラグを向きに注意して、パソコンのLANコネクタ(品)に接続する

3 LANケーブルのもう一方のプラグを、ADSLモデムやハブなどの機器のLANコネクタに接続する

詳しくは、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。

ネットワークの設定

ADSLモデムやCATVモデム、ルータを使用してインターネットに接続するための設定については、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。
ネットワークの設定は、次の方法で行います。

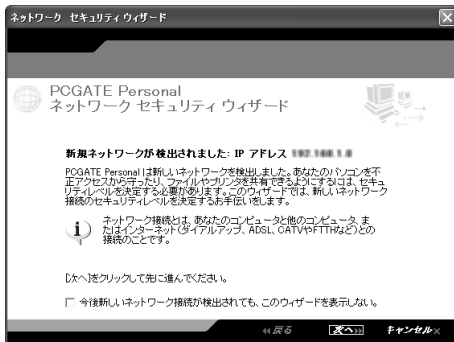
1 **「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット接続」-「ホームネットワークまたは小規模オフィスのネットワークをセットアップまたは変更する」をクリックする**

「ネットワークセットアップウィザード」が表示されます。

2 **画面の説明を読み、設定を行う**

LANの設定→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「ネットワークの設定」-「LANの設定」

■「PCGATE Personal ネットワーク セキュリティ ウィザード」画面が表示されたら

インターネット接続の設定やネットワークの設定を行うと、次の「PCGATE Personal　ネットワーク セキュリティ ウィザード」が表示されることがあります。

「PCGATE Personal」は、パソコンへのインターネットを経由した不正アクセスを防ぐことができるソフトです。インターネットやネットワークに接続したときに、この画面が表示されることがあります。この画面では、ネットワークのセキュリティレベルを設定できます。
設定のしかたについては、「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「インターネットを使いこなす」-「不正アクセスからパソコンを守るには」をご覧ください。

参照

「PCGATE Personal」について→このPARTの「セキュリティ機能」の「パソコンへの不正侵入を防ぐ(PCGATE Personal)」(p.72)または、「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

メモ

ネットワークの設定を行うと、「マイネットワーク」にお使いのパソコンの名前が表示されます。「スタート」-「マイコンピュータ」の「マイネットワーク」をクリックして確認してください。

電源回復(スタンバイ状態からの復帰)の設定

このパソコンをネットワークに接続している場合、電源回復イベントが発生するとパソコンをスタンバイ状態から自動的に復帰させることができます。詳しい設定方法については、「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「ネットワークの設定」-「LANの設定」をご覧ください。

チェック

- 電源回復を使用する場合は、パソコンにACアダプタを取り付けてコンセントからの電源で使用してください。
- 電源回復の設定をすると、購入時の状態にくらべてパソコンの消費電力が大きくなり、バッテリのみで使用する場合、使用できる時間が短くなります。バッテリのみで使用できる時間を優先する場合は、電源回復の設定は行わないでください。

LANを使用するときの注意

- ネットワークを使用している間はLANケーブルをパソコンや機器から取り外さないでください。
- ネットワークとの通信中は、パソコンを休止状態やスタンバイ状態にしないでください。
- ネットワーク通信をすると、バッテリのみで使用可能な時間が短くなります。長時間の通信をするときは、パソコンにACアダプタを接続しコンセントからの電源で使用してください。

ワイヤレスLANで接続する場合

5GHz(IEEE802.11a)または2.4GHz(IEEE802.11b、IEEE802.11g)に対応しているワイヤレスアクセスポイントを経由してADSLモデムなどの通信機器と接続すれば、パソコンにケーブルをつなぐことなくインターネットに接続したりネットワークに接続できるようになります。

- 2.4GHzワイヤレスLANモデルの場合、5GHz(IEEE802.11a)や2.4GHz(IEEE802.11gモード)にのみ対応しているワイヤレスLAN対応機器とは通信できません。
- ワイヤレスLAN機能をお使いになる前に、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- ワイヤレスLAN機能を使用してネットワークへ接続するには、別売の無線LANアクセスポイントやレジデンシャルゲートウェイなどが必要です。

接続できる機器

- 「IEEE802.11a」または「IEEE802.11b」、「IEEE802.11g」に対応している機器とワイヤレスLAN機能で接続できます。ただし、機器によっては接続できないこともあるので、機器を購入する前にメーカーや販売店に確認してください。
- このパソコンに接続できるNEC製のワイヤレスLAN対応機器については、NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com(ワントゥワンウェアドットコム)」をご覧ください。
  http://121ware.com/

通信機能とセキュリティ

■ 通信できる距離

このパソコンのワイヤレスLAN機能では、このパソコンと相手の機器との間に壁などの障害物がなければ、最大70m程度まで通信ができます。ただし、家庭やオフィスには通信の障害となるものがあるため、通信できる距離はもっと短くなります。

■ 通信速度

規格上の最大通信速度は、5GHzワイヤレスLAN(IEEE802.11a)、2.4GHzワイヤレスLAN(IEEE802.11g)の場合は54Mbps、2.4GHzワイヤレスLAN(IEEE802.11b)の場合は11Mbpsですが、一般にはその50%以下の速度で通信が行われます。

通信速度は、パソコンと相手の機器の間の電波の状態や距離によっても変化します。また、通信状態が悪くなって通信が途切れそうになると、通信が途切れないようにするために、自動的に通信速度を落とす機能があります。

現在、どのくらいの速度で通信しているかは、画面右下の通知領域のをダブルクリックすると表示される画面で確認できます。

メモ

安定した通信をするために次のことに注意してください。

- パソコンと相手の機器との距離は、できるだけ近くする。
- 通信中は近くで同じ周波数帯域を使用する電子レンジや他の無線機器を使わない。

■ ワイヤレスLAN(無線LAN)製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!

ワイヤレスLAN(無線LAN)では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等とワイヤレス(無線)アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●**不正に侵入される**

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ワイヤレスLAN（無線LAN）カードやワイヤレス（無線）アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、ワイヤレスLAN（無線LAN）製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

ワイヤレスLAN（無線LAN）機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、ワイヤレスLAN（無線LAN）カードやワイヤレスLAN（無線LAN）アクセスポイントをご使用になる前に、必ずワイヤレスLAN（無線LAN）機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、ワイヤレスLAN（無線LAN）の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、NEC121コンタクトセンター（フリーコール：0120-977-121）までお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、ワイヤレスLAN（無線LAN）の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

このパソコンで設定できるセキュリティ

- 次の機能を利用するには、機能に対応したアクセスポイントなどが必要です。
- これらの設定は危険性をより低くするための手段であり、安全性を100%保証するものではありません。

●盗聴(傍受)を防ぐには

WEP機能を使用して暗号キーを設定すると、同じ暗号キーを使用している通信機器間のワイヤレス通信のデータを暗号化できます。トリプルワイヤレスLANモデルは、「64bit WEP機能」、「128bit WEP機能」と「152bit WEP機能」に対応しています。また、2.4GHzワイヤレスLANモデルは、「64bit WEP機能」と「128bit WEP機能」に対応しています。
ただし、暗号キーを設定していても、暗号キー自体を第三者に知られたり、暗号解読技術によって暗号を解読されたりする可能性があるため、設定した暗号キーは定期的に変更することをおすすめします。

WEP機能を使用するには、通信する相手の機器もWEP機能に対応している必要があります。

●不正アクセスを防ぐには

- アクセスポイントと通信機器の両方に任意のネットワーク名(SSID)を設定することで、同じSSIDを設定していない通信機器からの接続を回避できます。ただし、同じSSIDを設定していない機器でも、そのネットワークがどんなSSIDを使用しているかは検出できてしまうため、SSIDを設定しただけではセキュリティを保てません。これを回避するには、アクセスポイント側でSSIDを通知しないように設定する必要があります。
- 接続するパソコンなどのMACアドレス(ネットワークカードが持っている固有の番号)をアクセスポイントに登録することで、登録した機器以外はアクセスポイントに接続できなくなります。

●より高度なセキュリティを行うには

Wi-Fi Allianceが提唱するWPA(Wi-Fi Protected Access)機能を利用します。IEEE802.1X/EAP(Extensible Authentication Protocol)規格によるユーザ認証および、従来のWEP機能に比べて大幅に暗号解読が困難とされる暗号方式TKIP(Temporal Key Integrity Protocol)を使用することで、より高度なセキュリティを行うことができます。

メモ

WPA機能を使用するには、通信する相手のワイヤレス機器およびネットワーク環境もWPA機能に対応している必要があります。

参照

WEP機能やWPA機能の設定→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「ネットワークの設定」-「ワイヤレスLANの設定(トリプルワイヤレスLANモデル)」、または「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「ネットワークの設定」-「ワイヤレスLANの設定(2.4GHzワイヤレスLANモデル)」

また、このパソコンにインストールされているファイアウォールソフトの「PCGATE Personal」を使えば、外部からの不正なアクセスの多くを防ぐことができます。

参照

PCGATE Personalについて→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

ワイヤレスLAN機能のオン／オフ

他の機器に影響をあたえる場合や、ワイヤレスLAN機能を使用しないとき、ワイヤレスLAN機能が使用できない環境でこのパソコンを使用するときには、必ずワイヤレスLAN機能をオフにしてください。
ワイヤレスLAN機能のオン／オフの状態は、パソコン本体のワイヤレスランプ( )で確認できます。緑に点灯しているときがオンの状態です。
ワイヤレスLAN機能をオン／オフするには、次の方法があります。

■ キーボードで切り替える

【Fn】+【F2】を押します。
キーを押すごとにオン／オフが切り替わります。

■ 「ワイヤレスネットワーク接続の状態」の画面で切り替える

チェック

この方法で切り替えると、ワイヤレスランプでワイヤレスLAN機能の状態は確認できません。

●オフにする

「ワイヤレスネットワーク接続の状態」の画面で「無効にする」をクリックする

●オンにする

「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「通信」-「ネットワーク接続」をクリックし、「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンをダブルクリックする

■「ワイヤレスクライアントマネージャ」で切り替える

2.4GHzワイヤレスLANモデルの場合、この方法でワイヤレスLAN機能のオン／オフを切り替えることはできません。

●オフにする

画面右下の通知領域のを右クリックし、「ワイヤレスアダプタ」-「使用しない」をクリックする

●オンにする

画面右下の通知領域のを右クリックし、「ワイヤレスアダプタ」-「使用する」をクリックする

通知領域にがない場合は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「ワイヤレスクライアントマネージャ」をクリックしてください。

ワイヤレスLAN機能の設定を行う

トリプルワイヤレスLANモデルの場合、購入時の状態では、接続先に合わせてIEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gが自動的に選択されます。

ワイヤレスLANへの接続のしかたや設定について詳しくは、「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「ネットワークの設定」-「ワイヤレスLANの設定（トリプルワイヤレスLANモデル）」、または「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「ネットワークの設定」-「ワイヤレスLANの設定（2.4GHzワイヤレスLANモデル）」をご覧ください。

■「PCGATE Personal ネットワーク セキュリティ ウィザード」画面が表示されたら

ネットワークの設定を行うと、次の「PCGATE Personal　ネットワーク セキュリティ ウィザード」が表示されることがあります。

「PCGATE Personal」は、パソコンへのインターネットを経由した不正アクセスを防ぐことができるソフトです。ネットワークに接続したときに、この画面が表示されることがあります。この画面では、ネットワークのセキュリティレベルを設定できます。

設定のしかたについては、「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「インターネットを使いこなす」-「不正アクセスからパソコンを守るには」をご覧ください。

チェック

ワイヤレスLANの設定は、「コンピュータの管理者」アカウントを持つユーザーが行ってください。「制限付き」アカウントでは、一部の設定ができません。

ワイヤレスLANを使用するときの注意

・ネットワークとの通信中は、パソコンを休止状態やスタンバイ状態にしないでください。
・ネットワーク通信をすると、バッテリのみで使用可能な時間が短くなります。長時間の通信をするときは、パソコンにACアダプタを接続しコンセントからの電源で使用してください。

モデムで接続する場合

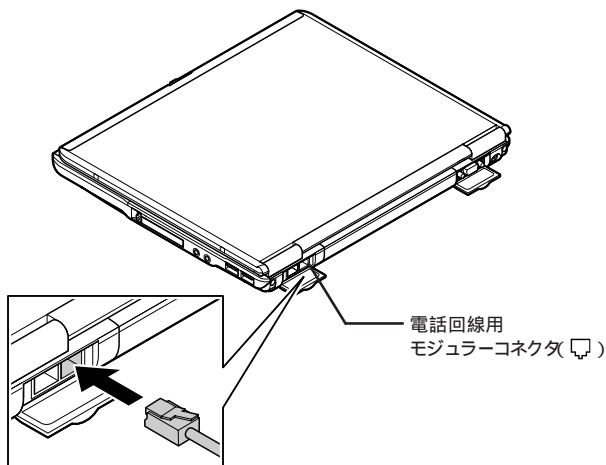
電話回線に接続する

電話回線のモジュラーコンセントが1つの場合、パソコンで通信をするときは電話機のモジュラーケーブルを取り外す必要があります。

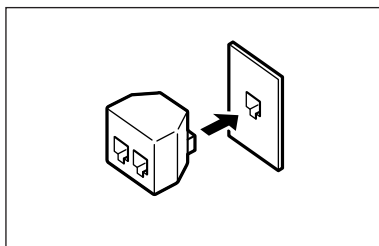
モジュラーケーブルを接続するには、お使いの電話回線のコネクタがモジュラーコンセントになっている必要があります。お使いの電話回線が3ピンプラグ式コンセントの場合は、市販のモジュラーコンセントへの変換プラグが必要です。
直結配線方式の場合はモジュラーコンセントへの変更が必要になります。詳しくはNTTへご相談ください。

1 **壁面などのモジュラーコンセントから、電話機などのモジュラーケーブルを取り外す**

2 **パソコンの電源を切る**

3 **本体背面のカバーを開け、モジュラーケーブルのプラグを向きに注意して、パソコンの電話回線用モジュラーコネクタ（□）に接続する**

4 **モジュラーケーブルのもう一方のプラグを、壁面などのモジュラーコンセントに接続する**

■ 電話機のつなぎ換えをしたくない場合は

このパソコンを接続した電話回線で電話機を使いたい場合は、もう一度、モジュラーコンセントからパソコンのモジュラーケーブルを取り外して、電話機をつなぎ直す必要があります。
この場合は、市販の分岐アダプタを使うと、つなぎ換えの作業を省略でき、電話機とパソコンの両方を接続することができます。

モジュラーコンセントに分岐アダプタを取り付けて、分岐アダプタにパソコンと電話機のモジュラーケーブルを接続します。

チェック

- 分岐アダプタを使用しても、パソコンでの通信と電話機の使用を同時に行うことはできません。
- パソコンで通信しているときは、電話機の受話器を外さないでください。通信が切断されることがあります。
- 電話機などの種類によっては、分岐アダプタに接続すると、動作しない機種がありますので注意してください。
- 分岐アダプタに接続する電話機などによっては、パソコンでの通信が正常にできないことがあります。この場合は、次のいずれかの方法で、正常に通信できるようになります。
  - 接続する電話機などにアース接続用の端子がある場合は、アースを接続する。
  - パソコンで通信するときには、電話機などを取り外す。
- 分岐アダプタを使う場合、接続された電話機からのノイズにより、通信速度が低下することがあります。
- 回線自動転換機能付き分岐アダプタを使うと、電話機での通話時に、ノイズが入ることがあります。これを防ぐには、ノイズ防止回路付きの回線自動転換機能付き分岐アダプタを使うことをおすすめします。

モデムの設定

パソコンのモデムを使ったインターネットへの接続のしかたや設定について詳しくは、「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「インターネットの設定」-「モデムの設定」をご覧ください。

モデムを使っての通信が終了したら

通信が終了したら、画面右下の通知領域に が表示されていないことを確認してください。

モデムを使用するときの注意

- 通信を行うときは、使用していないソフトを終了してください。
- 通信中は休止状態やスタンバイ状態にしないでください。
- 接続中または接続して通信中に、【Fn】を使ってディスプレイの切り替えや画面の伸縮をしたりビープ音や輝度の調節を行わないでください。接続できない場合や通信が切断される場合があります。
- 内蔵FAXモデムは一般加入電話回線のみに対応しています。それ以外の回線に接続すると故障、破損の原因になります。
- 回線の状態によっては、接続しにくかったり、通信時に雑音が入ったり、希望の通信速度では通信できない場合があります。
- キャッチホンサービスをご利用の場合、通信中に電話がかかってくると、モデムでの接続が切断されることがあります。
- コードレスホンや親子電話など加入電話回線以外の回線を使っている場合、正常なデータ通信ができないことがあります。
- 電話局の交換機の種類によっては、14,400bpsでのファクシミリ通信ができない場合があります。その場合は通信速度を9,600bpsに変更してください。
- データ通信を行う場合、フロー制御はRTS/CTSに設定してください。
- 構内交換機(PBX)の種類によっては、内蔵FAXモデムが使用できない場合があります。
- 通常の電話回線を使用する場合、送信レベルは購入時の設定から変更する必要はありません。
- 回線状況が悪く、うまく接続ができない場合は送信レベルの調整が必要な場合があります。送信レベルの調整を、工事担任者以外が行うことは法律で禁じられていますので、当社指定の窓口にご相談ください。
- ハイパーターミナルなどを使用して通信する場合はATコマンドが必要です。ATコマンドについては、「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「ATコマンド」をご覧ください。
- このパソコンのモデムはデータ通信、ファクシミリ通信、インターネット通信の各機能が使用できますが、添付のソフト以外では機能が使用できない場合があります。

海外で内蔵のモデムを使用する

このパソコンの内蔵モデムを使用可能な国は次のとおりです。
アイルランド、イタリア、英国、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、ギリシャ、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ニュージーランド、ノルウェー、フィンランド、フランス、米国、ベルギー、ポルトガル、香港、マレーシア、ルクセンブルグ、日本

記載の国以外では内蔵モデムを使用しないでください。

■ 使用する国にあわせたモデムの設定

海外で内蔵のモデムを使用する場合は、使用する国にあわせて設定する必要があります。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタとその他のハードウェア」-「電話とモデムのオプション」をクリックする

「電話とモデムのオプション」が表示されます。

2 「モデム」をクリックする

3 「プロパティ」をクリックする

4 「詳細設定」をクリックする

5 「国または地域の選択」の をクリックし、使用する国名を選択する

6 「OK」をクリックする

「成功」の画面が表示されます。

7 「OK」をクリックする

8 「ダイヤル情報」をクリックする

9 「新規」をクリックする

10 「所在地」欄に任意の名称を入力する

11 「国/地域」の をクリックし、使用する国名を選択する

12 「市外局番」欄に、使用する発信元の番号を入力する

13 「OK」をクリックする

14 「電話とモデムのオプション」の画面を閉じる

国別の設定が正しくない場合、電話回線網へ損害を与えるおそれがあります。また、パソコンの故障の原因にもなりますので、回線接続を行う前に必ず国別の設定が正しいか確認してください。

通信環境を切り替える

パソコンをさまざまな場所に持ち歩いていると、インターネットに接続するときや会社内のLANに接続するときなど、いろいろな接続先を設定することが多くなります。たとえば、会社では社内のLANに接続し、出張先ではPHSやモデムを使って接続。休日はADSL回線でインターネットを楽しんだり、外出先でワイヤレスLANを利用する、といったようにいろいろな通信環境を利用するときは、それぞれにあわせた設定を作っておき、切り替えて使用することになります。

「MobileOptimizer」の利用

いくつもの接続設定を使用環境に合わせて切り替えるときは「MobileOptimizer」が便利です。あらかじめ接続先にあわせた設定を作成して「MobileOptimizer」に登録しておけば、簡単な操作で切り替えられるようになります。

参照

・「MobileOptimizer」→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」
・「MobileOptimizer」の使い方→「スタート」-「すべてのプログラム」-「MobileOptimizer」-「MobileOptimizer ヘルプ」

セキュリティ機能

このパソコンの不正使用、パソコン本体とデータの盗難、またはパソコンの起動に必要なファイルへのウイルス感染の防止方法を説明します。

盗難を防ぐ(セキュリティケーブル)

このパソコンの盗難防止用ロック(🄺)(p.31)に別売のセキュリティケーブル(PK-SC/CA02)を取り付け、盗難を防ぐことができます。詳しくは、セキュリティケーブルのマニュアルをご覧ください。

当社製セキュリティケーブル(PK-SC/CA01)は、このパソコンでは使用できません。

不正使用やデータの盗難を防ぐ(パスワード)

パスワードには、Windowsで設定するパスワードとBIOSで設定するパスワードがあります。Windowsで設定するパスワードでは、起動時にパスワードを入力しないとWindowsを起動できないように設定できます。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。
BIOSで設定するパスワードでは、パソコン起動時やBIOS設定変更時にパスワードの入力が必要になるように設定したり、ハードディスクにパスワードを設定しておくことができます。詳しくは、次の「起動時やBIOS設定変更時のパスワード」または「ハードディスクのパスワード」(p.70)をご覧ください。

起動時やBIOS設定変更時のパスワード

パソコンにパスワードを設定することで、BIOSセットアップユーティリティを起動するときにパスワードの入力が必要になり、入力したパスワードによって設定可能な項目が制限されます。また、パソコンの電源を入れるときにパスワードの入力が必要な設定にすると、パソコンが不正に使用されることを防げます。

- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードは再セットアップしても解除できません。パスワードは忘れないように控えて、人目に付かないところに保管しておくことをおすすめします。
- NEC 121コンタクトセンターなどにパソコンの修理を依頼される際には、パスワードを解除しておいてください。

■ パスワードの種類

設定できるパスワードには、「スーパバイザパスワード」と「ユーザパスワード」があります。このパソコンを複数のユーザーで使用する場合に、管理者以外のユーザーがBIOSの設定を自由に変更できないようにしたり、パスワードを知らない人が不正にパソコンを起動してデータ盗難などを行うのを防ぐことができます。

● スーパバイザパスワード

管理者用のパスワードです。スーパバイザパスワードを入力してBIOSセットアップユーティリティを起動すると、すべての項目が設定可能になります。

● ユーザパスワード

使用者用のパスワードです。ユーザパスワードを設定するには、スーパバイザパスワードが設定されている必要があります。ユーザパスワードを入力してBIOSセットアップユーティリティを起動した場合、設定できる項目が制限されます。

スーパバイザパスワードのみを設定しているときは、パスワード入力画面でパスワードを入力せずに【Enter】を押して、WindowsやBIOSセットアップユーティリティを起動することができます。パソコンの不正使用を防止するためには、スーパバイザパスワードとユーザパスワードの両方を設定してください。

■ パスワードの設定をする

パスワードの設定は、BIOSセットアップユーティリティで行います。
設定方法については、「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「BIOS設定」をご覧ください。

■ パスワードを設定しているときの電源の入れ方

パソコン起動時にパスワードの入力が必要な設定にしているときは、次の手順で電源を入れてください。

1 パソコンの電源を入れる

次のようなパスワードを入力する画面が表示されます。

Enter CURRENT Password：

2 設定したパスワードを入力し、【Enter】を押す

正しいパスワードを入力すると、Windowsが起動します。

- 間違ったパスワードを入力すると警告が表示されます。3回間違ったパスワードを入力すると、パスワードの入力ができなくなります。その場合は、一度パソコンの電源を切って、手順1からやりなおしてください。
- スーパバイザパスワードとユーザパスワードの両方を設定している場合は、どちらのパスワードを入力してもかまいません。

ハードディスクのパスワード

ハードディスクにパスワードを設定することで、このパソコンからハードディスクを抜き取り、ほかのパソコンに移し替えて不正にハードディスクの中身を読み取られるのを防ぐことができます。

チェック

- ハードディスクのパスワードは、他人が不正にパソコンを起動できないようにするものではなく、ハードディスクをこのパソコンから抜き取られて他のパソコンで使用されるのを防ぐものです。ハードディスクのパスワードだけでは十分にパソコンの不正使用を防止できませんので、ほかのセキュリティ機能と併用してください。
- ハードディスクのパスワードのセキュリティを有効にしても、設定したマスタパスワードやユーザパスワードをパソコンの起動時に入力する必要はありません。

■ パスワードの種類

● マスタパスワード

ロック解除専用のパスワードです。ユーザパスワードでロック解除できないときに、代わりにロック解除するためのパスワードです。

● ユーザパスワード

ハードディスク認証を行うために設定します。ユーザパスワードを設定することで、このパソコン以外でのハードディスクの不正使用を防止できます。

■ パスワードの設定をする

パスワードの設定はBIOSセットアップユーティリティで行います。設定方法については、「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「BIOS設定」をご覧ください。

チェック

- ハードディスクのパスワードは必ずマスタパスワード、ユーザパスワードの順で両方を設定してください。片方のみ設定しただけでは、ハードディスクのセキュリティは有効になりません。
- ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、ロックは解除できません。ロックを解除するためには、ハードディスクを有償で交換する必要があります。ハードディスクのパスワードは忘れないよう十分注意してください。

ウイルスや不正侵入を防ぐ

コンピュータウイルスから守る(McAfee VirusScan Online)

コンピュータウイルスからパソコンを守るために、日頃からウイルスチェックを行いましょう。コンピュータウイルスに感染すると、パソコンが壊れたり、正常に動作しなくなることもあります。また、パソコンの動作は正常に見えても、知らない間に感染し、パソコンに登録してあるメールアドレスに勝手にウイルス入りのメールを送ってしまうウイルスもあります。このパソコンにインストールされている「McAfee VirusScan Online」を使ってコンピュータウイルスの感染を防ぐようにしましょう。ウイルスに感染してしまった場合もMcAfee VirusScan Onlineでウイルスを駆除することができます。

参照

「McAfee VirusScan Online」→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

ハードディスク起動セクタへのウイルス感染防止

パソコンの電源を入れたときに、起動のために最初に読み込む部分をハードディスク起動セクタといいます。ハードディスク起動セクタがウイルスに感染してしまうと、パソコンを正常に起動できなくなってしまうことがあります。ハードディスク起動セクタへの書き込みを禁止に設定しておくことで、起動に必要なファイルのウイルス感染を防止できます。

なんらかのプログラムがハードディスク起動セクタへ書き込みを行おうとしたときは、次のように表示されます。

BootSector Write !!
VIRUS: Continue (Y/N)?

書き込みを防止するためには「N」を入力してください。

参照

ハードディスク起動セクタへの書き込み禁止の設定→このPARTの「BIOSセットアップユーティリティ」の「設定項目一覧」(p.124)

パソコンへの不正侵入を防ぐ(PCGATE Personal)

インターネットに接続しているときなど、通信の機能を使って外部にパソコンをつないでいるときはパソコンに不正侵入される可能性があります。不正なアクセス者によって、知らない間にパソコンの中のデータを覗かれたり改ざんされたりなどの被害にあわないように、対策を行う必要があります。このパソコンにインストールされている「PCGATE Personal」を使って不正侵入を防ぐようにしてください。

参照

「PCGATE Personal」→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

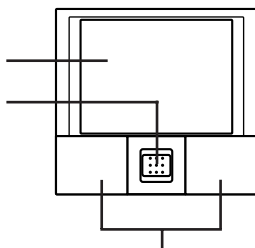
メモ

PCGATE Personalのほかに別売のファイアウォール機能を持つルータを組み合わせて使うと、よりセキュリティ効果が高まります。

ポインティングデバイス

マウス添付のモデルや別売のマウスを購入した場合は、NXパッドのほかにもマウスを使用できます。パソコンを外出先に携帯して使うときはNXパッドで操作し、自宅や仕事先などスペースにとらわれず使用できる場所ではマウスで操作、と使い分けることができ便利です。

NXパッド

名称と役割

	名称	機能
①	パッド	ここで指をすべらせて、ポインタの移動などを行います。
②	クリックボタン	左右2つのボタンがあります。これらのボタンで操作の確定などを行います。
③	スクロールスライドスイッチ	このスイッチをスライドすることで、画面をスクロールさせることができます。

便利な使い方

■ パッドのみで使う

パッドのみでクリックやダブルクリック、ドラッグなどの操作ができます。左手でパソコンを持ちながら右手のみで操作したいときなどに便利な操作方法です。

●タップ／ダブルタップ

パッドを指先で軽く1回たたくとクリックと同じ操作になります。2回連続してたたいた場合はダブルクリックと同じです。それぞれタップ、ダブルタップと呼びます。

●ドラッグ

ドラッグするアイコンなどの上にポインタを合わせた状態でパッドを軽くたたき、そのまま指を動かすことでドラッグできます。

■ NXパッドを設定する

タップやパッドのみでのドラッグのほかにも、パッド上で指をすべらせることで画面をスクロールさせたり、キーボードから入力するときに間違ってタップしたりポインタが動くことがないようにNXパッドを無効にしておく機能などもあります。これらの機能を使うには、NXパッドの設定が必要です。「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタとその他のハードウェア」-「マウス」をクリックすると表示される「マウスのプロパティ」で設定ができます。

「ボタン」タブにある「デモ」ボタンをクリックすると、パッドやボタンを使った便利な使い方の説明を見ることができます。

NXパッドの設定→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「NXパッドの設定」

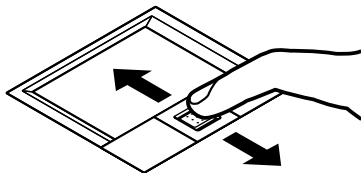
スクロールスライドスイッチ

スクロールスライドスイッチを使うと、ウィンドウの表示内容を上下方向にスクロールしたり、拡大縮小表示できます。

チェック

- スクロールスライドスイッチの機能に対応していないソフトでは使えません。
- ソフトによっては、ポインタの位置によって動作が異なることがあります。

■ 画面を上下方向にスクロールする

図のようにスクロールスライドスイッチのパッド側や手前側にスライドすることで、画面が上下にスクロールします。スイッチをスライドさせたままにすると、連続して画面もスクロールします。

パッドで画面を上下左右にスクロールすることもできます。
スクロールさせたい画面にポインタを移動してスクロールスライドスイッチを押すと、ポインタの形がやに変わります。ポインタの形が変わったらパッドを使ってスクロールしてください。もう一度スイッチを押すとスクロールを終了します。

■ ズーム機能を使う

ソフトによっては、この機能は使えません。

拡大または縮小したい画面にポインタを合わせ、キーボードの【Ctrl】を押したままスクロールスライドスイッチのパッド側や手前側にスライドします。パッド側にスライドさせると表示が拡大され、手前側にスライドさせると縮小されます。

マウス

マウスが添付されているモデルを購入された場合はマウスが使用できます。別売のUSBマウスを使用することもできます。

マウスの接続

1 マウスのプラグをパソコンのUSBコネクタ( )に接続する

プラグの が上を向くように差し込んでください。

USBコネクタへの接続→このPARTの「USBコネクタ」(p.97)

マウスを使用するための設定

このパソコンでマウスを使用するにはマウスドライバの設定が必要です。また、マウスを使用するために設定を行ったあとでNXパッドを使用する場合は、NXパッドを使用する設定に戻す手順が必要です。

参照

マウスを使用する設定にする、NXパッドを使用する設定に戻す→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「マウスの設定」

■マウスを設定するときの注意

マウスドライバの変更を行うとき、一時的にマウスやNXパッドなどが使用できなくなる場合があります。その場合でもキーボードによる操作は可能なので、次の手順でWindowsを再起動してください。

1 **【 】を押す**

2 **カーソル移動キーで「終了オプション」を選択し、【Enter】を押す**

3 **カーソル移動キーで「再起動」を選択し、【Enter】を押す**

キーボード／ワンタッチスタートボタン

キーの名称と役割

キーの名称

① 【Esc】: エスケープキー

② 【F1】〜【F12】: ファンクションキー

③ 【Pause】: ポーズキー

④ 【Ins】: インサートキー

⑤ 【Del】: デリートキー

⑥ 【Back Space】: バックスペースキー

⑦ 【Enter】: エンターキー（リターンキー）

⑧ 【Shift】: シフトキー

⑨ 【↑】【↓】【←】【→】: カーソル移動キー

⑩ 【Ctrl】: コントロールキー

⑪ 【▤】: アプリケーションキー

⑫ 【カタカナ ひらがな】: かなキー

⑬ 【変換】: 変換キー

⑭ スペースキー

⑮ 【無変換】: 無変換キー

⑯ 【Alt】: オルトキー

⑰ 【⊞】: Windowsキー

⑱ 【Fn】: エフエヌキー

⑲ 【Caps Lock】: キャップスロックキー

⑳ 【Tab】: タブキー

㉑ 【半角／全角】: 半角／全角キー

特殊なキーの使い方

キー操作	説　　明
【Shift】+【Caps Lock】	一度押すとキャップスロックキーランプ( )が点灯し、アルファベットを入力すると大文字が入力されます。もう一度押すとランプは消灯し、アルファベットを入力すると小文字が入力されます。
【半角／全角】	押すごとに、日本語入力システムのオン／オフが切り替わります。
【Alt】+ 【カタカナ ひらがな】	日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すとかな入力モードになり、キー上面のかな文字で日本語を入力できるようになります。もう一度押すとローマ字入力モードになり、キー上面のアルファベットの組み合わせで日本語を入力できるようになります。
【Caps Lock】	日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すと英数字を入力できるようになります。
【カタカナ ひらがな】	日本語入力システムがオンになっていて英数字が入力されるモードになっているとき、一度押すとひらがなやカタカナを入力できるようになります。
【Fn】	他のキーと組み合わせて機能を実行します(p.79)。
【 】	右クリックするのと同じ機能があります。
【 】	「スタート」をクリックするのと同じ機能があります。
【 】+【R】	「ファイル名を指定して実行」を表示します。
【 】+【M】	現在起動しているウィンドウをすべてアイコン化します。
【Shift】+【 】+【M】	【 】+【M】でアイコン化したウィンドウを元に戻します。
【 】+【F1】	Windowsのヘルプを表示します。
【 】+【E】	「マイ コンピュータ」ウィンドウを表示します。
【 】+【F】	ファイルやフォルダを検索するウィンドウを表示します。
【Ctrl】+【 】+【F】	コンピュータを検索するウィンドウを表示します。
【 】+【Tab】	タスクバーに表示されているボタンを順番に切り替えます。

ホットキー機能

【Fn】と他のキーを組み合わせることで、パソコンの設定をキー操作で簡単に調整することができます。これをホットキー機能といいます。

キー操作	機　　能	説　　明
【Fn】+【F2】※	ワイヤレスLAN機能のオン／オフ( )	ワイヤレスLAN機能のオン／オフを設定します。
【Fn】+【F3】	ディスプレイの切り替え(/)	外部ディスプレイが接続されているとき、表示するディスプレイを切り替えます(p.117)。
【Fn】+【F5】	画面の伸縮(ディスプレイストレッチ機能)	低解像度時に、ディスプレイの画面を拡大表示する／しないを切り替えます(p.114)。
【Fn】+【F6】	ビープ音のオン／オフ( )	ビープ音のオン／オフを設定します。
【Fn】+【F7】	輝度を上げる( )	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が増加します(8段階)。
【Fn】+【F8】	輝度を下げる( )	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が低下します(8段階)。
【Fn】+【F9】	音量を上げる( )	キーを押すごとに、音量が増加します。
【Fn】+【F10】	音量を下げる( )	キーを押すごとに、音量が低下します。
【Fn】+【F11】	スクロールロック	【Scr Lock】の役割
【Fn】+【F12】	ニューメリックロック	一度押すとニューメリックロックキーランプ( )が点灯し、キー上段に青色で表示されている数字や記号が入力できるようになります。もう一度押すとランプは消灯し、通常の文字が入力できるようになります。
【Fn】+【Ins】	プリントスクリーン	【Prt Scr】の役割
【Fn】+【Del】	システムリクエスト	【Sys Rq】の役割
【Fn】+【 】	右Windows	右【 】の役割
【Fn】+左【Alt】	右Alt	右【Alt】の役割
【Fn】+【Pause】	Break	【Break】の役割
【Fn】+【↑】	Page Up	【PgUp】の役割
【Fn】+【↓】	Page Down	【PgDn】の役割
【Fn】+【←】	Home	【Home】の役割
【Fn】+【→】	End	【End】の役割

※ ワイヤレスLAN機能を搭載していないモデルでも、キーボード上にアイコンが印字されていますが、この機能は使用できません。

メモ

【Fn】+【F6】、【Fn】+【F11】、【Fn】+【F12】の設定については、パソコンを起動するたびに設定をしなおす必要があります。

参照

キーボードをより使いやすく設定する→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「キーボードの設定」

ワンタッチスタートボタン

このパソコンには、【インターネット】ボタンと【メール】ボタンの2つのワンタッチスタートボタンがあります。ワンタッチスタートボタンを押すと、あらかじめ割り当てられたソフトが起動します。すばやく簡単にソフトを起動できるので便利です。

各ボタンの使い方

表示	ボタンの名称	説　明
	【インターネット】ボタン	インターネットに接続するためのボタンです。購入時の状態では「インターネット無料体験」またはインターネットに接続するためのウィザード画面が起動します。
	【メール】ボタン	メールのソフトを起動するためのボタンです。購入時の状態では「Outlook 2003」、「Outlook Express」またはインターネットに接続するためのウィザード画面が起動します。

ワンタッチスタートボタンの設定

「ワンタッチスタートボタンの設定」では、【インターネット】ボタンや【メール】ボタンを押したときに起動するアプリケーションを選択したり、ワンタッチスタートボタンの機能の有効／無効を切り替えることができます。

参照

「ワンタッチスタートボタンの設定」について→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「ワンタッチスタートボタンの設定」、または「スタート」-「すべてのプログラム」-「ワンタッチスタートボタンの設定」-「ワンタッチスタートボタンの設定 ヘルプ」

ワンタッチスタートボタンを使用するときの注意

- セーフモードなど、Windowsのキーボードドライバが動作しない状態では、ワンタッチスタートボタンは使えません。
- 休止状態またはスタンバイ状態からワンタッチスタートボタンを押して復帰したときに、設定したソフトが起動しない場合があります。このような場合は、以下のいずれかの設定を行ってください。
  - 「スタート」-「コントロールパネル」-「パフォーマンスとメンテナンス」-「電源オプション」をクリックし、「詳細設定」タブの「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」の ☑ をクリックして □ にする
  - 「スタート」-「コントロールパネル」-「ユーザーアカウント」-「ユーザーアカウント」-「ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する」の「ユーザーの簡易切り替えを使用する」の ☑ をクリックして □ にする
- パソコンの電源を切った状態からソフトを起動させる場合、ユーザーアカウントを複数設定していると、ログオン画面でユーザーを選択する必要があります。また、パスワードを設定している場合は、ログオンユーザーのパスワードを入力する必要があります。

CD/DVDドライブ

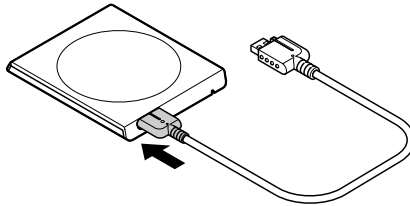
使用する前に

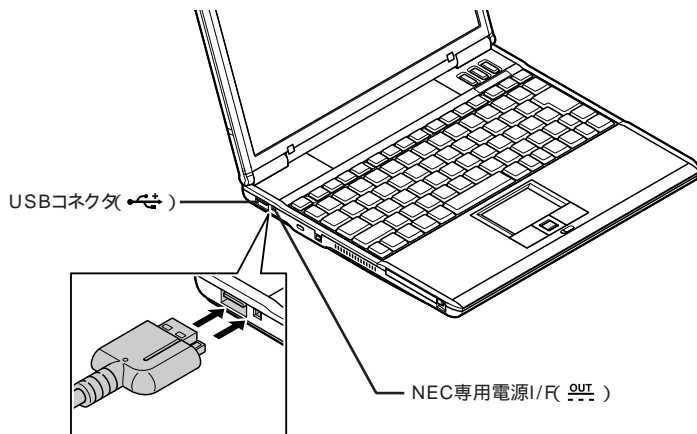
次の手順でUSBコネクタに接続してください。

CD/DVDドライブが添付されていないモデルでCD-ROMなどのディスクを使用するには別売の外付けCD-R/RW with DVD-ROMドライブ(PC-VP-BU14)が必要になります。

CD/DVDドライブを接続する

1 CD/DVDドライブの背面にCD/DVDドライブ用ケーブルのプラグを取り付ける

○マークのある方を上にして、押し込みます。

2 CD/DVDドライブ用ケーブルのプラグを、パソコン左側面のUSBコネクタ（USBマーク）とNEC専用電源I/F（OUT）に接続する

プラグの左右を確認してから、押し込んでください。

チェック

右側面のUSBコネクタには接続できません。

CD/DVDドライブを取り外す

CD/DVDドライブを接続すると画面右下の通知領域にが表示されます。CD/DVDドライブを取り外すときは、をクリックすると表示される「××××を安全に取り外します」で、取り外す機器名が表示されているものをクリックします。「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外してください。

正しい手順で取り外さないと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

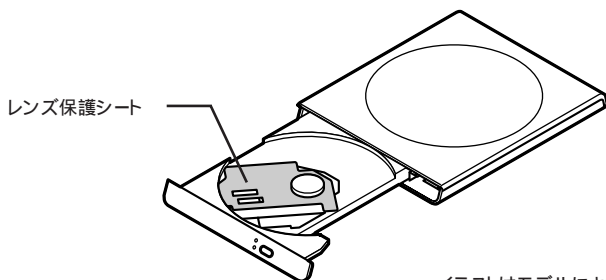
CD/DVDドライブのレンズ保護シートの取り外し方

レンズ保護シートがあらかじめ取り付けられている場合は、使用する前にレンズ保護シートを取り外してください。

1 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し飛び出します。

CD/DVDドライブの電源が入っていない場合は、イジェクトボタンを押してもディスクは飛び出しません。CD/DVDドライブをパソコンに接続し、パソコンの電源を入れてください。

2 手でディスクトレイを静かに引き出す

3 レンズ保護シートを取り外す

4 CD/DVDドライブの前面を押して、ディスクトレイを元の位置に戻す

カチッと音がするまでしっかり押してください。

ドライブとディスクの互換性

このパソコンのCD/DVDドライブで使えるディスクは次のとおりです。

メディア / ドライブ	音楽CD、ビデオCD、フォトCD、CD-ROM	CD-R	CD-RW	DVD-ROM (DVD-Video)	DVD-R	DVD-RW	DVD-RAM
CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ	○	◎	◎	○	○	○	×
DVD-RAM/R/RWドライブ	○	◎	◎	○	◎	◎	◎※

◎ 読み込み・書き込み可
○ 読み込みのみ可(書き込み不可)
× 読み込み・書き込み不可

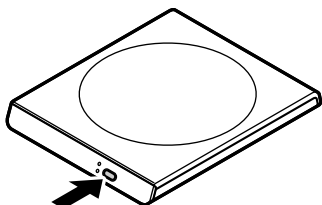
※: 片面2.6GバイトのDVD-RAMおよび、両面5.2GバイトのDVD-RAMは、読み込みのみ可(書き込み、フォーマット不可)。なお、カートリッジから取り出せないタイプのDVD-RAMは利用できません。

CD/DVDドライブを使用するときの注意

- CD/DVDドライブ内のレンズには触れないでください。
- ラベルやテープが貼られているなど、重心バランスの悪いディスクを使用すると、使用時の振動や故障の原因になります。
- コピーコントロールCDなどの一部の音楽CDは、現在のCompact Discの規格外の音楽CDです。規格外の音楽CDについては、音楽の再生や音楽CDの作成ができないことがあります。
- このパソコンで音楽CDを使用する場合、ディスクレーベル面にCompact Discの規格準拠を示す[CDロゴ]（COMPACT disc DIGITAL AUDIO）マークの入ったディスクを使用してください。
- CD（Compact Disc）規格外ディスクを使用すると、正常に再生ができなかったり、音質が低下したりすることがあります。
- アクセスランプが点滅しているときは、パソコンからCD/DVDドライブ用ケーブルを取り外さないでください。また、ケーブルの抜き差し行う場合は3秒以上の間隔をおいてください。
- CD/DVDドライブのほかにUSB対応機器を接続していると、転送速度が遅くなることがあります。

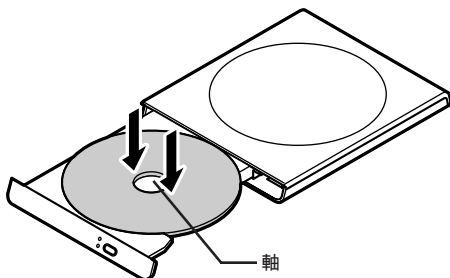
ディスクのセットのしかたと取り出し方

ディスクをセットする

1 **イジェクトボタンを押す**

ディスクトレイが少し飛び出します。

CD/DVDドライブの電源が入っていない場合は、イジェクトボタンを押してもディスクトレイは飛び出しません。CD/DVDドライブをパソコンに接続し、パソコンの電源を入れてください。

2 **手でディスクトレイを静かに引き出す**

3 **ディスクのデータ面(文字などが印刷されていない面)を下にして、傷など付けないようディスクトレイの中央に置き、カチッと音がするまでディスクを軸にはめ込む**

4 **CD/DVDドライブの前面を押して、ディスクトレイを元の位置に戻す**

カチッと音がするまでしっかり押してください。

ディスクを取り出す

チェック

ディスクへのアクセス中(アクセスランプ点灯中)は、ディスクを取り出さないでください。

CD/DVDドライブのイジェクトボタンを押すとディスクトレイが少し飛び出すので、ディスクトレイを引き出してディスクを取り出してください。

音楽CDやDVD-Videoディスクの再生

音楽CDの再生

このパソコンにインストールされている「BeatJam」で音楽CDを再生できます。

チェック

このパソコンでは、音楽CDのデジタル再生のみサポートしています。アナログ再生はサポートしていません。

参照

「BeatJam」の使い方→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」、または「スタート」-「すべてのプログラム」-「JUSTSYSTEM アプリケーション」-「BeatJam」-「BeatJamのマニュアル」

■ 音楽CD からのデジタル出力設定

このパソコンでは音楽CDからの出力をデジタルで行うことができます。

チェック

パソコンのスピーカから音楽CDの音声が出力されない場合は、音楽CDからのデジタル出力設定が必要です。

参照

音楽CD からのデジタル出力設定→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「サウンドの設定」

DVD-Videoディスクの再生

このパソコンにインストールされている「WinDVD」でDVD-Videoディスクを再生することができます。
このパソコンにはDolby Virtual Speaker機能が搭載されています。外部ステレオスピーカを接続し、ドルビーデジタル5.1チャンネルサラウンド対応のDVD-Videoディスクを再生すると、迫力あるサラウンドサウンドでDVD-Videoディスクを楽しむことができます。
また、DolbyHeadphone機能も搭載されています。このパソコンのヘッドフォン／オーディオ出力端子( )に市販のヘッドフォンを接続すると、DVD-Videoディスクの臨場感あふれるデジタルサウンドを楽しむことができます。これらの機能を利用するには設定が必要です。WinDVDで をクリックして設定を行ってください。

参照

・「WinDVD」の使い方→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」、または「WinDVD」のヘルプ

・DolbyHeadphone機能について→このPARTの「サウンド機能」(p.118)

チェック

このパソコンではリージョンコード(国別地域番号)が2またはフリーに設定されているDVD-Videoディスクのみ再生することができます。

CD-RやCD-RWにデータを書き込む

このパソコンにインストールされている「RecordNow DX」を使うと、CD-RやCD-RWにデータを書き込んだり、音楽CDなどから好きな曲を集めてオリジナル音楽CDを作ったりできます。

チェック

- お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCDなどの複製や改変を行う場合、オリジナルのCD-ROMなどについての著作権を保有していなかったり、著作権者から複製・改変の許諾を受けていない場合は、著作権法または利用許諾条件に違反することがあります。複製などの際は、オリジナルのCD-ROMなどの利用許諾条件や複製に関する注意事項にしたがってください。
- コピーコントロールCDなど、一部の音楽CDではオリジナル音楽CDを作成できない場合があります。
- 書き込みを行う前には必ず、他のソフトは終了し、スクリーンセーバーや常駐プログラムを解除してください。
- 書き込みに失敗したメディアは再生できなくなります。書き損じによるメディアの補償はできませんので、ご注意ください。
- データを書き込むときは、書き込み中に省電力状態にならないように設定してください。
- 作成したメディアのフォーマット形式や装置の種類などにより、他のドライブでは使用できない場合がありますので、ご注意ください。

参照

- 「RecordNow DX」→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」
- 自動的に省電力状態にならないように設定する→このPARTの「電源」の「省電力機能」の「省電力機能の設定」（p.49）

DVD-RやDVD-RW、DVD-RAMにデータを書き込む(DVD-RAM/R/RWモデルのみ)

■ DVD-R、DVD-RWにデータを書き込む

DVD-RAM/R/RWモデルでは、DVD-R、DVD-RWへのデータの書き込みやDVD-RWの書き換えができます。
DVD-RやDVD-RWへのデータの書き込みや、DVD-RWの書き換えをするには「RecordNow DX」を使用します。

チェック

- お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCD、DVD-ROM、DVD-Videoなどの複製や改変を行う場合、オリジナルのCD-ROMなどについての著作権を保有していなかったり、著作権者から複製・改変の許諾を受けていない場合は、著作権法または利用許諾条件に違反することがあります。複製などの際は、オリジナルのCD-ROMなどの利用許諾条件や複製に関する注意事項にしたがってください。
- 書き込みを行う前には必ず、他のソフトは終了し、スクリーンセーバーや常駐プログラムを解除してください。
- 書き込みに失敗したメディアは再生できなくなります。書き損じによるメディアの補償はできませんので、ご注意ください。
- データを書き込むときは、書き込み中に省電力状態にならないように設定してください。
- 作成したメディアのフォーマット形式や装置の種類などにより、他のドライブでは使用できない場合がありますので、ご注意ください。

参照

- 「RecordNow DX」→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」
- 自動的に省電力状態にならないように設定する→このPARTの「電源」の「省電力機能」の「省電力機能の設定」(p.49)

■ **DVD-RAMにデータを書き込む**

DVD-RAMへのデータの書き込みには「DVD-RAM用ドライバーソフト」が必要です。このソフトにより、ハードディスクやフロッピーディスクと同様に、ファイルの書き込みや削除が可能になります。

- このパソコンのDVD-RAM/R/RWドライブで、DVD-RAMメディアを使用するときは、カートリッジなしのタイプを使うか、メディア取り出し可能なカートリッジタイプでメディアを取り出してお使いください。
- このパソコンのDVD-RAM/R/RWドライブは、片面2.6Gバイト／両面5.2GバイトのDVD-RAMメディアへの書き込み、書き換えには対応していません。

DVD-RAMを利用する設定にする

DVD-RAMを利用するためには、次の手順で設定を行ってください。設定を行わない場合、CD-R/RWへの書き込みが優先され、DVD-RAMは利用できません。

1 **「スタート」-「マイコンピュータ」をクリックする**

2 **DVD-RAM/R/RWドライブのアイコンを右クリックする**

3 **表示されたメニューの「プロパティ」をクリックする**

4 **「書き込み」をクリックする**

5 **「このドライブでCD書き込みを有効にする」が □ になっていることを確認する**

☑ になっていた場合は、☑ をクリックして □ にしてください。

6 **「OK」をクリックする**

DVD-RAMをフォーマットする

フォーマットされていないDVD-RAMにデータを書き込むにはフォーマットが必要です。次の手順でフォーマットを行ってください。

1 **DVD-RAM/R/RWドライブに、フォーマットするDVD-RAMメディアをセットする**

2 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「DVD-RAM」-「DVD-RAM ドライバー」-「DVDForm」をクリックする**

次の画面が表示されます。

3 **「フォーマット種別」と「ボリュームラベル」の項目を設定して「開始」をクリックする**

フォーマット確認の画面が表示されます。

4 **「はい」をクリックする**

フォーマットがはじまります。

5 **フォーマットが終了して、次の画面が表示されたら「OK」をクリックする**

6 **☒をクリックして画面を閉じる**

他のDVDプレーヤーでメディアを読み込むときの注意

DVD-RAM/R/RWモデルのDVD-RAM/R/RWドライブは、次の規格に対応しています。

・ DVD-R for General Ver.2.0
・ DVD-RW Ver.1.1

DVD-RAM/R/RWモデルのDVD-RAM/R/RWドライブで書き込みをしたDVD-RメディアやDVD-RWメディアは上記の規格に準拠したDVDプレーヤーで再生できます。
また、上記の規格に準拠したDVDレコーダーで録画したDVD-RメディアやDVD-RWメディアを、DVD-RAM/R/RWモデルのDVD-RAM/R/RWドライブで再生することもできます。

チェック

- 「VRモード」で録画したDVD-RメディアおよびDVD-RWメディアをこのパソコンで再生するには、対応ソフトウェアを別途購入することが必要です。
- 書き込みに使用するソフトによっては、他のDVDプレーヤーなどで再生できるようにするために注意が必要な場合があります。詳しくは使用するソフトのマニュアルをご覧ください。
- お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCD、DVD-ROM、DVD-Videoなどの複製や改変を行う場合、オリジナルのCD等についての著作権を保有していなかったり、著作権者から複製・改変の許諾を受けていない場合は、著作権法または利用許諾条件に違反することがあります。複製などの際は、オリジナルのCD-ROMなどの利用許諾条件や複製に関する注意事項にしたがってください。

フロッピーディスクドライブ

使用する前に

次の手順でUSBコネクタに接続してください。

フロッピーディスクドライブが添付されていないモデルをお使いの場合、このパソコンでフロッピーディスクを使用するには別売のフロッピーディスクドライブ(PC-VP-WU14)が必要になります。

フロッピーディスクドライブを接続する

1 フロッピーディスクドライブのプラグをパソコン側面のUSBコネクタ(　)に接続する

プラグの　が上を向くように差し込んでください。

USBコネクタへの接続→このPARTの「USBコネクタ」(p.97)

フロッピーディスクドライブを取り外す

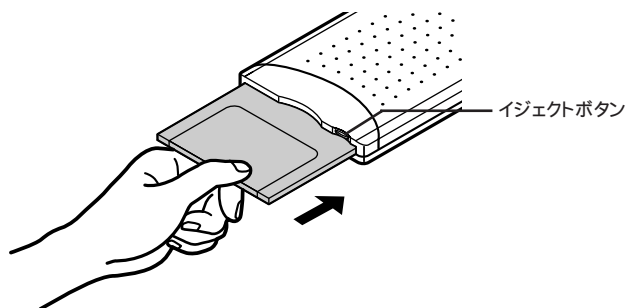
フロッピーディスクドライブを接続すると画面右下の通知領域に　が表示されます。フロッピーディスクドライブの取り外しは、　をクリックすると表示される「××××を安全に取り外します」で、取り外す機器名が表示されているものをクリックします。「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外してください。

正しい手順で取り外さないと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

フロッピーディスクのセットのしかたと取り出し方

フロッピーディスクをセットする

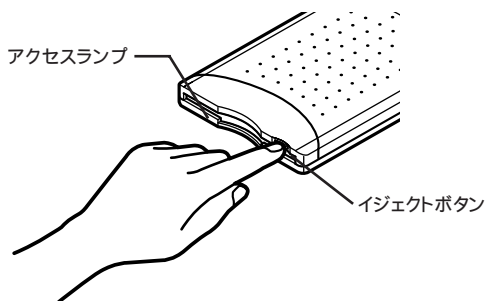
1 カチッと音がするまでフロッピーディスクを水平に差し込む

フロッピーディスクがセットされるとイジェクトボタンが少し飛び出します。

フロッピーディスクを取り出す

・フロッピーディスクを取り出す際は、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。

・フロッピーディスクアクセスランプ点灯中は、絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因となります。

1 イジェクトボタンを押す

フロッピーディスクが少し飛び出します。

2 フロッピーディスクを水平に引き出す

フロッピーディスクドライブを使用するときの注意

- PC-9800シリーズのパソコンでフォーマットされたフロッピーディスクを使ってシステムを起動することはできません。
- ディスクのコピーを行う場合、コピー先のフロッピーディスクは、コピー元のフロッピーディスクと同じ容量でフォーマットされたものを使用してください。
- フォーマットしていないフロッピーディスクを使用すると、処理に時間がかかる場合があります。

USBコネクタ

USBコネクタについて

USBコネクタには、プリンタやイメージスキャナなど、いろいろなUSB対応機器を取り付けることができます。基本的な取り付け方はどのUSB対応機器でも同じです。

このパソコンのUSBコネクタ

このパソコンには、USB2.0に対応したUSBコネクタが用意されています。USB2.0およびUSB1.1に対応したUSB機器を使用できます。USB2.0に対応している周辺機器を取り付けることで、USB2.0の転送速度を利用できるようになります。USB2.0に対応している周辺機器には、外付けのハードディスクやCD/DVDドライブなどがあります。
USB2.0に対応の周辺機器を接続するときは、接続に使うUSBケーブルもUSB2.0規格に対応したものを使ってください。

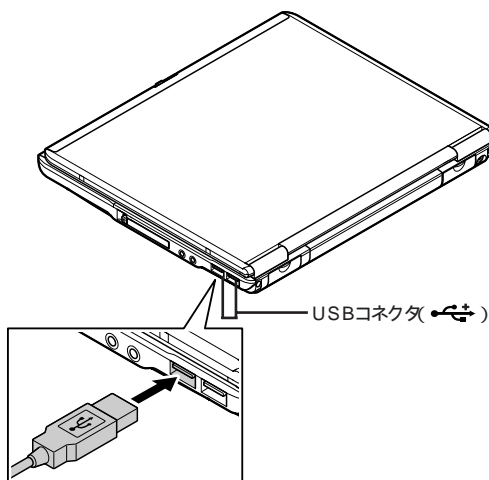
接続の前に

・ 機器によってはドライバやソフトの設定が必要になるものもあります。取り付ける機器のマニュアルをご覧になり、必要な設定を行ってください。
・ USB2.0の転送速度を出すにはUSB2.0対応の機器を接続する必要があります。また、USB2.0の機器をUSB1.1規格のハブで利用した場合は、USB1.1の転送速度に制限されます。

USB対応機器の取り付け方と取り外し方

USB対応機器を取り付ける

1 USB対応機器のプラグを向きに注意して、パソコン側面のUSBコネクタ( )に差し込む

プラグの が上を向くように差し込んでください。

2 USB対応機器が正しく認識されたかを確認する

確認方法については、USB対応機器のマニュアルをご覧ください。

USBハブを使用する場合は、USBハブをパソコンに先に取り付けてから、USB対応機器のプラグをUSBハブのコネクタに差し込んでください。

USB対応機器を取り外す

画面右下の通知領域にが表示されている場合は、をクリックすると表示される「××××を安全に取り外します」で、取り外す機器名が表示されているものをクリックします。「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外してください。

チェック

正しい手順で取り外さないと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

が表示されていない場合は、そのまま取り外せます。

USB対応機器を使用するときの注意

・USBコネクタの抜き差しは3秒以上の間隔をおいて行ってください。
・USB対応機器が正常に認識されていないときは、一度USBコネクタからプラグを抜いて、もう一度差し込んでください。
・省電力状態のときや省電力状態に移行中、復帰中はUSBコネクタの抜き差しをしないでください。

PCカードスロット／コンパクトフラッシュカードスロット

このパソコンではPC Card Standardに準拠したPCカードやコンパクトフラッシュカードを使うことができます。

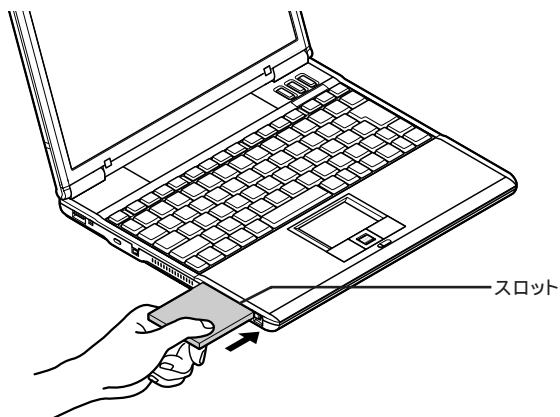
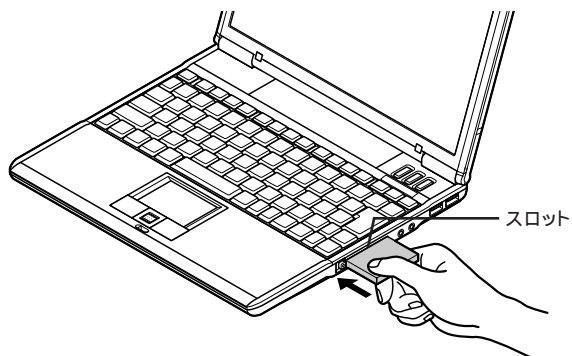
PCカードやコンパクトフラッシュカードのセットのしかたと取り出し方

PCカードやコンパクトフラッシュカードをセットする／取り出すときの注意

- ダミーカードがセットされている場合は、イジェクトボタンを押してダミーカードを取り出してから、PCカードまたはコンパクトフラッシュカードをセットしてください。また、取り出したダミーカードは紛失しないように保管してください。
- PCカードやコンパクトフラッシュカードをセットする／取り出す際は、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- PCカードやコンパクトフラッシュカードには表と裏があり、スロットに差し込む方向も決まっています。間違った向きで無理やり差し込むと、コネクタやスロットを破損するおそれがあります。
- 休止状態またはスタンバイ状態のときは、PCカードやコンパクトフラッシュカードをセットしたり、取り出したりしないでください。
- ソフトを使用中は、PCカードやコンパクトフラッシュカードをセットしたり、取り出したりしないでください。

PCカード／コンパクトフラッシュカードをセットする

PCカードまたはコンパクトフラッシュカードの差し込む向きを確認し、ラベル面を上にして、スロットにまっすぐ差し込んでください。

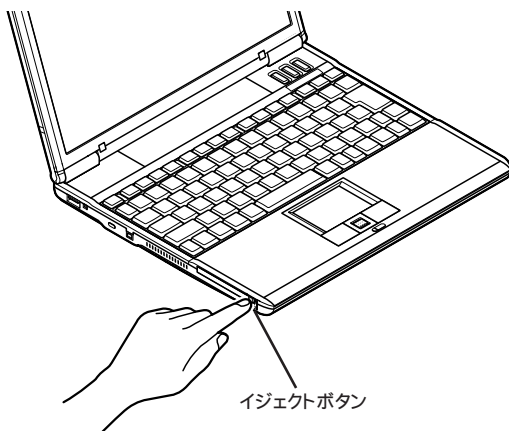
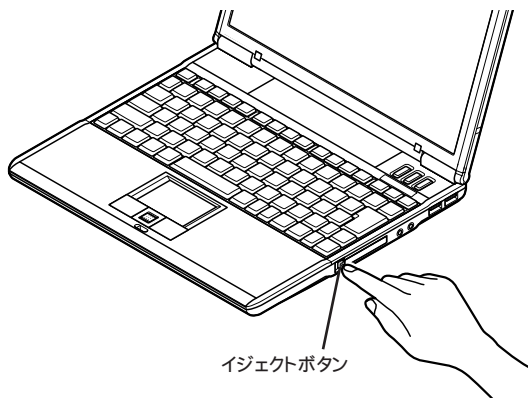
◆PCカードの場合

◆コンパクトフラッシュカードの場合

PCカード／コンパクトフラッシュカードを取り出す

1 **をクリックすると表示される「××××を安全に取り外します」で、PCカード名またはコンパクトフラッシュカード名が表示されているものをクリックする**

「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外すことができるようになります。

2 **イジェクトボタンを押す**

イジェクトボタンが手前に飛び出します。

◆PCカードの場合

◆コンパクトフラッシュカードの場合

3 **もう一度、イジェクトボタンをカチッと音がするまで押す**

PCカードまたはコンパクトフラッシュカードが少し飛び出します。

4 **PCカードまたはコンパクトフラッシュカードをまっすぐ引き抜く**

PCカードやコンパクトフラッシュカードを使用するときの注意

・PCカードやコンパクトフラッシュカードは精密にできています。PCカードやコンパクトフラッシュカード、スロットの故障を防ぐため、次の点に注意してください。
- 高温・多湿の場所、直射日光があたる場所に放置しない
- ほこりの多い場所で使用、保管をしない
- 曲げたり、傷つけたり、強い衝撃を与えない
- 水に濡らしたり、分解したりしない
- 端子部分を、手などで触れない

・PC Card Standardに準拠していないPCカードやコンパクトフラッシュカードは使えません。対応していないPCカードやコンパクトフラッシュカードを無理に押し込むと、故障の原因となります。

4in1メモリーカードアダプタ

4in1メモリーカードアダプタのセットのしかたと取り出し方

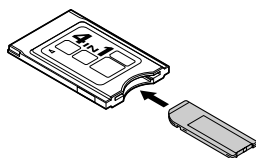
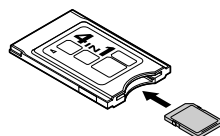
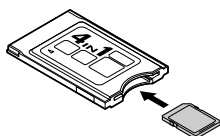
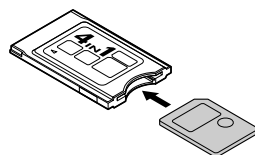
4in1メモリーカードアダプタをセットする／取り出すときの注意

- ダミーカードがセットされている場合は、イジェクトボタンを押してダミーカードを取り出してから、PCカードをセットしてください。また、取り出したダミーカードは紛失しないように保管してください。
- 4in1メモリーカードアダプタをセットする／取り出す際は、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- 4in1メモリーカードアダプタには表と裏があり、スロットに差し込む方向も決まっています。間違った向きで無理やり差し込むと、コネクタやスロットを破損するおそれがあります。
- 休止状態またはスタンバイ状態のときは、4in1メモリーカードアダプタをセットしたり、取り出したりしないでください。
- ソフトを使用中は、4in1メモリーカードアダプタをセットしたり、取り出したりしないでください。

4in1メモリーカードアダプタをセットする

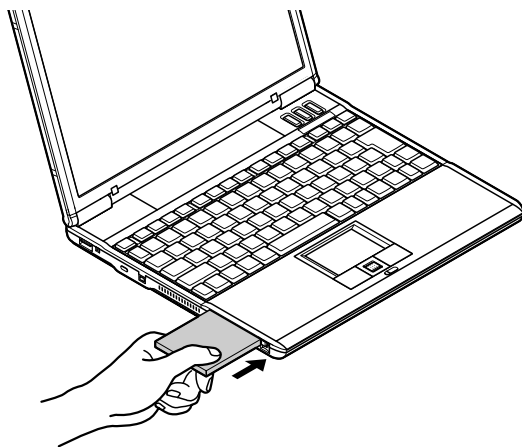
1 4in1メモリーカードアダプタに使用するカードをセットする

使用するカードの差し込む向きを確認し、ラベル面を上にして差し込んでください。

■「メモリースティック」の場合

■SDメモリーカードの場合

■マルチメディアカードの場合

■スマートメディアの場合

チェック

- 「メモリースティック」のフォーマット(初期化)が必要な場合は、デジタルカメラなどの「メモリースティック」専用機器や「マジックゲート メモリースティック」専用機器でフォーマットを行うことをおすすめします。WindowsのFATフォーマットを行うことも可能ですが、「メモリースティック」専用機器で使用する場合の動作は保証されておりません。
- 各メモリーカードの取り扱いについては、各メモリーカードに付属している取扱説明書などをご覧ください。
- マジックゲート メモリースティック、SDメモリーカード、マルチメディアカードの著作権保護機能には対応しておりません。
- 「メモリースティック PRO」の高速データ転送機能には対応しておりません。読み込み及び書き込み速度は「メモリースティック」と同等です。
- 「マジックゲート」機能には対応しておりません。
- 「メモリースティック DUO」をご使用の場合は、必ずメモリースティックDUOアダプターを使用してご利用ください。詳しくは「メモリースティックDUO」の取り扱い説明書をご参照ください。
- mini SDカードをご使用の場合には、必ずmini SDカード アダプターを使用してご利用ください。詳しくは mini SDカードの取り扱い説明書をご参照ください。

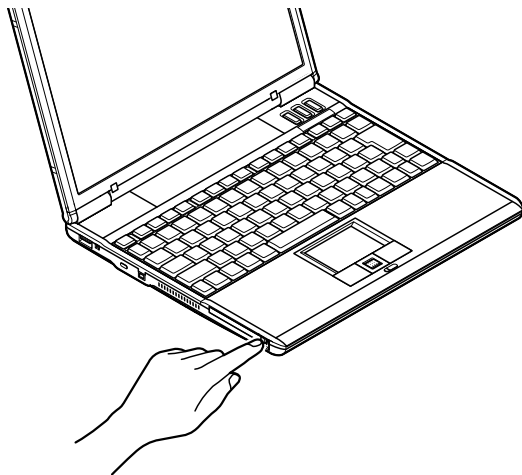
2 4in1メモリーカードアダプタをPCカードスロットに差し込む

4in1メモリーカードアダプタの差し込む向きを確認し、ラベル面を上にして、スロットにまっすぐ差し込んでください。

4in1メモリーカードアダプタを取り出す

1 をクリックすると表示される「××××を安全に取り外します」で、4in1メモリーカードアダプタ名が表示されているものをクリックする

「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外すことができるようになります。

2 PCカードスロットのイジェクトボタンを押す

イジェクトボタンが手前に飛び出します。

3 もう一度、イジェクトボタンをカチッと音がするまで押す

4in1メモリーカードアダプタが少し飛び出します。

4 4in1メモリーカードアダプタをまっすぐ引き抜く

4in1メモリーカードアダプタを使用するときの注意

・4in1メモリーカードアダプタは、本カードアダプタを標準添付しているこのパソコンでのみ動作する専用設計品です。他の機種では使用できません。

・4in1メモリーカードアダプタは精密にできています。4in1メモリーカードアダプタの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- 高温・多湿の場所、直射日光があたる場所に放置しない
- ほこりの多い場所で使用、保管をしない
- 曲げたり、傷つけたり、強い衝撃を与えない
- 水に濡らしたり、分解したりしない
- 対応のメモリーカード以外のものを挿入しない
- 端子部分を、手などで触れない

IEEE1394コネクタ

IEEE1394コネクタについて

このパソコンにはIEEE1394コネクタ（4ピン）が搭載されています。
IEEE1394に対応したデジタルビデオカメラや外付け用ハードディスクなどの周辺機器を取り付けることができます。

チェック

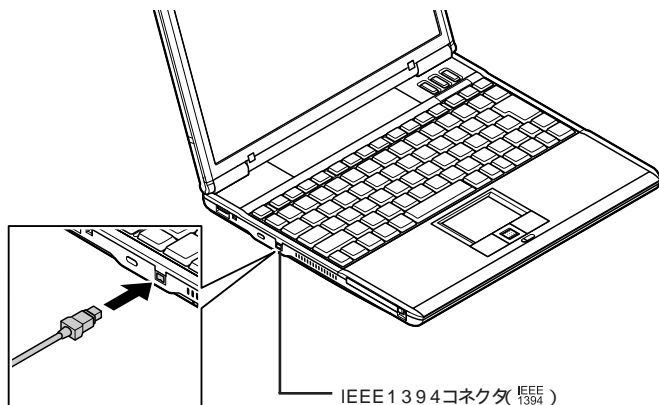
周辺機器によっては、スタンバイ状態から復帰後の動作が保証されない場合があります。その場合には、一度パソコンを再起動してからご使用ください。

IEEE1394対応機器の取り付け方と取り外し方

IEEE1394対応機器を取り付ける

このパソコンとIEEE1394対応機器を接続するには、別売の4ピンタイプのIEEE1394ケーブルが必要です。

1 IEEE1394ケーブルのプラグを、向きに注意してパソコンのIEEE1394コネクタに接続する

PART 2 このパソコンの機能

2 IEEE1394ケーブルのもう一方のプラグを、取り付ける機器のIEEE1394コネクタに接続する

機器によってはIEEE1394コネクタをDV端子と呼ぶこともあります。

IEEE1394対応機器を取り外す

IEEE1394対応機器によっては、機器を接続すると画面右下の通知領域に が表示されます。このような機器の取り外しは、 をクリックすると表示される「××××を安全に取り外します」で、取り外す機器名が表示されているものをクリックします。「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外してください。

正しい手順で取り外さないと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

IEEE1394コネクタから取り込んだ映像の編集

デジタルビデオカメラから画像を取り込む、編集する

IEEE1394コネクタを使ってデジタルビデオカメラなどのデジタルビデオ機器を取り付けると、パソコンへの映像の取り込みや取り込んだ映像の編集、デジタルビデオ機器への出力ができます。

お客様が録画、録音したものは個人で楽しむ場合を除き、著作権法上、著作権者に無断で使用できません。

- 映像の取り込み、編集、デジタルビデオ機器への出力→VideoStudioのオンラインヘルプ、または「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」-「VideoStudio」
- 映像の再生→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」-「WinDVD」、または「WinDVD」のヘルプ

メモリスロット

メモリを増やすことで、より多くのソフトを同時に起動したり、大きなデータをより高速に扱うことができるようになります。

このパソコンで使える増設RAMボード

このパソコンでは、次の増設RAMボードが使用できます。

型名	メモリ容量
PK-UG-M036	256Mバイト
PK-UG-M037	512Mバイト

増設RAMボードを取り扱うときの注意

・増設RAMボードの取り付け／取り外しを行う際は、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
・増設RAMボードは静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMボードを扱うと破損する原因となります。増設RAMボードに触れる前に、アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に手を触れて、静電気を取り除いてください。
・増設RAMボードのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良など、故障の原因となります。
・ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。

増設RAMボードの取り付け方と取り外し方

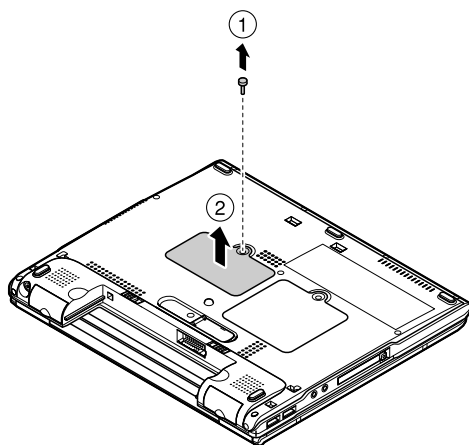
増設RAMボードを取り付ける

1 **パソコンの電源を切る**

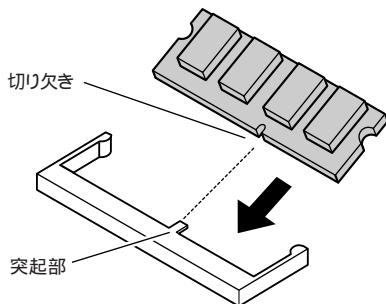
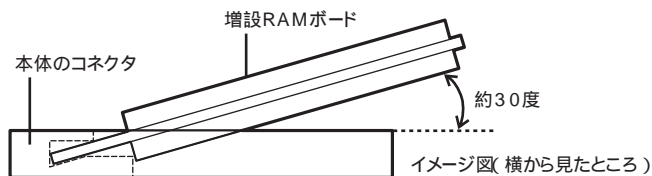
2 **電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタをパソコンから取り外す**

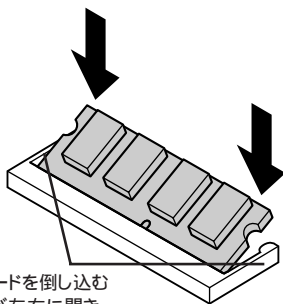
3 **液晶ディスプレイを閉じて、パソコンを裏返す**

4 **バッテリパックを取り外す（p.38）**

5 **図のネジをプラスドライバで取り外し、メモリスロットのカバーを取り外す**

6 **増設RAMボードの切り欠き部分とコネクタの突起部を合わせ、コネクタに対して約30度の挿入角度で、増設RAMボードの端子が当たるまで挿入する**

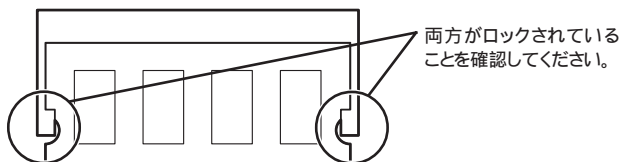
増設RAMボードが奥まで挿入できている場合は、端子部分(金色)のほとんどが、本体のコネクタに差し込まれた状態になります。

増設RAMボードの表と裏が間違っている場合、増設RAMボードの切り欠きとコネクタの突起部の位置が合わず、挿入することができません。間違った向きのままで無理に取り付けようとすると、パソコンのコネクタ部や増設RAMボードが破損する原因となりますので注意してください。

実物はイラストと多少異なる場合があります

挿入するときに、コネクタが固いことがありますが、奥までしっかり押し込んでください。しっかり押し込まずに次の手順を行うと、コネクタを破損するおそれがあります。

7 カチッと音がする位置まで増設RAMボードをコネクタに強く倒し込む

8 増設RAMボードがコネクタにしっかりロックされたことを確認する

正しくロックされている場合は、増設RAMボードが水平で、端子の金色の部分が少し（1mm程度）見える状態です。

確実にロックされていないと、本体のコネクタ部や増設RAMボードの故障の原因となります。また、パソコンが正しくメモリを認識できないこともあります。

PART 2 このパソコンの機能

9 メモリスロットのカバーを元に戻し、外したネジを本体底面に取り付ける

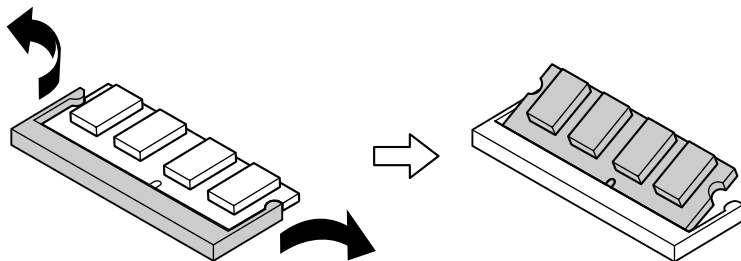
10 バッテリパックとACアダプタを取り付ける

メモリ増設後は、「ぱそガイド」-「パソコンの情報」でメモリ容量を確認してください。

増設RAMボードを取り外す

1 「増設RAMボードを取り付ける」（p.109）の手順1〜5を行い、メモリスロットのカバーを取り外す

2 メモリスロットのコネクタの両端部分を左右に押し広げる

増設RAMボードが図のように起き上がります。

3 起き上がった増設RAMボードをそのまま斜めに引き抜く

4 メモリスロットのカバーを元に戻し、外したネジを本体底面に取り付ける

5 バッテリパックとACアダプタを取り付ける

表示機能

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点が見えることがあります。また見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。

画面表示の調整

輝度の調整

画面の明るさ(輝度)を8段階で調節することができます。画面の明るさの調節はキーボードの次のキーで行います。

機能	キー操作	説明
輝度を上げる(▲☼)	【Fn】+【F7】	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が増加します(8段階)。
輝度を下げる(▼☼)	【Fn】+【F8】	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が低下します(8段階)。

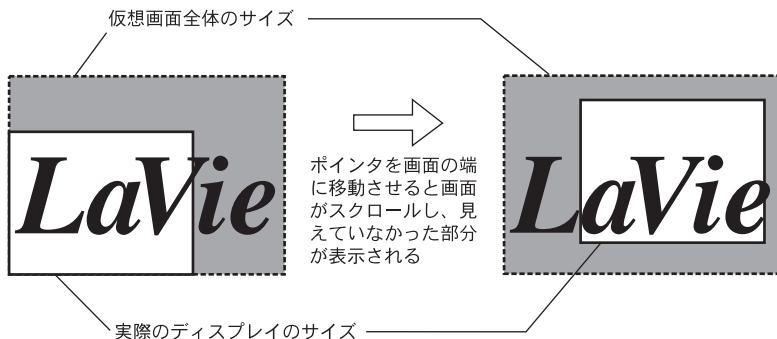
解像度と表示色の設定

このパソコンの液晶ディスプレイで表示可能な解像度や表示色については、PART5の「仕様一覧」(p.194)をご覧ください。解像度と表示色の変更のしかたや、複数のディスプレイを取り付けた場合に表示可能な解像度や表示色については、「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「ディスプレイの設定」をご覧ください。

いろいろな表示機能

ディスプレイに表示している画面を拡大/縮小表示したり、仮想的に高解像度で表示することができます。

バーチャルスクリーン機能

バーチャルスクリーンとは、ディスプレイが表示可能な解像度よりも、大きな解像度を使用できるようにするための仮想画面のことです。仮想画面全体のサイズが実際のディスプレイの画面サイズよりも大きくなるため、ディスプレイには仮想画面の一部が表示された状態になります。

- このパソコンで表示可能な解像度と表示色→PART5の「仕様一覧」(p.194)
- バーチャルスクリーンの設定→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「ディスプレイの設定」

ディスプレイストレッチ機能

ディスプレイストレッチ機能は、このパソコンの液晶ディスプレイの解像度よりも低い解像度でWindowsを使用している場合に、液晶ディスプレイに画面を拡大して表示する機能です。ディスプレイストレッチ機能の設定については、「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「ディスプレイの設定」をご覧ください。

【Fn】を押しながら【F5】を押すことで、画面を拡大表示する／しないを切り替えることもできます。

画面回転機能

画面回転機能は、表示されている画面イメージを回転させた状態で液晶ディスプレイに表示する機能です。
たとえば、液晶ディスプレイをいっぱいに開いて、表示されている画面を180度回転させることにより、向かい側にいる人にプレゼンテーションを行う場合などに利用できます。
画面回転機能の設定や使い方については、「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「ディスプレイの設定」をご覧ください。

外部ディスプレイの接続

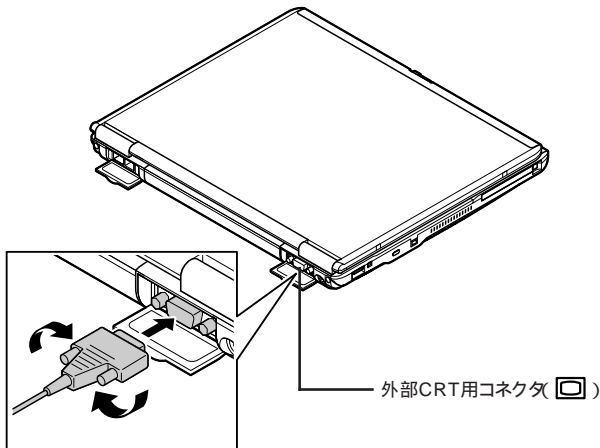
より大きな画面に表示させたいときや、別のディスプレイにも表示させたいときなど、このパソコンに市販のディスプレイを接続することができます。

外部CRT用コネクタに接続する

外部CRT用コネクタ(🖵)に別売の外部ディスプレイやプロジェクタなどを接続して、より大きな画面に表示させてパソコンを使ったり、プレゼンテーションなどに活用したりできます。

1 パソコンの電源を切る

2 ディスプレイ用ケーブルで、外部CRT用コネクタ(🖵)と外部ディスプレイやプロジェクタを接続する

接続について詳しくは、外部ディスプレイやプロジェクタのマニュアルをご覧ください。

複数ディスプレイ使用時の機能

同じ画面を2つのディスプレイに同時表示する機能や、1つのディスプレイに入りきらない画面を2つのディスプレイを使って表示する機能などがあります。

同時表示機能

このパソコンの液晶ディスプレイと、パソコンに接続した外部ディスプレイの2つのディスプレイに同じ画面を表示する機能です。たとえば、プロジェクタなどを使ってプレゼンテーションを行う場合、手元にあるパソコンのディスプレイを操作しながら同じ画面をプロジェクタの大画面で映し出したいときなどに利用できます。

参照

同時表示機能→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「ディスプレイの設定」

デュアルディスプレイ機能

このパソコンの液晶ディスプレイと、パソコンに接続した外部ディスプレイを使って、1つの大きな画面を表示できる機能です。2つのディスプレイの画面を連続した1つの画面として使えるので、表示できる範囲が大きくなります。

参照

デュアルディスプレイ機能→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「ディスプレイの設定」

表示ディスプレイの切り替え

外部ディスプレイを接続している場合は、次の方法で表示するディスプレイを切り替えることができます。

■ キーボードで切り替える

【Fn】を押したまま【F3】を押すごとに、「液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示」→「液晶ディスプレイ」→「外部ディスプレイ」の順で表示するディスプレイが切り替わります。

チェック

デュアルディスプレイ機能を使用しているときにはこの操作は行えません。

■コントロールパネルで切り替える

コントロールパネルで画面の出力先を切り替えることができます。

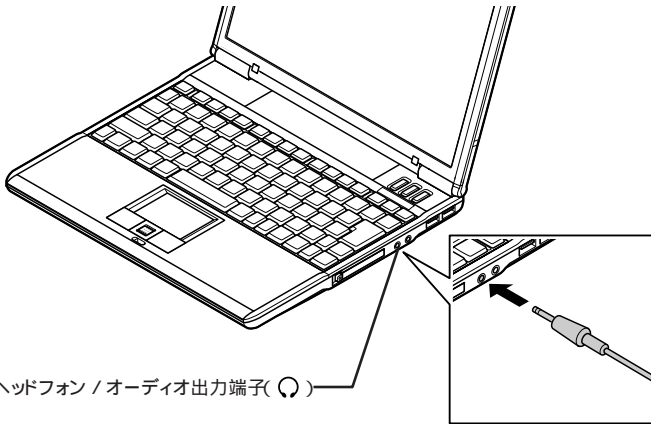
参照

画面の出力先の切り替え→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「ディスプレイの設定」

サウンド機能

接続できる機器

ヘッドフォンやオーディオ機器を接続する

市販のヘッドフォンやAVアンプなどのオーディオ機器は、このパソコンのヘッドフォン／オーディオ出力端子（🎧）に接続します。

チェック

ヘッドフォンやオーディオ機器は、このパソコンと機器の音量を最小にしてから取り付けるようにし、音量は取り付けた後で調整してください。

メモ

ヘッドフォン／オーディオ出力端子からは、WAVE出力、MIDI出力、音楽CDなどのデジタル再生音を出力することができます。

■ DolbyHeadphone機能、またはDolby Virtual Speaker機能を使う

このパソコンにはDolby Virtual Speaker機能が搭載されています。外部ステレオスピーカを接続し、ドルビーデジタル5.1チャンネルサラウンド対応のDVD-Videoディスクを再生すると、迫力あるサラウンドサウンドでDVD-Videoディスクを楽しむことができます。
また、DolbyHeadphone機能も搭載されています。このパソコンのヘッドフォン／オーディオ出力端子（）に市販のヘッドフォンを接続すると、DVD-Videoディスクの臨場感あふれるデジタルサウンドを楽しむことができます。これらの機能を利用するには設定が必要です。WinDVDで をクリックして設定を行ってください。

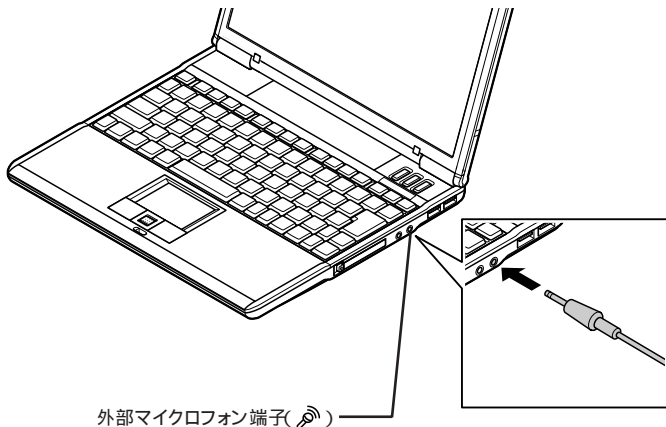
Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
非公開機密著作物。著作権1992-1999年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

参照

「WinDVD」の使い方→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」、または「WinDVD」のヘルプ

マイクロフォンを接続する

マイクロフォンは、このパソコンの外部マイクロフォン端子（）に接続します。外部マイクロフォン端子には、市販のミニプラグ付きマイクロフォンを接続することができます。

外部マイクロフォン端子（）

マイクロフォンからの入力音量は、Windowsの「ボリュームコントロール」で調整します。

参照

ボリュームコントロールの使い方→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「サウンドの設定」

音量を調節する

キーボードで調節する

キーボードのキー操作で内蔵スピーカの音量を調節できます。

機　能	キー操作	説　明
音量を上げる（ ）	【Fn】+【F9】	キーを押すごとに、音量が増加します。
音量を下げる（ ）	【Fn】+【F10】	キーを押すごとに、音量が低下します。

ボリュームコントロールを使う

Windowsのボリュームコントロールを使うと、内蔵音源の再生音量や録音するときの入力レベルを調節することができます。

参照

ボリュームコントロールの使い方→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「サウンドの設定」

音楽CDからのデジタル出力設定

音楽CDからのデジタル出力を行う場合は、デジタル出力できる設定になっていることを確認してください。出力できない設定になっている場合は設定を変更してください。

チェック

CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVD-RAM/R/RWドライブをUSBコネクタに接続して音楽CDを再生するときは、アナログではなくデジタルで音楽CDを再生するように設定してください。

参照

音楽CDからのデジタル出力をするための設定について→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「サウンドの設定」

サウンドの設定

「SoundMAXコントロール パネル」を使って、マイクの設定やMIDIサウンドの設定ができます。MIDIサウンドの設定では、GS、XG-Lite、GeneralMIDIのサウンドが設定できます。
詳しくは、「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「サウンドの設定」をご覧ください。

BIOSセットアップユーティリティ

BIOSセットアップユーティリティの使い方

BIOSセットアップユーティリティの起動

1 パソコンの電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を数回押す

BIOSセットアップユーティリティのメイン画面が表示されます。

BIOSセットアップユーティリティが表示されないときは、電源を入れなおして【F2】を押す間隔を変えてください。

BIOSセットアップユーティリティの基本操作

操作はキーボードで行います。

■ 設定を変更する

- 【←】【→】でメニューを選び、【↑】【↓】で設定項目を選びます。
- 設定内容の値は【Fn】+【+】、【−】で変更するか、【Enter】でポップアップメニューを表示して変更できます。
- 設定内容(例:システム時刻の時、分、秒)のカーソル移動は【Tab】または【Enter】で選択します。時刻、日付の値は数字キーで入力できます。
- ▶印の付いた設定項目は【Enter】でサブメニューを表示し、【Esc】で元の画面に戻ります。

■ 設定の変更を保存する

「終了」メニューの「変更を保存する」を選びます。変更した設定内容が保存されます。

■ 設定の変更を取り消す

「終了」メニューの「変更を取り消す」を選びます。各設定項目の設定内容を最後に保存した値に戻します。

購入時の値に戻す

メモ

購入時の値に戻しても、パスワードの設定は変更されません。

1 【F9】を押す

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

2 「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す

3 【F10】を押す

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

4 「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す

購入時の値が設定され、BIOSセットアップユーティリティが終了します。

BIOSセットアップユーティリティの終了

■ 変更を保存して終了する

1 【F10】を押す

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
終了を中止したいときは【Esc】を押してください。

2 「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す

設定内容が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了します。

■ 変更を保存せずに終了する

「終了」メニューの「変更を保存せずに終了」を選びます。設定内容を最後に保存した値に戻して、BIOSセットアップユーティリティを終了します。

設定項目一覧

ここでは、BIOSセットアップユーティリティでどのような設定ができるかを説明しています。
表中の反転部分は、購入時の設定です。

「標準設定」メニューの設定

設定項目	設定値	説明
BIOSバージョン	ー	BIOSのバージョンを表示します。
型番	ー	型番を表示します。
製造番号	ー	製造番号を表示します。
メモリ容量	ー	搭載されているメモリ容量を表示します。
表示言語の選択	English **Japanese**	BIOSセットアップユーティリティで使用する言語を設定します。標準では「Japanese」に設定されています。
システム日付	ー	日付を西暦で設定します。
システム時刻 （時：分：秒）	ー	現在の時刻を「時：分：秒」（24時間形式）で設定します。
IDEプライマリマスタ	ー	現在接続されているIDE機器が表示されます。この項目にカーソルを合わせ【Enter】を押すと詳細画面が表示されます。【Esc】を押すと元の画面に戻ります。
起動セクタへのライトプロテクト	**使用しない** 使用する	ウイルス感染防止のため、ハードディスク起動セクタを書き込み禁止にするかどうかを設定します。
バッテリリフレッシュ	ー	バッテリリフレッシュを実行します。

「拡張設定」メニューの設定

設定項目	設定値	説　明
LCDパネル拡大表示	オフ **オン**	LCDの拡大表示を行うかどうかを設定します。「オン」に設定すると、LCDパネルの最大表示サイズ以下の表示画面では拡大されて表示されます。
NXパッド	使用しない **使用する**	USBマウスを使用するときなど、NXパッドを無効にしたい場合は、「使用しない」に設定します。
USBレガシー機能	使用しない **使用する**	「使用する」に設定するとUSBレガシー機能が有効になります。「使用しない」に設定すると、USBフロッピーディスクドライブとUSB CD/DVDドライブからの起動ができなくなります。
USB動作モード※1	**2.0モード** 1.1モード	オプションを使用して、USB動作モードを設定します。
ワイヤレスデバイス※2	**使用しない** 使用する	ワイヤレスLAN機能のオン/オフを切り替えます。
Intel(R) SpeedStep(TM)テクノロジ	**使用する** 使用しない	「使用する」を選択するとIntel® SpeedStep™テクノロジがOSやAppletにより制御され、システムは最適化された性能で動作します。「使用しない」を選択すると、常にバッテリ最適化性能で動作します。

※1：設定は変更しないでください
※2：ワイヤレスLANモデルのみ

PART 2 このパソコンの機能

「セキュリティ」メニューの設定

パスワードの設定について詳しくは、PART2の「セキュリティ機能」の「不正使用やデータの盗難を防ぐ（パスワード）」（p.68）をご覧ください。

設定項目	設定値	説　明
スーパバイザパスワードの設定		スーパバイザパスワードの設定または変更を行います。
ユーザパスワードの設定※		ユーザパスワードの設定または変更を行います。
パスワードチェック※	**セットアップ** 常時	「常時」に設定すると、システム起動時、およびセットアップ起動時にパスワードが必要になります。
HDDマスタパスワードの設定		ハードディスクのマスタパスワードの設定を行います。
HDDユーザパスワードの設定		ハードディスクのユーザパスワードの設定または変更を行います。

※：スーパバイザパスワードを設定していないと「ユーザパスワードの設定」、「パスワードチェック」は設定できません。

「起動設定」メニューの設定

設定項目	設定値	説　明
ロゴ表示	使用しない スキップ※1 **使用する**	ブート時の画面を設定します。
起動時Numロック	**オフ** オン	起動時にNum Lockを有効にするには「オン」に設定します。
Networkブート	**使用しない** 使用する	ネットワークからの起動が必要な場合、「使用する」に設定します。通常は「使用しない」の設定でお使いください。
第一起動デバイス	**USB CD/DVD** USBフロッピィ IDE HDD NetWork※2 使用しない	最初に起動するデバイスを設定します。
第二起動デバイス		二番目に起動するデバイスを設定します。
第三起動デバイス		三番目に起動するデバイスを設定します。
第四起動デバイス※2		四番目に起動するデバイスを設定します。

※1：BIOSセットアップユーティリティを起動する場合は、電源を入れた後、【F2】を押すことを何度かくり返してください。
※2：「Networkブート」を「使用する」にした場合のみ表示されます。

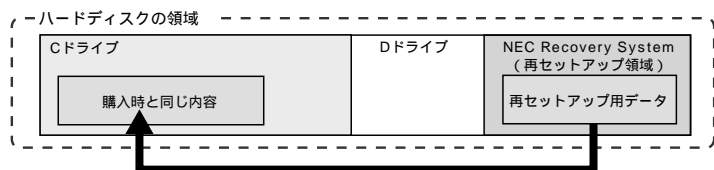
PART

3

再セットアップ

再セットアップする前に

再セットアップとは

再セットアップとは、お使いのパソコンのシステムをもう一度買ったときと同じ状態（購入時と同じ状態）に戻す作業のことです。
購入時、このパソコンの内蔵ハードディスクには「再セットアップ領域（これ以降『NEC Recovery System』と呼びます）」があり、この領域に格納されている再セットアップ用データを使って再セットアップを行います。

再セットアップすると、再セットアップの種類によっては購入後に保存したファイルはすべて消えてしまいます。時間もかかる作業なので、必要かどうか確認のうえ、再セットアップを行ってください。

『NEC Recovery System』（NEC-RESTOREドライブと表示されるドライブ）に対してファイルシステムの変更やダイナミックディスクの設定を行うと、再セットアップができなくなります。この領域は購入時の状態から変更したり削除したりしないでください。

こんなときは再セットアップ

次のようなときは、パソコンの再セットアップが必要です。

メモ

トラブルが解決できなかった場合、最後の手段として再セットアップを行ってください。なお、再セットアップをする前にPART4の「トラブルが起こったときは」の「こんなことも試してみよう」(p.165)の内容を試してください。また、トラブル解決を試みていない方は、「トラブル事例の探し方」(p.162)をご覧になったうえで再セットアップを行ってください。

再セットアップの種類

再セットアップには、次の2種類があります。

●標準再セットアップ(Cドライブのみ再セットアップ)

Cドライブ以外の領域にあるデータを削除せずに、Cドライブのみ再セットアップします。Cドライブのデータは削除されるので大切なデータはバックアップを取っておいてください。

(実用例)

・ トラブルが解決できなくなったため、パソコンのシステムを購入時の状態に戻したい
・ Dドライブ(またはCドライブ以外の領域)に必要なデータを移動し、Cドライブだけ購入時の状態に戻したい

●Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ

Cドライブのサイズを最小10Gバイトから最大お使いの内蔵ハードディスク容量(『NEC Recovery System』を除く)まで1Gバイト単位で設定して再セットアップします。また、残った領域は、Dドライブとして作成されます。

内蔵ハードディスクのデータはすべて削除されるので大切なデータはバックアップを取っておいてください。Dドライブにあるソフトチョイス対応アプリケーションのセットアップファイルをバックアップするには、「再セットアップディスク作成ツール」が便利です。詳しくはこの後の「1.再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成する」(p.150)をご覧ください。

(実用例)

・ Cドライブのサイズを20Gバイトに設定して、パソコンを使用したい
・ 内蔵ハードディスクの領域をCドライブだけにして、パソコンを使用したい

メモ

そのほかに、『NEC Recovery System』をDVD-R媒体またはCD-R媒体に書き出した「再セットアップ用CD/DVD-ROM」からの再セットアップ方法もあります。

詳しくは、このPARTの「その他の再セットアップ」(p.148)をご覧ください。

再セットアップの準備をする

操作の流れ

再セットアップの前に、次の手順で準備をしてください。

1.データのバックアップをとる
2.パソコンの使用環境の設定を控える
3.必要なものをそろえる
4.本体の準備をする

1.データのバックアップをとる

再セットアップで元に戻せるデータは、Windows XP(OS本体)と購入時にインストールされているソフトだけです。
再セットアップを行うと「失われるデータ」と「元に戻せるデータ」には、次のようなものがあります。

	データの一例
再セットアップを行うと失われるデータ	・ワープロの文章 ・入力した伝票のデータ ・購入後にインストールしたソフト※ ・送受信したメール ・メールのアドレス帳 ・インターネットの設定 ・BIOSセットアップユーティリティの設定(パスワードを除く)
再セットアップを行うと元に戻せるデータ	・Windows XP(OS) ・購入時にインストールされているソフト

※インストールに必要なCD-ROMなどをお持ちの場合には、再セットアップ完了後にもう一度インストールすれば使えるようになります。

チェック

- 再セットアップの種類 によっては内蔵ハードディスクに保存されたデータは消えてしまいます。大切なデータは必ず記憶媒体(メディア)にバックアップしておいてください。
- マルチユーザーでお使いの場合は、それぞれのユーザー名でログオンし、データのバックアップを行ってください。
- ユーザー名が再セットアップ後と異なる場合、バックアップしたデータが復元できない場合があります。再セットアップする前にユーザー名を控えてください。

このパソコンには、データのバックアップと復元に便利な「バックアップ-NX」というソフトがあります。「バックアップ-NX」を使うと、このパソコンに添付されているソフトで作成したデータや、インターネット設定のバックアップが簡単に行えます。また、購入してインストールしたソフトで作成したデータのバックアップを取ることもできます。

バックアップ-NX→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

2.パソコンの使用環境の設定を控える

再セットアップすると、インターネットやBIOSセットアップユーティリティなどの設定は、すべて初期値に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

インターネットの設定を控える

インターネットやメールを使用している場合、以下の設定については再セットアップ後に、もう一度設定しなおす必要があります。再セットアップの前に以下の内容を控えておいてください。

- ユーザーID
- パスワード(正式パスワードまたは仮パスワード)
- 電子メールアドレス
- メールパスワード
- プライマリDNS
- セカンダリDNS
- インターネットメールサーバ
- ニュースサーバ
- アクセスポイントの電話番号

再セットアップすると、「お気に入り」に登録したURLは消えてしまいます。
また、受信したメールは標準でCドライブに保存されているためメールデータも消えてしまいます。これらのデータを取っておく場合は、URLファイルやメールデータのバックアップをしておいてください。

- 「バックアップ-NX」を使うと、インターネットに関する情報のバックアップをとることができます。詳しくは「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」をご覧ください。
- BIGLOBEに入会していて、会員証があるときは、会員証を用意してください。インターネットの接続に必要な情報のうち、アクセスポイント以外の情報は会員証に記載されています。

BIOSセットアップユーティリティの設定を控える

BIOSセットアップユーティリティを起動して、現在の設定を控えてください。

3.必要なものをそろえる

再セットアップの作業に入る前に、このパソコンに添付されている次のCDを準備してください。

・「Microsoft® Office Personal Edition 2003」CD-ROM(Office 2003モデルのみ)
・「Microsoft® Office Home Style+」CD-ROM(Office 2003モデルのみ)

パソコン購入後に自分でインストールしたソフトを、再セットアップ後にも使うときは、そのソフトのインストールが必要です。使うソフトのマニュアルをご覧になり、インストールに必要なものを準備してください。

4.本体の準備をする

BIOSの設定を初期値に戻す

・ BIOSの設定を初期値に戻しても、パスワードの設定は変更されません。
・ PCカードやコンパクトフラッシュカードをセットしている場合は、取り外してから次の操作を行ってください。

1 パソコンの電源を入れて「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を数回押す

BIOSセットアップユーティリティのメイン画面が表示されます。

BIOSセットアップユーティリティが表示されない場合は、電源を入れなおして、【F2】を押す間隔を変えてください。

2 **【F9】を押す**

「デフォルト値をロードしますか？」と表示されます。

3 **「はい」が選択されていることを確認して【Enter】を押す**

4 **【F10】を押す**

「設定の変更を保存して終了しますか？」と表示されます。

5 **「はい」が選択されていることを確認して【Enter】を押す**

これでBIOSの設定が初期値に戻りました。

パソコンの電源を切る

スタンバイ状態や休止状態になっている場合は、復帰してから電源を切ってください。

周辺機器をすべて取り外し、購入時と同じ状態にする

すべての周辺機器を取り外し、購入時と同じ状態にしてください。

ACアダプタを接続する

バッテリ駆動では再セットアップはできません。必ずACアダプタを接続しておいてください。

再セットアップ時の注意

再セットアップ中に警告音が鳴る場合がありますが、故障ではありません。

マニュアルに記載されている手順どおりに行う

再セットアップを行うときは、このマニュアルに記載の手順を必ず守ってください。手順を省略したりすると、正しく再セットアップすることができません。また、画面で指示された以外のキーを押したり、スイッチを操作すると、正しく再セットアップできないことがあります。

再セットアップは途中でやめない

いったん再セットアップをはじめたら、再セットアップの作業を絶対に中断しないでください。作業を中断すると故障の原因となります。必ず最後まで通して行ってください。万が一再セットアップの作業を中断してしまった場合は、正しく再セットアップされていない可能性があるので、再セットアップを最初からやりなおしてください。

再セットアップ中、オートパワーオフは無効となります。

再セットアップ後にソフトをインストールしなおす

パソコンの購入後にCドライブにインストールしたソフトは、再セットアップすると消去されます。

また、Cドライブ以外のハードディスクにインストールしたソフトが標準再セットアップ後に残っていてもうまく動作しなくなる場合があります。

これらのソフトは、再セットアップ後にインストールしなおしてください。

標準再セットアップ(Cドライブのみ再セットアップ)

操作の流れ

再セットアップは次の手順で行います。

1.システムを再セットアップする
2.Windowsの設定をする
3.Office Personal 2003を再セットアップする(Office 2003モデルのみ)
4.各種の設定をする

再セットアップをはじめたら、必ず手順通り最後まで行ってください。再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。
再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

PART 3 再セットアップ

1.システムを再セットアップする

1 パソコンの電源を入れる

2 「NEC」のロゴが表示されたら、「再セットアップとは」と表示されるまで【F11】を数回押す

チェック

【F11】を押すタイミングによって、「再セットアップとは」の画面は表示されません。画面が表示されなかった場合は、いったん電源を入れなおし、【F11】を押すタイミングを変えてください。

メモ

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。実際の画面で確認してください。

3 「再セットアップとは」と表示されたら、【Enter】を押す

4 「準備するもの」と表示されたら、【↑】【↓】を押して「次へ」を選択し、【Enter】を押す

5 「再セットアップを始める前に」と表示されたら、【↑】【↓】を押して「次へ」を選択し、【Enter】を押す

6 「再セットアップの種類を選択する」と表示されたら、【↑】【↓】を押して「Cドライブのみ再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」を選択すると、Cドライブの領域サイズを変更することができます。詳しくは、このPARTの「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」(p.145)をご覧ください。

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。「Cドライブのみ再セットアップ」の画面でご確認ください。

7 「Cドライブのみ再セットアップ」と表示されたら、【↑】【↓】を押して「再セットアップを開始する」を選択し、【Enter】を押す

再セットアップがはじまります。
終了するとパソコンを再起動するようメッセージが表示されます。

再セットアップがはじまったら、画面から指示がない限り、パソコン本体の電源スイッチを押さないでください。再セットアップ中に数回ビープ音(ピーという音)が鳴ることがありますが、これは再セットアップの処理が正しく進んでいることを示すもので、故障ではありません。

8 【Enter】を押す

何度かパソコンが再起動します。
しばらくすると、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されます。

- パソコンの処理が行われる間は、画面にが表示されたり、ハードディスクアクセスランプ()が点灯します。
  この間は、キーを押したりクリックしないようにしてください。
- 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されなかった場合は、システムの再セットアップが正常に行われていません。はじめからやりなおしてください。

2.Windowsの設定をする

次の画面が表示されたら次の手順でWindowsの設定をしてください。

キー操作の必要な画面では長時間放置しないでください。

1 「次へ」をクリックする

「使用許諾契約」と表示されます。

2 「使用許諾契約」の内容を確認する

▼(スクロールボタン)をクリックすると続きを読むことができます。

3 「同意します」の◯をクリックして◉にし、「次へ」をクリックする

「コンピュータに名前を付けてください」と表示されます。

- 「同意しません」をクリックすると、Windowsを使うことはできません。
- コンピュータ名はセットアップ後に変更できます。ここでコンピュータ名を入力する場合は、半角英数字を使ってください。

参照

再セットアップ後のコンピュータ名の変更の方法→Windowsのヘルプ

4 「次へ」をクリックする

このあと、お使いのモデルによって手順が異なります。

・Windows XP Home Editionモデルの場合
手順9に進んでください。

・Windows XP Professionalモデルの場合
「管理者パスワードを設定してください」と表示されます。
手順5に進んでください。

5 「管理者パスワード」欄に管理者パスワードを入力する

入力したパスワードは「●」で表示されます。

・パスワードは、忘れないようにしてください。また、パスワードには大文字／小文字の区別があります。

・ここで入力したパスワードは、セットアップが完了した後で変更することができます。

再セットアップ後のパスワードの変更方法→Windowsのヘルプ

6 「パスワードの確認入力」欄に手順5で入力したパスワードと同じパスワードを入力する

7 「次へ」をクリックする

8 「このコンピュータをドメインに参加させますか?」と表示された場合は、「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません」が◉になっていることを確認して「次へ」をクリックする

9 「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした」と表示された場合は、「省略」をクリックする

インターネットの接続はセットアップ後に行ってください。

10 「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか?」と表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」の◯をクリックして◉にし、「次へ」をクリックする

11 「今すぐインターネット アクセスのセットアップを行いますか?」と表示された場合は、「いいえ、今回はインターネットに接続しません」の◯をクリックして◉にし、「次へ」をクリックする

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」の画面が表示されます。

12 ユーザー名を「ユーザー1」に半角英数字で入力する

「ユーザー1」のみ入力してください。ユーザー2〜5はセットアップ後に設定してください。

参照

再セットアップ後のユーザー名の設定方法→Windowsのヘルプ

チェック

「データのバックアップをとる」でユーザー名を控えた場合は控えたユーザー名を入力してください。

13 「次へ」をクリックする

「設定が完了しました」と表示されます。

14 「完了」をクリックする

Windowsが再起動します。
しばらくすると「パソコンの診断が終了しました。」と表示されます。

チェック

パソコンの処理が行われる間は、画面に⌛が表示されたり、ハードディスクアクセスランプ(⛁)が点灯します。
この間は、キーを押したりクリックしないようにしてください。

15 「次へ」をクリックする

「121ポップリンクの設定」と表示されます。

16 「利用する」が◉になっていることを確認して「次へ」をクリックする

「設定が完了しました。」と表示されます。

17 「完了」をクリックする

Windowsが再起動し、「システムの復元ポイントの設定」が表示されます。
しばらくこの画面が表示された後、自動的に再起動します。
デスクトップ画面が表示されるまで何も操作せずにしばらくお待ちください。

これ以降は、ご使用のモデルにより手順が異なります。

・ Office 2003モデル→このページの「3.Office Presonal 2003を再セットアップする(Office 2003モデルのみ)」を行ってから「4.各種の設定をする」(p.143)へ
・ 上記以外のモデル→「4.各種の設定をする」(p.143)へ

なお、お客様登録が不要な場合に、「NECオンラインお客様登録」アイコンを削除するには、次の「「NECオンラインお客様登録」アイコンを削除する」の手順を行ってください。

「NECオンラインお客様登録」アイコンを削除する

次の操作を行ったあとに再度アイコンを表示するには、再セットアップを行う必要があります。

1 デスクトップ画面の「NECオンラインお客様登録」アイコン、または、[スタート]－[すべてのプログラム]－[アプリケーション]で表示される「NECオンラインお客様登録」を起動する

「NECオンラインお客様登録」が表示されます。

2 「本製品のお客様登録を他の方法(インターネット、FAX等)でお済みの方」の◯をクリックして◉にし、「次へ」をクリックする

削除を確認するメッセージが表示されます。

3 「完了」をクリックする

3.Office Personal 2003を再セットアップする(Office 2003モデルのみ)

ここでの作業は、Office 2003モデルにのみ必要な作業です。

ここでの操作には、CD/DVDドライブが必要です。PART2の「CD/DVDドライブ」(p.82)をご覧になり、CD/DVD ドライブを使えるようにしてください。CD/DVDドライブ接続後、再起動するようメッセージが表示された場合は、再起動を行ってください。

「Office Personal 2003」を再セットアップする

このパソコンにセットアップされている「Office Personal 2003」は、機能を厳選してセットアップされています。必要のない機能を削除する方法や、削除した機能を再追加する方法については、添付の「Office Personal 2003」のマニュアルをご覧ください。
ここでは、「カスタム」でご購入時の機能をセットアップする方法を説明します。

1 「Microsoft® Office Personal Edition 2003」CD-ROMをCD/DVDドライブにセットする

「Microsoft Office 2003 セットアップ」の画面が表示されます（表示されない場合は、「スタート」-「マイ コンピュータ」をクリックし、「CD-ROM」アイコンをダブルクリックしてください）。

2 「プロダクトキー」を入力し、「次へ」をクリックする

「プロダクトキー」は、Office Personal 2003のCD-ROMケースの裏側のシールに記載されています。

3 「ユーザー情報」（ユーザー名など）を入力する

ユーザー名やその他の項目は省略できます。

4 「次へ」をクリックする

「インストールの種類」と表示されます。

5 「インストールの種類を選択してください」欄から「カスタム インストール」の◯をクリックして◉にする

インストール先を変更する場合は「参照」をクリックし、インストール先を選び、「OK」をクリックしてください。

6 「次へ」をクリックする

「カスタム セットアップ」と表示されます。

7 「アプリケーションごとにオプションを指定してインストール」の□をクリックして☑にする

8 「次へ」をクリックする

「詳細なカスタマイズ」と表示されます。

9 「Microsoft Office」の左側に表示されているアイコン をクリックする

プルダウンメニューが表示されます。

10 「マイ コンピュータからすべて実行」をクリックする

11 **「Microsoft Office Excel」の左の[+]をクリックして、「読み上げ」の左側に表示されているアイコン をクリックする**

プルダウンメニューが表示されます。

12 **「インストールしない」をクリックする**

実行すると、 (読み上げ)が に変わります。

13 **「Office 共有機能」-「入力システムの拡張」-「音声」の左側に表示されているアイコン をクリックする**

プルダウンメニューが表示されます。

14 **「インストールしない」をクリックする**

実行すると、 (音声)が に変わります。

15 **「次へ」をクリックする**

「ファイルの概要」と表示されます。

16 **「完了」をクリックする**

インストールがはじまります。

17 **再起動 をうながすメッセージが表示された場合は「はい」をクリックする**

Windowsが再起動します。

「Microsoft Office 2003 セットアップが正常に完了しました。」と表示された場合は「完了」をクリックします。

「Web サイトで更新および追加ダウンロードをチェックする」の を にしないでください。再セットアップ完了後「Office Personal 2003」の各ソフト(Word 2003やExcel 2003など)を起動し、「ヘルプ」メニューの「更新のチェック」を実行してください。

18 **CD/DVDドライブから「Microsoft® Office Personal Edition 2003」CD-ROMを取り出す**

次に、「Home Style+」をインストールします。

19 **「Microsoft® Office Home Style+」CD-ROMをCD/DVDドライブにセットする**

「Microsoft Office Home Style+ セットアップへようこそ」と表示されます(表示されない場合は、「スタート」-「マイ コンピュータ」をクリックし、CD-ROMのアイコンをダブルクリックしてください)。

20 **「次へ」をクリックする**

「使用許諾契約書」と表示されます。

21 内容を確認して、「「使用許諾契約書」の条項に同意します」のをクリックしてにし、「次へ」をクリックする

「セットアップ先のフォルダ」と表示されます。

22 「次へ」をクリックする

「インストール タイプの選択」と表示されます。

23 「標準」がになっていることを確認して「次へ」をクリックする

「インストールの開始」と表示されます。

24 「次へ」をクリックする

インストールがはじまります。

25 「Microsoft Office Home Style+のインストールが正常に終了しました。」と表示されたら、「OK」をクリックする

チェック

「Microsoft .NET Framework 1.1パッケージをインストールしますか？」と表示された場合は「いいえ」をクリックしてください。

26 CD/DVDドライブから「Microsoft® Office Home Style+」CD-ROMを取り出す

これでOffice Personal 2003を使う準備ができました。

再セットアップ後、Office Personal 2003を利用するときの注意

パソコンの再セットアップ後、Office Personal 2003の各ソフト（Word 2003やExcel 2003など）を最初に起動したときに、「Microsoft Office 2003 ライセンス認証ウィザード」が表示された場合は、「Office Personal 2003」に添付の『Microsoft® Office Personal Edition 2003スタートガイド』をご覧になり、ライセンス認証を行ってください。

4.各種の設定をする

機器を取り付けて設定する

再セットアップ前に取り外した周辺機器を元どおりに取り付け、機器の設定をしてください。

参照

周辺機器を設定する→「PART2 このパソコンの機能」

パソコンの設定を元に戻す

購入後に設定した内容は、すべて購入時の状態に戻っています。インターネットやメール、BIOSなどのパソコンの設定を、お使いの環境に合わせて設定しなおしてください。
なお、再セットアップを行う前に「バックアップ-NX」を使ってデータのバックアップを行った場合は、データを復元してください。

バックアップ-NX→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

- 再セットアップ前にユーザパスワードやスーパバイザパスワードが設定されていた場合は、その設定が引き続き有効になっています。新たに設定しなおす必要はありません。
- プロバイダに加入している場合は、すでに取得しているIDやパスワードをそのまま使うことができます。新たにサインアップをやりなおす必要はありません。

ソフトをインストールしなおす

パソコンの購入後にCドライブにインストールしたソフトは、削除されています。ソフトのマニュアルや「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「アプリケーションの追加と削除」をご覧になり、再度インストールを行ってください。

再セットアップ後にCドライブ以外のハードディスクに残っているソフトが正常に動作しなくなった場合は、再度ソフトをインストールしなおしてください。

再セットアップを何度やりなおしても、再セットアップできない場合は…

「トラブルチェックシート」(p.190)にトラブルの内容などの必要事項を記入し、『121ware ガイドブック』に記載のNEC121コンタクトセンターにお問い合せください。

Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ

- 初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法での再セットアップを行わないでください。
- この方法で再セットアップを行うと、Dドライブにある「ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイル」が削除されます。セットアップを行う前に、必ずソフトチョイス用アプリケーションCD-ROMまたはDVD-ROMを作成してください。作成方法は、この後の「その他の再セットアップ」の「1.再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成する」(p.150)をご覧ください。

操作の流れ

再セットアップは次の手順で行います。

1.システムを再セットアップする
2.Windowsの設定をする
3.Office Personal 2003を再セットアップする(Office 2003モデルのみ)
4.各種の設定をする

再セットアップをはじめたら、必ず手順通り最後まで行ってください。再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。
再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

1.システムを再セットアップする

1 パソコンの電源を入れる

2 「NEC」のロゴが表示されたら、「再セットアップとは」と表示されるまで【F11】を数回押す

【F11】を押すタイミングによって、「再セットアップとは」の画面は表示されません。画面が表示されなかった場合は、いったん電源を入れなおし、【F11】を押すタイミングを変えてください。

3 「再セットアップとは」と表示されたら、【Enter】を押す

4 「準備するもの」と表示されたら、【↑】【↓】を押して「次へ」を選択し、【Enter】を押す

5 「再セットアップを始める前に」と表示されたら、【↑】【↓】を押して「次へ」を選択し、【Enter】を押す

6 「再セットアップの種類を選択する」と表示されたら、【↑】【↓】を押して「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」の画面でご確認ください。

7 「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」と表示されたら、【↑】【↓】を押して「再セットアップ開始」を選択し、【Enter】を押す

Cドライブのサイズを入力する画面が表示されます。

8 Cドライブのサイズ(最小10Gバイトから最大[お使いのハードディスクの容量ーNEC Recovery Systemの容量]Gバイトまで1Gバイト単位で入力可)を入力し、【Enter】を押す

確認するメッセージが表示されます。

9 【F8】を押す

再セットアップがはじまります。
終了すると、パソコンを再起動するようメッセージが表示されます。

再セットアップがはじまったら、画面から指示がない限り、パソコン本体の電源スイッチを押さないでください。再セットアップ中に数回ビープ音(ピーという音)が鳴ることがありますが、これは再セットアップの処理が正しく進んでいることを示すもので、故障ではありません。

10 【Enter】を押す

何度かパソコンが再起動します。
しばらくすると、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されます。

- パソコンの処理が行われる間は、画面に⌛が表示されたり、ハードディスクアクセスランプ( )が点灯します。
  この間は、キーを押したりクリックしないようにしてください。
- 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されなかった場合は、システムの再セットアップが正常に行われていません。はじめからやりなおしてください。

2.Windowsの設定をする

p.137の手順にしたがって、Windowsの設定をしてください。

3.Office Personal 2003を再セットアップする(Office 2003モデルのみ)

Office 2003モデルをお使いの場合は、p.140の手順にしたがってOffice Personal 2003を再セットアップしてください。

4.各種の設定をする

p.143の手順にしたがって各種の設定をしてください。

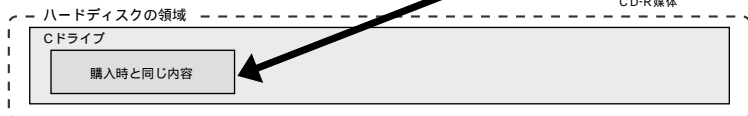
再セットアップを何度やりなおしても、再セットアップできない場合は…

「トラブルチェックシート」(p.190)にトラブルの内容などの必要事項を記入し、『121ware ガイドブック』に記載のNEC121コンタクトセンターにお問い合せください。

その他の再セットアップ

『NEC Recovery System』を使って再セットアップする「標準再セットアップ」、「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」のほかに、次の再セットアップ用CD/DVD-ROMからの再セットアップがあります。

再セットアップ用CD/DVD-ROMからの再セットアップとは

購入時、内蔵ハードディスクにある『NEC Recovery System』の内容をDVD-R媒体またはCD-R媒体に書き出し、作成したCD/DVD（これを「再セットアップ用CD/DVD-ROM」と呼びます）を使って再セットアップします。

この再セットアップは、『NEC Recovery System』を使って再セットアップするのと同じように、パソコンのシステムを購入時と同じ状態に戻すことや、Cドライブの容量を変更することができます。ただし、一度「再セットアップ用CD/DVD-ROM」から再セットアップを行うと、『NEC Recovery System』を使って再セットアップすることができなくなります。再セットアップする場合は、『NEC Recovery System』を使って再セットアップする「標準再セットアップ」、「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をおすすめします。

メモ

- 再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成するのに必要なCD-RディスクまたはDVD-Rディスクの数はお使いのモデルによって異なります。「1.再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成する」の手順3(p.153)で表示される画面で確認できます。
- 作成には、CD1枚につき最大約30分、DVD1枚につき最大約100分かかります(お使いのモデルや書き込み速度等によって異なります)。
- 「再セットアップ用CD/DVD-ROM」の販売も行っています。お買い求めの際は「PC98-NXシリーズ　メディアオーダーセンター」のホームページをご覧ください。
  ホームページ:http://nx-media.ssnet.co.jp

再セットアップの種類

再セットアップには次の3種類があります。

●Cドライブのみ再セットアップ

Cドライブ以外の領域にあるデータを削除せずに、Cドライブのみ再セットアップします。Cドライブのデータは削除されるので大切なデータはバックアップを取っておいてください。

(実用例)

Dドライブ(またはCドライブ以外の領域)に必要なデータを移動し、Cドライブだけ購入時の状態に戻したい

●ハードディスクの全領域を1つにして再セットアップ

お使いの内蔵ハードディスクをすべてCドライブにして、再セットアップします。この方法で再セットアップをすると、ご購入時にハードディスクに保存されていた「再セットアップ用データ」も削除されるため、以降はハードディスクからの通常の再セットアップは行えなくなります。また、「ソフトチョイス対応アプリケーションのセットアップファイル」も削除されます。「再セットアップ用CD/DVD-ROM」および「ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROM」を紛失したり、破損したりすることのないように注意して保管してください。

チェック

この再セットアップをすると、『NEC Recovery System』を使って再セットアップすることができなくなります。

(実用例)

内蔵ハードディスクの領域をCドライブだけで、パソコンを使用したい

●Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ

Cドライブのサイズを最小10Gバイトから最大お使いの内蔵ハードディスクの容量まで、1Gバイト単位で設定して再セットアップします。また、残った領域は、Dドライブとして作成されます。この方法で再セットアップをすると、ご購入時にハードディスクに保存されていた「再セットアップ用データ」も削除されるため、以降はハードディスクからの通常の再セットアップは行えなくなります。また、「ソフトチョイス対応アプリケーションのセットアップファイル」も削除されます。作成した「再セットアップ用CD/DVD-ROM」および「ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROM」を紛失したり、破損したりすることのないように注意して保管してください。

この再セットアップをすると、『NEC Recovery System』を使って再セットアップすることができなくなります。

（実用例）
Cドライブのサイズを20Gバイトに設定して、パソコンを使用したい

操作の流れ

再セットアップは次の手順で行います。
システムの再セットアップ以降は、始めたら必ず手順通り最後まで行ってください。

1.再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成する
2.再セットアップの準備をする
3.再セットアップ用CD/DVD-ROMを使って再セットアップする
4.Windowsの設定をする
5.Office Personal 2003を再セットアップする（Office 2003モデルのみ）
6.各種の設定をする

1.再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成する

『NEC Recovery System』の内容をDVD-R媒体またはCD-R媒体に書き出し、「再セットアップ用CD/DVD-ROM」を作成します。「再セットアップ用CD/DVD-ROM」は、CD-RディスクまたはDVD-Rディスクのどちらでも作成できます。

CD/DVD作成時の注意

◎CD/DVDの作成は、管理者権限をもつユーザーのみ行えます。

◎CD/DVDの作成は、「RecordNow DX」というソフトがインストールされている必要があります。
「RecordNow DX」は、購入時にパソコンにインストールされていますが、削除している場合は、再度インストールしてください。

 参照

RecordNow DXを追加する→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「アプリケーションの追加と削除」

◎DVD-R媒体への書き込みは、DVD-RAM/R/RWモデルのみ行うことができます。

◎DVD-R媒体は4.7Gバイト、CD-R媒体は700Mバイトまたは650Mバイトのものを用意してください。DVD-R媒体またはCD-R媒体以外ではCD/DVDの作成はできません。

◎Cドライブの空き容量が、DVD-R媒体で作成する場合は4.5Gバイト、CD-R媒体で作成する場合は800Mバイト以下のとき、CDの作成はできません。

◎バッテリ駆動時には、CD/DVDの作成はできません。

◎書き込みエラーを防ぐため、CD/DVDの作成前に以下の操作を行ってください。
- スクリーンセーバーが起動しないように設定する
- 自動的にスタンバイ状態／休止状態にならないように設定する
- 起動中のソフトをすべて終了する
- 常駐プログラムをすべて終了する
- ACアダプタを接続する

 参照

スタンバイ状態／休止状態について→PART2の「電源」の「省電力機能」（p.45）

◎CD/DVDの作成中に長時間放置しないでください。長時間放置すると書き込みエラーの原因になります。

◎パソコンに振動や衝撃を与えないでください。振動や衝撃は書き込みエラーの原因になります。

◎以下の操作を行うと、CD/DVDの作成に必要なデータも削除されるため、以降はCD/DVDの作成はできません。
- 作成したCD/DVDを使用して、ハードディスクの全領域を1つにして再セットアップする、または、Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップする
- 『NEC Recovery System』を手動で削除する

CD/DVDの作成(書き出し)をする

この操作には、CD/DVDドライブが必要です。PART2の「CD/DVDドライブ」(p.82)をご覧になり、CD/DVD ドライブを使えるようにしてください。

手順2の画面で「再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成する」を選択した場合と「ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成する」を選択した場合では、手順4以降が共通になります。先に「ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成する」を選択することもできます。

1 用意したCD-R媒体またはDVD-R媒体をCD/DVDドライブにセットする

「Windowsが実行する動作を選んでください。」と表示された場合は、「何もしない」をクリックし、「常に選択した動作を行う。」の☐ をクリックして☑ にし、「OK」をクリックします。

2 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アプリケーション」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリックする

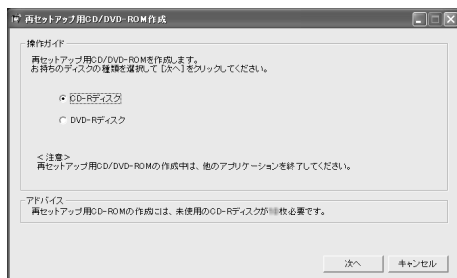
次の場合は、「再セットアップディスク作成ツール」画面に「ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成する」および「ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除する」は表示されません。

- ソフトチョイス用アプリケーションなしモデルの場合
- ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除した場合

また、「ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除する」は、次の場合も表示されません。

- ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成していない場合

3 「再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成する」が◉になっていることを確認して、「次へ」をクリックする

次の画面が表示されます。

チェック

CD/DVDの作成に必要なCD-R媒体またはDVD-R媒体の数は、この画面で確認できます。

4 使用するディスクの種類を選択して、「次へ」をクリックする

チェック

DVD-Rディスクは、DVD-RAM/R/RWモデルの場合のみ選択できます。

5 作成開始ディスク、書き込み速度をプルダウンメニューから選択して、「次へ」をクリックする

チェック

- 用意したDVD-R媒体またはCD-R媒体に対応した速度を選択してください。
- 書き込みに失敗した場合は、速度を落としてから作成してください。このとき、2枚目以降の書き込みに失敗したときなど、途中から作成する場合は「作成開始ディスク」から作成を開始するディスクを選んでください。

6 ディスクをセットして、「作成開始」をクリックする

CD/DVDの作成がはじまります。

作成が終了するとディスクトレイが自動的に開き、次の画面が表示されます。

7 「OK」をクリックする

ディスクを取り出し、次のディスクをセットします。最後のディスク作成まで同様の作業を繰り返してください。

これで再セットアップ用CD/DVD-ROMの作成(書き出し)は終了です。

チェック

- 作成したCD/DVDは、CD/DVDに何枚目かわかるように記入しておいてください。
- 作成したCD/DVDは、紛失したり破損したりすることのないように注意して保管してください。

- **ハードディスクの全領域をすべてCドライブにして再セットアップを行う場合やCドライブの領域を自由に作成して再セットアップする場合は、Dドライブにある「ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイル」も削除されます。削除後は、1度も実行していないソフトは利用できなくなります。必ず「ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成する」でソフトチョイス用アプリケーションCD-ROMまたはDVD-ROMを作成してください。**
- **「再セットアップ用CD/DVD-ROM」を作成した後、必ず「ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成する」を行ってください。**
  ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMは、「再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成する」の手順2までを行い、手順3で「ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成する」を◉にして「次へ」をクリックすることで作成できます。
  ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMは、ソフトチョイスサービスに対応したソフトをソフトナビゲーターからインストールするときに使用します。
- **Dドライブにある「ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイル」を削除すると、ソフトナビゲーターからソフトを起動する際にメッセージがでる場合があります。メッセージにしたがって、「ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成する」で作成したソフトチョイス用アプリケーションCD-ROMまたはDVD-ROMを使用してください。**

ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除する

ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成した後で、ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除すると、Dドライブの 空き容量を増やすことができます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アプリケーション」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリックする

「再セットアップディスク作成ツール」の画面が表示されます。

次の場合は、「再セットアップディスク作成ツール」画面に「ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除する」は表示されません。

- ソフトチョイス用アプリケーションなしモデルの場合
- ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除した場合
- ソフトチョイス用アプリケーションCD/DVD-ROMを作成していない場合

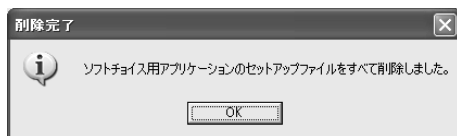
2 「ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除する」の◯をクリックして◉にし、「次へ」をクリックする

「ソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルを削除」の画面が表示されます。

3 「削除を実行」をクリックする

「確認」画面が表示されます。

4 「本当に削除しますか?」と表示されるので、「はい」をクリックする

ソフトチョイス用アプリケーションの削除がはじまります。しばらくすると、次の画面が表示されます。

5 「OK」をクリックする

これでソフトチョイス用アプリケーションのセットアップファイルの削除は終了です。

2.再セットアップの準備をする

再セットアップの準備は、p.130の「再セットアップの準備をする」をご覧になり準備してください。

この再セットアップでは、「再セットアップ用CD/DVD-ROM」が必要となります。

CD/DVDドライブの取り付け方→PART2の「CD/DVDドライブ」(p.82)

3.再セットアップ用CD/DVD-ROMを使って再セットアップする

1 パソコンの電源を入れる

2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐに「再セットアップ用CD/DVD-ROM(1枚目)」をCD/DVDドライブにセットする

しばらくすると、「再セットアップとは」の画面が表示されます。

- CD/DVDドライブを選択する画面が表示された場合は、お使いのCD/DVDドライブを選択してください。
- 「再セットアップ用CD/DVD-ROM(1枚目)」のセットが遅いと、この画面が表示されません。この場合は、電源を切って手順1からやりなおしてください。

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。実際の画面で確認してください。

3 **「再セットアップとは」と表示されたら、【Enter】を押す**

4 **「準備するもの」と表示されたら、【↑】【↓】を押して「次へ」を選択し、【Enter】を押す**

5 **「再セットアップを始める前に」と表示されたら、【↑】【↓】を押して「次へ」を選択し、【Enter】を押す**

再セットアップの種類を選択する画面が表示されます。

6 **【↑】【↓】を押して再セットアップの方法を選択し、【Enter】を押す**

このあと、選択した再セットアップの方法で手順が異なります。

「Cドライブのみ再セットアップ」または「ハードディスクの全領域を1つにして再セットアップ」を選択した場合はそのまま次の手順へ

「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」を選択した場合はp.159へ

「Cドライブのみ再セットアップ」または「ハードディスクの全領域を1つにして再セットアップ」を選択した場合

再セットアップの確認メッセージが表示されます。

7 【↑】【↓】を押して「はい」を選択し、【Enter】を押す

再セットアップがはじまります。

最後の「再セットアップ用CD/DVD-ROM」のコピーが終了すると、パソコンが再起動します。

Windowsの設定が完了するまでCD/DVDは取り出さないでください。

- 途中で「再セットアップ用CD/DVD-ROM」を入れ替えるメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがって入れ替えてください。
- CD/DVDをセットし、【Enter】を押した直後に「Error」と表示された場合は、間違ったCD/DVDをセットしている可能性があります。【Enter】を押して正しいCD/DVDを入れなおし、画面にしたがってください。
- 再セットアップ中、画面の指示以外でCD/DVDを取り出さないでください。取り出すと再セットアップは正常に行われません。

しばらくすると、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されます。

- パソコンの処理が行われる間は、画面にが表示されたり、ハードディスクアクセスランプ( )が点灯します。
  この間は、キーを押したりクリックしないようにしてください。
- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されなかった場合は、システムの再セットアップが正常に行われていません。はじめからやりなおしてください。

このあと、「4.Windowsの設定をする」(p.160)へ進んでください。

「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」を選択した場合

「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」画面が表示されます。

7 **【↑】【↓】を押して「再セットアップ開始」を選択し、【Enter】を押す**

Cドライブのサイズを入力する画面が表示されます。

8 **Cドライブのサイズ（最小10Gバイトから最大お使いのハードディスクの容量まで1Gバイト単位入力可）を入力し【Enter】を押す**

再セットアップの確認メッセージが表示されます。

9 **【F8】を押す**

再セットアップが始まります。

最後の「再セットアップ用CD/DVD-ROM」のコピーが終了すると、パソコンが再起動します。

Windowsの設定が完了するまで、CD/DVDは取り出さないでください。

チェック

- 途中で「再セットアップ用CD/DVD-ROM」を入れ替えるメッセージが表示された場合は画面の指示にしたがって入れ替えてください。
- CD/DVDをセットし、【Enter】を押した直後に「Error」と表示された場合は、間違ったCD/DVDをセットしている可能性があります。【Enter】を押して正しいCD/DVDを入れなおし、画面にしたがってください。
- 再セットアップ中、画面の指示以外でCD/DVDを取り出さないでください。取り出すと再セットアップは正常に行われません。

しばらくすると、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されます。

- パソコンの処理が行われる間は、画面に⌛が表示されたり、ハードディスクアクセスランプ（🛢）が点灯します。
この間は、キーを押したりクリックしないようにしてください。
- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されなかった場合は、システムの再セットアップが正常に行われていません。はじめからやりなおしてください。

4.Windowsの設定をする

「2.Windowsの設定をする」(p.137)の操作をしてください。「Windowsの設定」が完了した後に、「再セットアップ用CD/DVD-ROM」をCD/DVDドライブから取り出してください。

「Windowsの設定をする」の作業が終了するまで、「再セットアップ用CD/DVD-ROM」を取り出さないでください。「再セットアップ用CD/DVD-ROM」を取り出すと正常に再セットアップが完了しません。

5.Office Personal 2003を再セットアップする(Office 2003モデルのみ)

Office 2003モデルをお使いの場合は、p.140の手順にしたがってOffice Personal 2003を再セットアップしてください。

6.各種の設定をする

p.143の手順にしたがって設定をしてください。

再セットアップを何度やりなおしても、再セットアップが完了しない場合は…

「トラブルチェックシート」(p.190)にトラブルの内容などの必要事項を記入し、『121ware ガイドブック』に記載のNEC121コンタクトセンターにお問い合わせください。

PART

4

トラブル解決Q＆A

トラブルが起こったときは

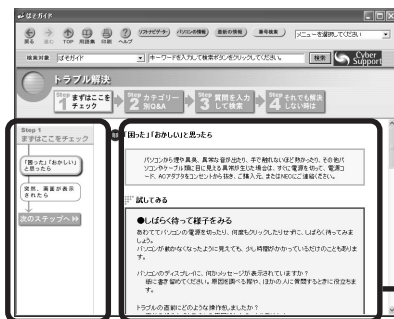
トラブル事例の探し方

トラブルの解決事例は、このマニュアルや「ぱそガイド」など、いろいろな場所に記載されています。自分が直面しているのと同じ事例や似た症状を探してみましょう。

「ぱそガイド」を見る

「ぱそガイド」では、パソコン使用中に発生するさまざまなトラブル事例を紹介しています。パソコンが使えるときは、まず「ぱそガイド」を見てみましょう。

■ 起動方法

・ デスクトップの「ぱそガイド」をダブルクリックする

「ぱそガイド」の内容を印刷する

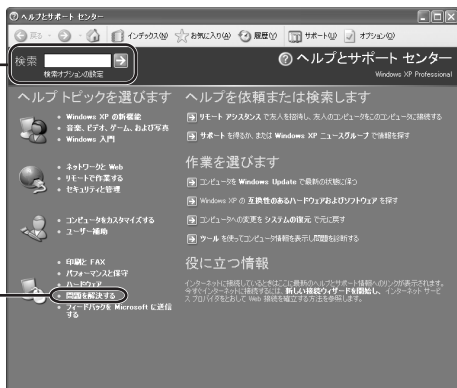
「ぱそガイド」で表示した内容を紙に印刷しておくと、後で読み返すときなどに便利です。印刷をクリックして印刷できます。

ぱそガイドの項目の中には、クリックすると、「ダイヤルアップ接続」が表示されるものがあります。これは、インターネットへ接続しようとしていることを表します。インターネットへ接続すると、インターネット接続サービス料金やアクセスポイントまでの電話料金（どちらもお客様負担）がかかります。説明を見終わったら、必ず回線を切断してください。一度インターネットに接続されると、自分で回線を切断しない限り、ぱそガイドを終了するまで、回線が接続されたままになり、料金がかかり続けます。注意してください。

Windowsのヘルプを見る

Windowsのヘルプでも、トラブル解決事例を見ることができます。
Windowsのヘルプで解決策を探してみましょう。
「スタート」-「ヘルプとサポート」をクリックすると、「ヘルプとサポート センター」が表示されます。

キーワードで探す
調べたいキーワードを空欄に入力し、「検索」欄の横の➡をクリックする。
画面左に表示される「検索結果」中から知りたい項目をクリックする。

「問題を解決する」で探す
「問題を解決する」をクリックして、画面左に表示される「問題を解決する」の中から知りたい項目をクリックする。このあとは画面表示を見ながら操作してください。

キーワードで探す場合は、「検索」欄の下の「検索オプションの設定」をクリックすることで別の情報源から情報を検索することができます。

PART 4 トラブル解決Q&A

インターネットで解決方法を探す

パソコンがインターネットに接続できる状態なら、トラブル事例と豊富な解決方法が提供されているので便利です。

■ NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(ワントゥワンウェア)

NECの「ワントゥワンウェア(121ware.com)」は、ひとりひとりのパソコンライフに合わせたサービスを24時間提供するインターネットサイトです。

http://121ware.com/

「サポート」コーナーでは、お客様の問題解決のサポートを中心にドライバの最新バージョン、修正・サポートプログラムの配布(「ダウンロード」)なども利用できます。

メモ

http://121ware.com/my/で保有商品情報を登録すると、商品に関するQ＆A情報や、最新情報をすばやく見つけることができます。

■ マイクロソフトサポート技術情報

このホームページでは、WindowsやWindowsの関連製品のQ＆Aまたは、最新情報を参照することができます。
「マイクロソフトサポート技術情報」に接続するには、インターネットエクスプローラを起動し、インターネットに接続します。さらにヘルプをクリックし、表示されたメニューから「オンライン サポート」をクリックするとマイクロソフトサポート技術情報のホームページが表示されます。

http://support.microsoft.com/default.aspx?LN=JA

こんなことも試してみよう

この本や「ぱそガイド」など、いろいろ調べたけれどトラブルが解決しないときは、次のことを試してみましょう。パソコンを正常な状態に戻せる場合があります。

チェックディスクを使う

チェックディスクを使うと、Windowsやソフトの動作不良、または強制終了によるデータの書き損じなどのトラブルを検査、修復ができます。また、Windowsが異常終了した直後の再起動時には、自動的にチェックディスクが実行されることがあります。トラブルを予防するためには、毎日または週に1回など、定期的にチェックディスクの実行をおすすめします。

参照

チェックディスク→「ぱそガイド」-「パソコンの練習と基本」-「使いこなしのヒント」-「メンテナンスとセキュリティ」-「ハードディスクのメンテナンス」

セーフモードでWindowsを起動する

セーフモードは、トラブルが発生したときに最小限のシステム環境でパソコンを起動できるWindowsの起動モードの1つです。
一度セーフモードでWindowsを起動し、チェックディスクなどのシステムツールでトラブルを解決して再起動すると、正常な状態のWindowsに戻ることがあります。

メモ

- セーフモードでは、最小限の機能しか使えません。CD/DVDドライブ、プリンタなどは使えません。
- セーフモードでは、解像度や配色が通常のWindowsとは異なります。

■ セーフモードで起動し、チェックディスクを実行する

パソコンの電源を入れ、「NEC」のロゴ画面が表示されたら【F8】を数回押します。表示された「Windows拡張オプション メニュー」で「セーフ モード」を選んで【Enter】を押し、次に使用しているOSが選択されていることを確認して【Enter】を押します。

参照

セーフモード→「スタート」-「ヘルプとサポート」の「問題を解決する」-「起動と終了の問題」

セーフモードで起動したらチェックディスクを実行します。チェックディスク終了後、Windowsを再起動してください。問題がなければ、正常な状態に戻ります。

バックアップしたシステムやデータを復元する

Windowsの動作が不安定になったときは、システムファイルやソフトのデータにトラブルが起きていることが考えられます。このような場合には、システムやデータを復元することで正常な状態に戻る場合があります。

チェック

システムを復元する前に、大切なデータは必ずバックアップを取ってください。システムを復元することでデータが失われることがあります。

■ システムを復元する

システムの復元は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」で行います。復元ポイントを選択できるので、パソコンが正常に動作していたときを選択して復元できます。復元ポイントは自動的に作成されますが、自分で復元ポイントを作成しておくこともできます。

チェック

- システムの復元を行うときは、あらかじめ起動中のソフトを終了させてください。
- お客様が作成したファイル(データファイル)は、「システムの復元」では復元することはできません。

参照

システムの復元について→「スタート」-「ヘルプとサポート」-「問題を解決する」

■ バックアップしたデータを復元する

あらかじめとっておいたバックアップデータを復元します。
「バックアップ-NX」でバックアップしたソフトのデータやインターネット設定は、バックアップ-NXを使って復元ができます。
自分でバックアップしたデータは、バックアップ元のフォルダにファイルを移動またはコピーしてください。

参照

「バックアップ-NX」→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

パソコンを再セットアップする

どうしてもパソコンが正常に動作しない、いろいろ試したが不安定な状態がなおらない、といった場合は、パソコンを再セットアップすることも検討してみてください。

参照

再セットアップ→PART3の「再セットアップする前に」(p.128)

パソコンが動かない

パソコンの状態がおかしい（煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれないほど熱い。またはパソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた場合）

すぐに電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取り外してから、NEC121コンタクトセンターにお問い合わせください。
電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。電源を強制的に切ることができます。

チェック

- 安全に使うための注意事項を『安全にお使いいただくために』に記載しています。必ず読んで注意事項を守ってください。
- ここで紹介する操作をすると、保存されていなかったデータは消えてしまいます。

Windowsが起動しない

原因	対策
Windowsが起動しない原因はさまざまなことが考えられます	このPARTの「電源を入れたが」（p.169）をご覧になり、対策を行ってください。
BIOSの設定を変更している	BIOSの設定が正しいか確認してください。また、PART2の「BIOSセットアップユーティリティ」（p.122）をご覧になり、BIOSの設定を初期値（購入時の値）に戻してから、もう一度電源を入れなおしてください。 チェック PCカードやコンパクトフラッシュカードを使用しているときは、BIOSセットアップユーティリティを使う前に、PCカードやコンパクトフラッシュカードを必ず取り外してください。

PART 4
トラブル解決Q&A

使用中にパソコンが動かなくなった

原因	対策
フリーズしている（ソフトやOS、周辺機器に異常が発生している）	ソフトや周辺機器に異常が発生すると、どんな操作をしてもパソコンやソフトが反応しなくなることがあります（この状態をフリーズ、またはハングアップ、ストールといいます）。このような場合は、次の操作を行ってください。 次の操作を行うと、保存されていなかったデータは消えてしまいます。 **◆ 異常が起きているソフトを終了させる** **1 【Ctrl】＋【Alt】＋【Del】を押す** 「Windows タスク マネージャ」が表示されます。 **2 「状態」欄に「応答なし」と表示されているタスク（ソフト）をクリックして選択し、「タスクの終了」をクリックする** 異常を起こしているソフトが強制的に終了されます。 この方法でソフトが終了できなかったり、終了できてもWindowsが終了できなくなってしまっているときは、このPARTの「電源を切ろうとしたが」（p.173）をご覧になり、強制的にWindowsを終了させてください。

電源を入れたが

はじめて電源を入れたとき、セットアップの画面が表示されない

はじめてパソコンの電源を入れたときに、次のようなメッセージが表示されることがあります。

・「Press F1 to Run SETUP」

メッセージが表示された場合は、次の手順で操作してください。

チェック

ニューメリックロックキーランプ(1)が点灯している場合は、【Fn】+【F12】を押してランプを消してください。

1 【F2】を押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

2 【↓】を押す

3 【Fn】を押しながら【+】、【P】を押して月を設定し、【Enter】を押す

4 同様に日、年(西暦)を順に設定する

5 【↓】を押す

6 同様に時(24時間形式)、分、秒を順に設定する

7 【F9】を押す

8 「はい」を選び、【Enter】を押す

9 【F10】を押す

10 「はい」を選び、【Enter】を押す

BIOSセットアップユーティリティが終了し、Windowsが自動的に再起動します。

このあとは、PART1の「セットアップ」の「Windowsのセットアップ」(p.7)をご覧になり、セットアップを続けてください。

電源ランプが点灯しているのに画面が表示されない

原因	対策
外部ディスプレイが接続してあり、出力先を切り替えている	外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を「CRT(またはモニタ)」に設定しているときは、このパソコンの液晶ディスプレイには画面が表示されません。 画面を表示するには、【Fn】+【F3】を押して出力先を切り替えてください。 接続している外部ディスプレイに画面が表示されている場合は、出力先を画面のプロパティで変更できます。 参照 画面のプロパティの設定手順→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「ディスプレイの設定」 メモ ・出力先を画面のプロパティで変更すると、変更後の画面に設定の確認メッセージが表示されます。そのまま何も操作しないと画面の出力先は変更前の状態に戻ります。 ・いったんパソコンの電源を切り、接続している外部ディスプレイを外してから起動すると、画面の出力先は自動的にこのパソコンの液晶ディスプレイに変更されます。
液晶ディスプレイでは表示できない解像度に設定している	強制的にパソコンの電源を切ったあと、セーフモードでWindowsを起動し、解像度を設定しなおしてください。 参照 ・強制的に電源を切る方法→このPARTの[電源を切ろうとしたが」の「強制的にパソコンの電源を切る」(p.173) ・セーフモードで起動する方法→このPARTの「トラブルが起こったときは」の「セーフモードでWindowsを起動する」(p.165) ・解像度を設定する方法→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「画面の設定」-「ディスプレイの設定」

電源ランプが点灯せず、パソコンが起動しない

原因	対策
バッテリパックやACアダプタの接続が正しくできていない	PART1の「型番の確認／電源の接続」(p.2)をご覧になり、バッテリパックやACアダプタの接続状態を確認してください。
バッテリ残量がなくなっている	バッテリのみで使用中にバッテリ残量がなくなると、パソコンの電源は入らなくなります。ACアダプタを接続して使用してください。バッテリはACアダプタを接続すると充電されます。 ACアダプタを接続してから電源を入れても電源ランプ(⏻)が点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。『121wareガイドブック』をご覧になり、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

画面にメッセージが表示されて、Windowsが起動しない

原因	対策
フロッピーディスクがセットされている	いったん電源を切り、フロッピーディスクを取り出してからWindowsを起動してください。システムの入っていないディスクがセットされていると、このように表示されることがあります。

「Checking file system on C:」と表示されている

原因	対策
前回終了時に正しい方法でWindowsを終了しなかった	画面の表示を見ながら操作を続けてください。この表示に続いて自動的にハードディスクがチェックされます。ハードディスクに異常がなければWindowsが起動します。ハードディスクに何らかの問題が発見されて、Windowsが正常に起動しなかったときは、画面の表示を見ながら操作してください。

「Windows 拡張オプションメニュー」が表示されている

原因	対策
前回終了時に正しい方法でWindowsを終了しなかった	「セーフモードでWindowsを起動する」(p.165)をご覧になり、セーフモードでWindowsを起動後、正しい手順でWindowsを終了してからもう一度起動しなおしてください。

「Invalid system disk Replace the disk,...」または「Operating System not found」と表示されている

原因	対策
フロッピーディスクがセットされている	いったん電源を切り、フロッピーディスクを取り出してからWindowsを起動してください。システムの入っていないディスクがセットされていると、このように表示されることがあります。
ハードディスクがフォーマットされてしまったか、システムが壊れている可能性がある	この場合は再セットアップを行ってください。 参照 再セットアップするには→「PART3 再セットアップ」

画面にカーソルが表示された

原因	対策
フロッピーディスクがセットされている	いったん電源を切り、フロッピーディスクを取り出してからWindowsを起動してください。システムの入っていないディスクがセットされていると、このように表示されることがあります。

ピーッというエラー音がしている

原因	対策
フロッピーディスクがセットされている	いったん電源を切り、フロッピーディスクを取り出してからWindowsを起動してください。セットされているディスクの種類によっては、ピーッというエラー音がすることがあります。
ハードディスクの障害の可能性がある	メッセージや症状を書きとめ、『121wareガイドブック』をご覧になり、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

電源を切ろうとしたが

ここに記載の各手順を行ってもパソコンが動かない場合は、「電源を入れたが」(p.169)もご覧になり対策を行ってみてください。

パソコンの電源が切れない

原因	対策
フリーズしている(あるソフトだけに異常が発生している)	フリーズしているソフトを終了させてからWindowsを終了し、電源を切ってください。 参照 フリーズしているソフトの終了方法→このPARTの「パソコンが動かない」の「使用中にパソコンが動かなくなった」(p.168)
フリーズしている(ソフトだけでなく、Windowsも動かなくなっている)	フリーズしているソフトだけを終了できないときは、次の手順で強制的にWindowsを終了してください。 **1 【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押す** 「Windows タスクマネージャ」が表示されます。 **2 「シャットダウン」メニューの「コンピュータの電源を切る」をクリックする** しばらくすると自動的にWindowsが終了し、パソコンの電源が切れます。 キーボードの操作もできず、上記の方法では電源が切れない場合は、次の手順で強制的にパソコンの電源を切ってください。 **◆ 強制的にパソコンの電源を切る** **1 電源スイッチ(⏻)を約4秒以上押し続ける** 電源ランプ(⏻)が消え、パソコンの電源が切れます。 メモ 電源スイッチの操作で省電力状態になる設定にしている場合、電源スイッチを押しても電源が切れずに省電力状態になります(p.45)。このようなときは、一度電源スイッチから手を離し、もう一度電源スイッチを約4秒以上押し続けて電源を切ってください。それでも電源が切れない場合は、『121wareガイドブック』をご覧になり、121コンタクトセンターにお問い合わせください。

省電力機能

省電力機能に関連したQ&A情報は、「ぱそガイド」-「トラブル解決」-「Step 2 カテゴリー別Q&A」-「省電力機能」でも紹介しています。

復帰の操作をしても、画面が表示されない

原因	対策
液晶ディスプレイの電源が切れている	NXパッドなどのポインティングデバイスやキーボードを操作すれば、正常に画面が復帰します。
コマンドプロンプトがアクティブになっている	【Alt】+【Tab】を押してタスクを切り替えると、正常に表示されます。

上記の各手順を行っても正しく表示されない場合は、次の「復帰できない」の対策を行ってみてください。

復帰できない

原因	対策
Windows終了処理中に次の操作を行った ・液晶ディスプレイを閉じた ・省電力状態にした ・電源を切った	このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチ(⏻)で電源を入れたあとに何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。
休止状態中に周辺機器の取り付け／取り外しを行った	パソコンの電源を切り、機器の構成を元に戻してから、もう一度パソコンの電源を入れてください。
ソフトや周辺機器がスタンバイ機能に対応していない	ソフトや周辺機器によっては、スタンバイ機能を使うとパソコンが正常に動作しなくなることがあります。このような場合は、スタンバイ状態にしないでください。
バッテリの残量が少なくなっている	ACアダプタを接続してから、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると復帰します。

復帰しようとしたら、Windowsのログオン画面が表示された

原因	対策
復帰するときにWindowsのログオン画面が表示される設定になっている	省電力機能の設定によっては、この画面が表示されます。ユーザーを選択すると復帰して画面が表示されます。 復帰するときに、Windowsのログオン画面が表示されないようにするには、「電源オプションのプロパティ」で「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」を無効に設定しておきます。設定方法について詳しくは、PART2の「電源」の「省電力機能」の「省電力機能の設定」(p.49)をご覧ください。

パスワード

パスワードに関連したQ&A情報は、「ぱそガイド」-「トラブル解決」-「Step 2 カテゴリー別Q&A」-「セキュリティ/ウイルス」でも紹介しています。

「パスワードを忘れてしまいましたか？」と表示された

原因	対策
パスワードを間違えて入力した	パスワードを確認して、正しく入力しなおしてください。
正しくパスワードが入力できない状態になっている	キャップスロックキーランプ（Ⓐ）やニューメリックロックキーランプ（①）が点灯している場合は、【Caps Lock】や【Num Lk】がロックされています。キーのロック状態がパスワード設定時と異なっていると、パスワードが正しく入力できないことがあります。ロックの状態を確認し、パスワードを設定したときと同じ状態にしてからパスワードを入力しなおしてください。 **参照** 【Caps Lock】や【Num Lk】のロックや解除方法→PART2の「キーボード／ワンタッチスタートボタン」の「キーの名称と役割」（p.77）

パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れた場合

Windowsのパスワードを忘れてしまうと、パスワードの復元はできません。次のいずれかの操作で対処してください。

● パスワードのヒントを見てみる

Windowsのログオン画面の「パスワード入力」欄の右にある?をクリックして設定しておいたパスワードのヒントを確認し、自分の設定したパスワードを思い出してみてください。

● 別のユーザアカウントでログオンしてパスワードを設定しなおす

別のユーザアカウントが「コンピュータの管理者」権限を持つアカウントの場合、忘れてしまったユーザアカウントのパスワードを削除し、新しいパスワードを作成することができます。

●「パスワードリセットディスク」を使って新しいパスワードを作成する

参照

「パスワードリセットディスク」について→Windowsのヘルプ

BIOSで設定したパスワードを忘れた場合

参照

ユーザパスワード、スーパバイザパスワード、ハードディスクのパスワード→PART2の「セキュリティ機能」の「不正使用やデータの盗難を防ぐ（パスワード）」（p.68）

■ ユーザパスワード

ユーザパスワードを忘れてしまった場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動し、スーパバイザパスワードをいったん解除してから、もう一度スーパバイザパスワード、ユーザパスワードを設定してください。

■ スーパバイザパスワード

スーパバイザパスワードを忘れてしまった場合は、『121wareガイドブック』をご覧になり、NEC 121コンタクトセンターの故障診断・修理受付窓口に連絡してください。

・ パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
・ パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り、処置をお受けいたします。
・ パスワード解除処置を依頼される際には、次のものをすべて用意してください。
  1. 本機の購入を証明するもの（保証書など）
  2. 身分証明書（お客様ご自身を証明できるもの）
  3. 印鑑

パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ ハードディスクのパスワード

ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、パスワードの設定変更や解除は一切できません。パスワードを解除するためには、ハードディスクを有償で交換する必要があります。

バッテリ

バッテリに関連したQ&A情報は、「ぱそガイド」-「トラブル解決」-「Step 2 カテゴリー別Q&A」-「電源のオン/オフ」でも紹介しています。

充電できない

原因	対策
バッテリがすでにフル充電状態である	バッテリがフル充電されていたり、フル充電に近い状態だと、ACアダプタを接続しても充電されないことがあります。
バッテリパックが接触不良を起こしている	バッテリパックが接触不良の場合は、バッテリ充電ランプ( )が点滅します。一度バッテリパックを取り外してから正しく取り付けなおしてください。

フル充電したのにバッテリ充電ランプが点灯する

原因	対策
自然放電を補充するため、自動的に充電を開始することがあります	異常ではありません。バッテリは少しずつ自然放電しているので、それを補充するため、ACアダプタが接続されている場合は自動的に充電がはじまることがあります。故障ではありません。

バッテリ充電ランプが点滅している

原因	対策
バッテリが正しく取り付けられていないか、バッテリ寿命の可能性があります	電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取り外してからもう一度正しく取り付けなおしてください。バッテリパックを取り付けなおしてもバッテリ充電ランプが点滅する場合は、バッテリパックの寿命ですので、別売の新しいバッテリパックと交換してください。

すぐにバッテリ切れになってしまう

原因	対策
バッテリの性能が一時的に低下している	次の「バッテリリフレッシュを行う」の手順でバッテリリフレッシュを行ってください。一時的に低下したバッテリの性能を回復させることができます。

バッテリリフレッシュを行う

1 パソコンの電源を切る

2 バッテリリフレッシュを行いたいバッテリパックをパソコンに取り付ける

3 パソコンにACアダプタを接続し、電源コードをACコンセントに差し込む

バッテリ充電ランプ( )が点滅している場合は、一度ACアダプタを取り外し、バッテリパックを取り付けなおしてください。

4 バッテリをフル充電する

バッテリがフル充電されると、バッテリ充電ランプが消灯します。

5 BIOSセットアップユーティリティを起動する

6 電源コードのプラグをACコンセントから抜き、ACアダプタをパソコンから取り外す

7 「標準設定」メニューの「バッテリリフレッシュ」を選んでから【Enter】を押す

「バッテリリフレッシュを実行しますか？」と表示されます。

8 「はい」を選んで【Enter】を押す

バッテリリフレッシュがはじまります。

チェック

バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしておき、ACアダプタは接続しないでください。

バッテリリフレッシュが完了すると、自動的にパソコンの電源が切れます。
電源が切れたら、ACアダプタと電源コードを接続してバッテリをフル充電してください。

■ バッテリリフレッシュを中断するには

電源スイッチを押すと、バッテリリフレッシュを中断しパソコンの電源が切れます。電源スイッチを押す以外にも次の操作で中断することができます。次の操作で中断した場合は、Windowsが再起動します。

【Esc】を押すと中断を確認するメッセージが表示されます。「Cancel Battery Refresh」を選んでから【Enter】を押してください。バッテリリフレッシュを中断してWindowsが再起動します。

- バッテリリフレッシュ中に電源を切ろうとしたり、ACアダプタを接続した場合も中断を確認するメッセージが表示されます。バッテリリフレッシュを続ける場合は、ACアダプタを取り外して「Continue Battery Refresh」を選んでください。
- 電源スイッチを使って中断する場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

ディスプレイ

ディスプレイに関連したQ&A情報は、「ぱそガイド」-「トラブル解決」-「Step 2 カテゴリー別Q&A」-「画面」でも紹介しています。

ディスプレイに何も表示されない

原因	対策
ディスプレイの設定が正しくない	このPARTの「電源を入れたが」の「電源ランプが点灯しているのに画面が表示されない」(p.170)をご覧になり、ディスプレイの設定が正しいか確認してください。
DirectXに対応したソフトを使っている	DirectXに対応したゲームなどのソフトを実行すると、画面が正常に表示されなくなることがあります。ソフトのマニュアルをご覧になり、表示解像度を320×200ドット、640×400ドット以外に変更すると、正しく表示されるようになることがあります。 メモ 320×200ドット、640×400ドットの解像度にしか対応していないソフトは、このパソコンでは正常に動作しないことがあります。

画面が突然真っ暗になった

原因	対策
省電力機能がはたらいて、液晶ディスプレイの電源が切れたかスタンバイ状態になっている	電源設定を確認してください。 電源管理ユーティリティの「電源設定の変更」で「モニタの電源を切る」を設定している場合、ポインティングデバイス(NXパッドやマウス)かキーボードを操作すると元の画面が表示されます。画面が表示されない場合は、電源ランプ(⏻)を確認してください。電源ランプが点滅している場合はスタンバイ状態になっています。復帰させると元の画面が表示されます。 参照 省電力機能を変更する方法→PART 2の「電源」の「省電力機能」の「省電力機能の設定」(p.49)

解像度や表示色を変更できない

原因	対策
「互換性の警告」の画面からWindowsを再起動した	「スタート」-「コントロールパネル」-「デスクトップの表示とテーマ」-「画面」で解像度や表示色の設定を変えると、「互換性の警告」が表示されることがあります。「互換性の警告」で「新しい表示設定でコンピュータを再起動する」を選んで「OK」をクリックします。Windowsを正常に再起動できない場合は、一度強制的にパソコンの電源を切った後、電源を入れなおしてください。 参照 強制的に電源を切る方法→このPARTの「電源を切ろうとしたが」の「強制的にパソコンの電源を切る」(p.173) チェック 「互換性の警告」が表示されている場合は、「再起動せずに新しい色の設定を適用する」を選んで「OK」をクリックしてからWindowsを再起動してください。

NXパッド/マウス

NXパッドとマウスに関連したQ&A情報は、「ぱそガイド」-「トラブル解決」-「Step 2 カテゴリー別Q&A」-「NXパッド/マウス」でも紹介しています。

何も反応しない、または反応が鈍い

原因	対策
指先やNXパッドが汚れている	指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れを拭き取ってから操作してください。
NXパッド操作時に、パッドの2カ所以上の場所に同時に触れている	パッドの2カ所以上の場所に同時に触れていると、正常に動作しません。1カ所だけに触れるようにしてください。
キーボードからのキー入力とNXパッドの操作を同時に行っている	購入時の設定では、誤動作防止のためにキー入力時にはNXパッドの操作ができないようになっています。キー入力が終わってからNXパッドを操作するか、または次の手順で設定を変更してください。 **1 「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタとその他のハードウェア」-「マウス」をクリックする** 「マウスのプロパティ」が表示されます。 **2 「タッピング」タブの「タイピング」の「キー入力時タップ・ポインタ移動しない」の☑をクリックして□にする**
NXパッドを使用しない設定にしている	BIOSセットアップユーティリティの「拡張設定」メニューの「NXパッド」を「使用する」に設定してください。 **参照** BIOSセットアップユーティリティの使い方→PART2の「BIOSセットアップユーティリティ」(p.122)

PART 4 トラブル解決Q&A

原因	対策
「マウスのプロパティ」の「パッドボタン設定」を変更している	パッドの動作を設定してください。 **1 「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタとその他のハードウェア」-「マウス」をクリックする** 「マウスのプロパティ」が表示されます。 **2 「ボタン」タブの「パッドボタン設定」の「スライドセンタスイッチ」に「Pad操作面機能停止」が設定されている場合は、それ以外を選択する** **3 「OK」をクリックする**
フリーズしている（ソフトやOS、周辺機器に異常が発生している）	ソフトや周辺機器に異常が発生すると、どんな操作をしてもパソコンやソフトが反応しなくなることがあります。「使用中にパソコンが動かなくなった」（p.168）または「パソコンの電源が切れない」（p.173）をご覧になり、対策を行ってください。

NXパッドやマウスの誤操作を防ぎたい

マウス使用時には、NXパッドの機能を無効にしておくことで、誤ってNXパッドに触れてしまったときに操作されてしまうのを防ぐことができます。

■NXパッドを無効にする

BIOSセットアップユーティリティの「拡張設定」メニューの「NXパッド」を「使用しない」に設定してください。

参照

BIOSセットアップユーティリティの使い方→PART2の「BIOSセットアップユーティリティ」（p.122）

■NXパッドを一時的に無効にする

スクロールスライドスイッチにNXパッドの有効／無効を切り替える機能を割り当てます。次の設定をした場合、スクロールスライドスイッチを1回押すとNXパッドが無効になります。もう1回押すとNXパッドが有効になります。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタとその他のハードウェア」-「マウス」をクリックする

「マウスのプロパティ」が表示されます。

2 「ボタン」タブの「パッドボタン設定」の「スライドセンタスイッチ」で「Pad操作面機能停止」を選択する

3 「OK」をクリックする

CD/DVDドライブ

CD/DVDドライブに関連したQ&A情報は、「ぱそガイド」-「トラブル解決」-「Step 2 カテゴリー別Q&A」-「CD/DVD」でも紹介しています。

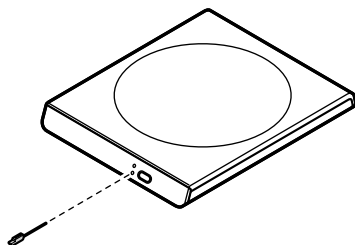
ディスクが取り出せなくなった

原因	対策
電源が入っていない	パソコンの電源が入っていないと、CD/DVDドライブのイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。
ソフトの異常動作などにより、ディスクが取り出せなくなっている	パソコンの電源も外付けのCD/DVDドライブの電源も入っているにもかかわらず、ディスクトレイが出てこなくなった場合は、ソフトの異常な動作などでディスクを取り出せなくなっていることが考えられます。このような場合は、次の「CD/DVDドライブのディスクトレイを強制的に開く」の手順で取り出してください。

CD/DVDドライブのディスクトレイを強制的に開く

1 CD/DVDドライブ裏面にはめ込んである強制イジェクトピンを取り出す

2 非常時ディスク取り出し穴に、強制イジェクトピンを差して押し込む

ディスクトレイが少し飛び出します。

3 ディスクトレイを手前に引き出し、ディスクを取り出す

周辺機器

周辺機器に関連したQ&A情報は、「ぱそガイド」-「トラブル解決」-「Step 2 カテゴリー別Q&A」-「周辺機器」でも紹介しています。

周辺機器を取り付けたらパソコンが正常に動かなくなった

原因

取り付けた周辺機器のドライバが原因でパソコンが起動しなくなっている

対策

セーフモードでWindowsを起動し、デバイスマネージャでドライバを設定してください。

1 セーフモードで起動し、デバイスマネージャを開く

参照

・セーフモードで起動する方法→このPARTの「トラブルが起こったときは」の「セーフモードでWindowsを起動する」(p.165)

・デバイスマネージャの開き方→「「デバイスマネージャ」の開き方」(p.iii)

2 新しく取り付けた周辺機器のアイコンをダブルクリックし、「全般」タブの「デバイスの使用状況」欄で無効の設定にする

新しく取り付けた周辺機器のドライバが無効になります。

3 Windowsを再起動する

チェック

ドライバを無効にしてもWindowsが正常に起動しない場合は、新しく取り付けた周辺機器を取り外し、周辺機器のドライバを最新のものに更新してください。

メモ

最新のドライバは、周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateを行うと最新のドライバをダウンロードして更新できることがあります。Windows Updateは「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Update」をクリックして行います。

4 デバイスマネージャを開き、新しく取り付けた周辺機器のドライバを更新する

原因	対策
割り込みレベルの設定が正しくない	新しく取り付けた周辺機器で使用する割り込みレベルがすでに使用済みであることが考えられます。デバイスマネージャで割り込みレベルが重なっていないか確認し、重なっている場合は設定を変更してください。 参照 デバイスマネージャの開き方→「「デバイスマネージャ」の開き方」(p.iii) メモ 上記のほかにも、「スタート」-「ヘルプとサポート」をクリックし、「問題を解決する」、「ハードウェアおよびシステム デバイスの問題」の順にクリックして、必要なトラブルシューティングを行ってみてください。

周辺機器を取り付けたが正しく動作しない

原因	対策
周辺機器がこのパソコンやWindows XPに対応していない	接続している周辺機器がこのパソコンやWindows XPに対応しているかを、周辺機器のマニュアルをご覧になり確認してください。
電源を入れる順序が正しくない	Windowsが起動してから周辺機器の電源を入れても、パソコン側で周辺機器を正しく認識しないことがあります。最初に周辺機器の電源を入れてからパソコンの電源を入れてください。 メモ USBまたはIEEE1394対応の周辺機器は、Windowsの起動後に電源を入れても正しく認識されます。
周辺機器が正しく接続されていない。または、周辺機器の設定が正しく行われていない	周辺機器によっては、設定スイッチの変更やドライバなどのインストールが必要な場合があります。周辺機器のマニュアルをご覧になり、設定を確認してください。

原因	対策
周辺機器が正常に動作していない	デバイスマネージャで取り付けた周辺機器のところに赤い「×」や黄色い「!」、緑色の「？」がついていないか確認してください。いずれかのマークがついている場合は、その周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。周辺機器のマニュアルやWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧になり、赤い「×」や黄色い「!」、緑色の「？」がつかないように設定しなおしてください。 **メモ** 上記のほかにも、「スタート」-「ヘルプとサポート」をクリックし、「問題を解決する」、「ハードウェアおよびシステム デバイスの問題」の順にクリックして、必要なトラブルシューティングを行ってみてください。

周辺機器のドライバをインストールできない、ドライバを更新できない

原因	対策
制限ユーザーでログオンしている	このパソコンを複数の人で使う設定にしている場合は、コンピュータの管理者に設定しているユーザーアカウントで周辺機器のドライバのインストール、更新を行う必要があります。いったんログオフし、コンピュータの管理者に設定しているユーザーアカウントでログオンしてから周辺機器のドライバをインストールしてください。

接続した周辺機器のドライブ名がおかしい

原因	対策
周辺機器を接続したまま省電力状態にした	お使いの周辺機器によっては、省電力状態にするとCD/DVDドライブのドライブ名が変更される場合があります。この場合は、Windowsを再起動してください。

その他

フルスクリーンになったコマンドプロンプト画面を元に戻したい

原因	対策
	【Alt】+【Enter】を押すと元の画面サイズに戻ります。

ハードディスクの空き容量が少なく表示される

原因	対策
ハードディスクの一部の領域に、再セットアップに必要なデータが格納されているためです	購入時には、ハードディスクの一部の領域に再セットアップに必要なデータが格納されているため、その分ハードディスクの空き容量が少なくなります。 メモ 再セットアップに必要なデータをCD-RまたはDVD-Rに書き出すことにより、その領域を使用できるようになります。 参照 「再セットアップ用CD/DVD-ROM」について→PART3の「その他の再セットアップ」(p.148)

PART 4 トラブル解決Q&A

トラブルチェックシート

お問い合わせの前に

お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの構成やトラブルの具体的な状況をお知らせいただく必要があります。
このシートに記入してからお問い合わせしていただくと、より的確で迅速なお答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

トラブルチェックシート 1　あなたのパソコンの構成

■ハードウェア（パソコンの情報を調べるには、「ぱそガイド」-「パソコンの情報」をクリックしてください。）

本体	
型名	
製造番号（パソコンの底部に記載されています）	
メモリの容量	MB（メガバイト）
メモリの容量を調べるには：「スタート」→「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウに「○○ MB RAM」と表示されます。「○○ MB RAM」という表示の「○○」がメモリの容量です。	
ハードディスクの容量	GB（ギガバイト）
ハードディスクの空き領域	GB（ギガバイト） MB（メガバイト）
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには：「スタート」→「マイコンピュータ」を開き、ハードディスクのアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックしてください。使用領域や空き領域が表示されます。	

周辺機器	品名・型名（メーカー名）
増設メモリ	
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
ネットワークボード	
PC カード	
その他の周辺機器	

■ソフトウェア

OS の種類とバージョン
□ Windows XP Home Edition　□ Windows XP Professional
トラブルが起きたときに起動していたソフト

トラブルチェックシート 2　具体的なトラブルの内容

●どんなトラブルが起きましたか？　トラブルの内容を書いてください。

（例：ワードパッドで入力したり印刷したりすると、突然止まってしまう。）

●画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか?
メッセージや番号を書いてください。

（例：「このプログラムは不正な処理を行ったので強制終了されます。終了しない場合は、プログラムの製造元に連絡してください。」と頻繁に表示される。）

●そのトラブルはどんなときに起きましたか?
「ソフト名」、「操作の状況」等を詳しく記入してください。

□パソコンを起動するたびに起きる

□そのソフトを起動するたびに起きる

□特定の操作を行うと起きる

□はじめて起きた

●その他に気づいたことがあれば書いてください。
トラブルに気付いた時期、その時に何か変わったことがなかったかなどについても記入してください。

（例：エラーメッセージが出ている状態で電源スイッチを操作し、何回か電源を切った。）

トラブルチェックシート 3　修理の際に必要な情報

次の内容は、修理受付の際に確認させていただいている内容です。修理時のトラブルを無くすために、次の内容について、必ず記入してください。

●本体とともに修理に出す周辺機器の構成が「トラブルチェックシート 1」の構成と異なる場合は、記入してください。

周辺機器	品名・型名（メーカー名）
増設メモリ	
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
ネットワークボード	
PC カード	
その他の周辺機器	

**●修理時にソフトウェアの初期化（ハードディスクの交換を含む）をさせていただく場合があります。
ソフトウェアの初期化に同意していただけますか?
初期化に同意していただけない場合は、修理できないことがあります。
また、初期化に同意する／同意しないに関わらず、修理依頼されるときには、事前にお客様が作成された データをバックアップしておいてください。
（バックアップを取る方法は、このマニュアルのPART3の「再セットアップの準備をする」またはWindowsのヘルプをご覧ください。）**

□初期化に同意する

□初期化に同意しない

**●システム設定（BIOS設定）を変更している場合は、変更内容について記載してください。
修理の際には、BIOS設定が工場出荷時の値に戻されます。BIOSの設定を変更されている場合は、必ず変更内容を書き留めておいてください。**

PART

5

付　録

仕様一覧

本体仕様一覧

LJ700

型名			LJ700/7E
型番			PC-LJ7007E
インストール OS・サポート OS			Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 1※1
CPU※2			超低電圧版インテル® Pentium® M プロセッサ 1GHz（拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジ搭載※3）
クロック周波数			1GHz
キャッシュメモリ	1次		インストラクション用32KB／データ用32KB（CPU内蔵）
	2次		1024KB（CPU内蔵）
バスクロック	システムバス		400MHz
	メモリバス		266MHz
チップセット			インテル® 855PM チップセット
メモリ（メインRAM）※4	標準容量		256MB（DDR SDRAM/SO-DIMM、PC2100対応）
	スロット数		1スロット［空きスロット1］
	最大容量		768MB※5
表示機能	内蔵ディスプレイ		低温ポリシリコン12.1型TFTカラー液晶（XGA（最大1,024×768ドット表示））
	ビデオ RAM		32MB
	グラフィックアクセラレータ		ATI社製MOBILITY™ RADEON™ 7500［AGP対応］
	解像度・表示色※6※7（別売の外付けディスプレイ接続時※8）	800×600ドット	最大1,677万色※9（最大1,677万色）
		1,024×768ドット	最大1,677万色※9（最大1,677万色）
		1,280×1,024ドット	最大1,677万色※9（最大1,677万色）
		1,600×1,200ドット	最大1,677万色※9（最大1,677万色）
		1,920×1,440ドット	最大1,677万色※9（最大1,677万色）
サウンド機能	音源／サラウンド機能		PCM録音再生機能（ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48KHz、全二重化対応）、MIDI音源機能（ソフトウェアMIDI〈XG、XG-Lite、GM、GS演奏モード対応、DLS2対応※10〉）、 マイクノイズ除去機能、3Dポジショナルサウンド
	スピーカ/スピーカ定格出力		内蔵ステレオスピーカ/0.48W＋0.48W
	サウンドチップ		ADI社製 AD1981B搭載

型名		LJ700/7E
型番		PC-LJ7007E
通信機能	FAX モデム[※11]	データ通信:最大56Kbps[※12](V.90対応) FAX通信:最大14.4Kbps(V.17)
	LAN	100BASE-TX/10BASE-T対応
	ワイヤレス LAN	トリプルワイヤレスLAN本体内蔵(IEEE802.11a/b/g 準拠)[※13]
入力装置	キーボード	本体一体型(キーピッチ17.55mm[※14]、キーストローク2.5mm)、JIS 標準配列(85キー)、右コントロールキー付き
	ワンタッチスタートボタン	ワンタッチスタートボタン搭載
	ポインティングデバイス	スクロールスライドスイッチ付きNX パッド標準装備
フロッピーディスクドライブ		—【別売、専用オプション(型番:PC-VP-WU14)[※15]】
ハードディスクドライブ[※16]		約80GB[※17](UltraATA-100)
CD/DVDドライブ		マルチプレードライブ(CD-R/RW with DVD-ROM)(PC-VP-BU14相当)添付(USB2.0接続、バッファアンダーランエラー防止機能付き)、スタンド付き
	速度	CD読出し:最大24倍速、CD-R書込み:最大24倍速、CD-RW書換え:最大10倍速[※18]、DVD-ROM読出し:最大8倍速
スロット	PC カード	Type II×1、PC Card Standard準拠、CardBus対応
	コンパクトフラッシュカード	Type II×1
インターフェイス	USB	コネクタ4ピン×3(USB2.0×3)
	IEEE1394 (DV)	4ピン×1
	ディスプレイ (アナログ)	ミニD-sub15ピン×1
	NEC 専用電源I/F	3ピン×1
	FAX モデム	RJ11モジュラコネクタ×1
	LAN	RJ45コネクタ×1
サウンド関係インターフェイス	マイク入力	ステレオミニジャック ×1(マイク入力インピーダンス10kΩ、入力レベル 5mVrms、バイアス電圧 3.7V)
	ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1(ヘッドフォン出力インピーダンス16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力 10mW/32Ω)
	ライン出力	ヘッドフォン出力と共用(ライン出力レベル 1Vrms)
バッテリ駆動時間[※20※21※22]	標準	約4.5時間
	標準+セカンドバッテリパック装着時	約10.5時間
バッテリ充電時間(電源ON時/OFF時)[※20]	標準	約2.4/約2.4時間
	標準+セカンドバッテリパック装着時	約5.8/約5.8時間

PART 5 付録

型名		LJ700/7E
型番		PC-LJ7007E
電源※23		リチウムイオンバッテリまたはAC100V～240V±10%、50/60Hz（ACアダプタ経由）※24
消費電力	標準	約16W
	最大	約50W
エネルギー消費効率（AC アダプタを含む）		S区分 0.00046
電波障害対策		VCCI ClassB
温湿度条件		5～35℃、20～80%（ただし、結露しないこと）
外形寸法	本体（突起部除く）	270（W）×238（D）×16.6～26.9（H）mm※25
	バッテリパック（標準添付）	約140.8（W）×42.6（D）×21.0（H）mm（PC-VP-BP31）
	セカンド バッテリパック（突起部除く）	約264.0（W）×226.1（D）×10.6（H）mm（PC-VP-BP32）
	AC アダプタ	約93（W）×40（D）×28.7（H）mm
質量	本体（標準バッテリパック含む）	約1.38kg※26
	バッテリパック（標準添付）	約220g(PC-VP-BP31)
	セカンドバッテリパック	約545g(PC-VP-BP32)
	AC アダプタ	約205g
主な添付品		ACアダプタ、ウォールマウントプラグ、マニュアル、回線ケーブル、ソフトケース、4in1 メモリーカードアダプタ※19
主なインストールソフト		Microsoft® Office Personal Edition 2003

※ 1 : 添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用できます。別売のWindows® XP Home Editionパッケージや Windows® XP Professionalパッケージをインストールおよび利用することはできません。
※ 2 : 使用環境や負荷によりCPU動作スピードをダイナミックに変化させる制御を搭載しています。
※ 3 : 電源の種類(AC電源、バッテリ)やシステム負荷に応じて動作性能を切り替える機能です。
※ 4 : 使用可能な増設メモリは、PK-UG-M036(256MB,DDR)、PK-UG-M037(512MB,DDR)を推奨します。
※ 5 : 最大メモリ容量にする場合、増設RAMボード(512MB)を1枚実装する必要があります。
※ 6 : 本体液晶ディスプレイより大きい解像度を選択した場合は、バーチャルスクリーン機能により実現します。
※ 7 : 本体液晶ディスプレイより小さい解像度を選択した場合、拡大表示機能により液晶画面全体に表示します。
※ 8 : 本機の持つ解像度及び色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同時表示可能。ただし、拡大表示機能を使用しない状態で、本体液晶ディスプレイより小さい解像度では、外付けディスプレイ全体には表示されません。
※ 9 : 1,677万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現します。
※10 : DLSは「DownLoadable Sounds」の略です。DLSを使うと、カスタム・サウンド・セットをSoundMAXシンセサイザにロードできます。
※11 : 回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。
※12 : 56Kbpsはデータ受信時の理論上の最大速度です。データ送信時は最大33.6Kbpsになります。
※13 : 通信速度:IEEE802.11b　最大11Mbps。IEEE802.11a/g　最大54Mbps。ただし通信速度はそれぞれの規格による速度(理論値)です。また、接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性はありません。IEEE802.11a(5GHz)ワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。電波状況によりIEEE802.11a/IEEE802.11b/IEEE802.11g通信を自動的に切り替える機能に対応しております。
※14 : キーボードのキーの横方向の間隔。キーの中心から隣のキーの中心までの長さ(一部キーピッチが短くなっている部分があります)。
※15 : 2モード(720KB/1.44MB)に対応しています(ただし720KBのフォーマットはできません)。
※16 : 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。
※17 : Windows® のシステムからは、容量がCドライブ:約65GB、Dドライブ:約3.7GB、残り:再セットアップ用として認識されます。
※18 : Ultra Speed CD-RWメディアはご使用になれません。
※19 : 4in1メモリーカードアダプタは、本カードアダプタを標準添付しているLaVie Jでのみ動作する専用設計品です。他の機種では使用できません。"メモリースティック PRO "の高速データ転送機能には対応しておりません。読み込み及び書き込み速度は "メモリースティック "と同等です。「マジックゲート」機能には対応しておりません。
※20 : バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって記載時間と異なる場合があります。
※21 : JEITAバッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。詳しい測定条件は、インターネット http://121ware.com/nsmobile/(各シリーズページ →「仕様一覧」)でご案内しています。
※22 : セカンドバッテリパックは別売です。セカンドバッテリパックは本体添付のバッテリと同時使用のみ可能です。
※23 : PC本体のバッテリは消耗品です。
※24 : 標準添付されている電源コードはAC100V用(日本仕様)です。
※25 : 高さ(ゴム足などの突起部除く)に関しては、部分的凹凸があるため、数値に幅があります。
※26 : PCカードスロット、コンパクトフラッシュカードスロットに何も装着していない状態。

その他の注意事項

［著作権に関するご注意について］
・お客様が複製元のCD-ROMやDVD-ROMなどの音楽コンテンツやビデオコンテンツの複製や改変を行う場合、複製元の媒体などについて、著作権を保有していなかったり、著作権者から複製や改変の許諾を得ていない場合、利用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。
・複製の際は、複製元の媒体の利用許諾条件、複製等に関する注意事項にしたがってください。
・お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかには、著作権法上、著作権者に無断で使用することはできません。
・コピーコントロールCDなど一部の音楽CDでは、再生やCD作成ができない場合があります。

［インターネット電話／インターネットテレビ電話について］
・ご利用の通信事業者、プロバイダ、お客様の環境によってはご利用になれない場合があります。事前に通信事業者やプロバイダにご確認ください。ADSLなどのブロードバンド環境でのご利用を推奨いたします。

［CD/DVDの読み込み／書き込みについて］
・メディアの種類、フォーマット形式によって読み取り性能が出ない場合があります。また、記録状態が悪い場合など、読み取りできない場合があります。
・12cm CD、DVD以外は使用できません。ハート型などの特殊形状をしたCDは故障の原因となりますので使用しないでください。
・設定した書き込み、書き換え速度を実現するためには、書き込み、書き換え速度に応じたメディアが必要になります。
・映像ソフトの再生は、ソフトウェアによるMPEG2再生方式です。NTSCのみ対応しております。Regionコード「2」、「ALL」以外のDVDビデオの再生は行えません。再生するDVDディスクおよびビデオCDの種類によってはコマ落ちする場合があります。リニアPCM（96kHz/24bit）で記録されている20kHz以上の音声信号は再生できません。DVDレコーダで記録されたDVDで、書き込み形式により再生できないものがあります。そのような場合はDVDレコーダの取扱説明書などをご覧ください。
・ライティングソフトウェアが表示する書き込み予想時間と異なる場合があります。

［周辺機器接続について］
・接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、本インターフェイスに対応している必要があります。
・接続する周辺機器によっては対応していない場合があります。動作確認済み機種についてはインターネットhttp://121ware.com/nsmobile/（各シリーズページ→「接続情報」）をご覧ください。
・USB1.1対応の周辺機器も利用できます。USB2.0で動作するにはUSB2.0対応の周辺機器が必要です。動作確認済み機種についてはインターネットhttp://121ware.com/nsmobile/（各シリーズページ→「接続情報」）をご覧ください。
・IEEE1394インターフェイスを装備した製品と他社製デジタルビデオカメラの連携は、機種により対応していない場合があります。動作確認済み機種についてはインターネットhttp://121ware.com/nsmobile/（各シリーズページ→「接続情報」）をご覧ください。

FAXモデム仕様一覧

項目		規格
適用回線		加入電話回線
ダイヤル方式		パルスダイヤル(10/20PPS) トーンダイヤル(DTMF)
FAX機能	交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3 ファクシミリ装置
	同期方式	半 2 重調歩同期方式
	通信規格※1	ITU-T V.17:14,400/12,000/9,600/7,200bps V.29:9,600/7,200bps V.27ter:4,800/2,400bps V.21ch2:300bps
	送信レベル	-11～-15dBm(出荷時 -15dBm)
	受信レベル	-10～-40dBm
	制御コマンド	EIA-578 拡張 AT コマンド(CLASS1)
データモデム機能	同期方式	全 2 重調歩同期方式
	通信規格※1	ITU-T V.90:56,000～28,000bps※2 V.34:33,600～2,400bps V.32bis:14,400～4,800bps V.32:9,600～4,800bps V.22bis:2,400/1,200bps V.22:1,200/600bps V.21:300bps
	エラー訂正	ITU-T V.42(LAPM) MNP class4
	データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
	送信レベル	-11～-15dBm(出荷時 -15dBm)
	受信レベル	-10～-40dBm
	制御コマンド	Hayes AT コマンド準拠※3

※ 1: 回線状態によって通信速度が変わる場合があります。
※ 2: 送信時は 33,600～2,400bps になります。
※ 3: AT コマンドについては、「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「AT コマンド」をご覧ください。

LAN仕様一覧

項　目	規　格
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX 使用時：100Mbps
	10BASE-T 使用時：10Mbps
伝送路	100BASE-TX 使用時：UTP カテゴリ 5
	10BASE-T 使用時：UTP カテゴリ 3 または 5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大 1024 台／ネットワーク
ステーション間距離 ネットワーク経路長※	100BASE-TX：最大約 200m ／ステーション間 10BASE-T ：最大約 500m ／ステーション間 最大 100m ／セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD 方式

※：リピータの台数など、条件によって異なります。

ワイヤレスLAN仕様一覧

■トリプルワイヤレスLAN

本機能はトリプルワイヤレスLANモデルのみの機能です。

●2.4GHzワイヤレスLAN機能

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b ARIB STD-T66
通信速度	IEEE802.11g：54/48/36/24/18/12/6（Mbps）※1 IEEE802.11b：11/5.5/2/1（Mbps）※1
変調方式	OFDM方式（54/48/36/24/18/12/6Mbps時） DS-SS方式（11/5.5/2/1Mbps時）
無線チャンネル	1～13ch
周波数帯域	2.4GHz帯域（2.4～2.4835GHz)
セキュリティ	WPA（Wi-Fi Protected Access）
暗号化機能	暗号化鍵長64bit、128bit、152bit※3

●5GHzワイヤレスLAN機能

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11a ARIB STD-T71
通信速度	54/48/36/24/18/12/6（Mbps）※1
変調方式	OFDM方式
無線チャンネル	34ch、38ch、42ch、46ch
周波数帯域	5GHz帯域（5.15～5.25GHz)※2
セキュリティ	WPA（Wi-Fi Protected Access）
暗号化機能	暗号化鍵長64bit、128bit、152bit※3

※1：各規格による速度（理論値）であり、実効速度とは異なります。
接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーションソフトウェアなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※2：5GHzワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
※3：ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bit、128bitです。

Total 802.11™ ABG ATHEROS

■2.4GHzワイヤレスLAN

2.4GHzワイヤレスLANは2.4GHzワイヤレスLANモデルのみの機能です。

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11b、ARIB STD-T66
通信速度	11/5.5/2/1（Mbps）※1
変調方式	DS-SS方式
無線チャンネル	1～11ch
周波数帯域	2.4GHz帯域（2.4～2.4835GHz)
セキュリティ	WPA（Wi-Fi Protected Access）
暗号化機能	暗号化鍵長64bit、128bit※2

※1：規格による速度（理論値）であり、実効速度とは異なります。
接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーションソフトウェアなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※2：ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスについては、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。詳しくは、『121wareガイドブック』をご覧ください。

チェック

NEC 121コンタクトセンターなどにこのパソコンの修理を依頼される際には、設定したパスワードは解除しておいてください。

■ NEC UltraCare SM International Service(海外保証サービス)

事前に登録されたお客様に対して、海外保証対象のパソコンにかぎり保証期間中に海外での修理サポートを行うサービスです。詳しくは、http://121ware.com/ultracare/jpn/をご覧ください。

消耗品/消耗部品について

本製品には、消耗品と消耗部品が含まれています。
安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。
特に長時間連続して使用する場合には、安全等の観点から早期の部品交換が必要です。

消耗品と消耗部品は次の通りです。

種類	種類の内容説明	該当品または部品(代表例)
消耗品	使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。 お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。 保証期間内であっても有償となります。	フロッピーディスク 媒体 CD-ROM 媒体 DVD-ROM 媒体 バッテリ 乾電池等
消耗部品	使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。 本体の保証期間内であっても部品代は有償となる場合があります。 詳しくは、121コンタクトセンターの故障診断・修理受付窓口にご相談ください。	液晶ディスプレイ、ファン、ハードディスクドライブ、キーボード、マウス、CD/DVD ドライブ、フロッピーディスクドライブ、NX パッド

- 記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。詳しくは添付のマニュアルの仕様一覧を参照ください。
- 消耗部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で約5年です。
(ご使用になる頻度や条件により差が生じます。また、上記の目安時期前に交換が必要となることがあります。)
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、PC本体、オプション製品については製造打切後6年です。

PART 5 付録

アプリケーションのサポート窓口一覧

ソフトの製造各社のサポート窓口一覧です。下記のソフトについて質問・相談がある場合は、各々の窓口までお問い合わせください。

- 年末、年始および各社の休業日は、サポートを休ませていただく場合があります。
- お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめのうえ、おかけください。
- お使いの機種によって、インストールまたは添付されているソフトは異なります。

NECのパソコンやソフトウエア、周辺機器について→「ぱそガイド」-「NECのサービス＆サポート」

ソフトウェア名	サポート窓口
Office Personal 2003（Office 2003 モデル） ・Word 2003（Office 2003 モデル） ・Excel 2003（Office 2003 モデル） ・Outlook 2003（Office 2003 モデル） ・Home Style+（Office 2003 モデル）	「Office Personal 2003」パッケージにあるマニュアルを参照の上、マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。 URL:http://support.microsoft.com/default.aspx?LN=JA
BIGLOBE でインターネット BIGLOBE インターネット無料体験	・BIGLOBE カスタマーサポートインフォメーションデスク サービス内容や事務手続きに関するお問い合わせ Tel:0120-86-0962（フリーダイヤル） 03-3947-0962（携帯・PHS・CATV 電話の場合） 毎日　午前 9 時〜午後 10 時 ・BIGLOBE カスタマーサポートサポートデスク　24 時間 365 日受付 操作方法や環境設定に関するお問い合わせ Tel:0120-68-0962（フリーダイヤル） 03-3941-0962（携帯・PHS・CATV 電話の場合） 午前 0 時〜午前 9 時の時間帯は、緊急を要する技術対応のみとなります。 ・BIGLOBE カスタマーサポートホームページ インターネットの接続設定、最新のアクセスポイント、事務手続きの方法など BIGLOBE を利用する上で必要な情報をご案内しています。 URL:http://support.biglobe.ne.jp/ URL:http://support.biglobe.ne.jp/ask.html （「お問い合わせフォーム」をご利用ください）

ソフトウェア名	サポート窓口
@nifty でインターネット	ニフティ株式会社 ・@nifty 入会センター 入会案内 Tel:0120-816-042 （携帯・PHS・海外の場合：03-5753-2374） ・@nifty サービスセンター テクニカルサポート／@nifty サービス内容案内 Tel:0120-818-275 （携帯・PHS・海外の場合：03-5753-2373） （ナビダイヤル日本全国 8.5 円／3 分：0570-000-881） ・@nifty インフォメーションセンター パスワード再発行／各種手続き／個人会員の解約 Tel:0120-842-210 （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806） 毎日　午前 9 時〜午後 9 時（ただしビルの電源工事などによる休みを除く） URL:http://www.nifty.com/supinfo/
AOL7.0 for Windows	AOL メンバーサポートセンター Tel:0120-275-265 携帯・PHS・海外の場合 03-5331-7400 毎日 午前 9 時〜午後 9 時
DION サインアップ	KDDI カスタマーサービスセンター DION に関するお問い合わせ 毎日 午前 9 時〜午後 9 時 ・サービス内容に関するお問い合わせ Tel:0077-7192（無料） メールでのお問合せはホームページから URL:http://www.dion.ne.jp/cs/ ・接続・設定などに関するお問い合わせ Tel:0077-7084（無料） ADSL サービスについては 24 時間受付中！（「フレッツ・ADSL コース」については、お問い合わせ内容によってはお答えできない場合がありますのでご了承ください。） メールでのお問合せはホームページから URL:http://www.dion.ne.jp/cs/
Fresh Voice	Fresh Voice サポートデスク 〒101-0025　東京都千代田区神田佐久間町 3 丁目 23 番地スタウトビル 3F Fresh Voice でのサポート 月〜土曜日　午前 10 時〜午後 8 時 電話・メールでのサポート 月〜金曜日　午前 10 時〜午後 8 時（ただし祝祭日、年末年始を除く） ボイス電話番号：7405001 Tel:03-5822-2877　E-mail:fv@anets.co.jp URL:http://community.freshvoice.net/faq/mailform.html

ソフトウェア名	サポート窓口
OCN スタートパック	OCN スタートパックヘルプデスク TEL:0120-047747 月～金曜日　午前 9 時～午後 9 時 土・日曜日・祝祭日　午前 9 時～午後 5 時 E-mail:info@ocn.ad.jp
ODN（Open Data Network）	ODN サポートセンター ・簡単インターネットコースサービス案内 Tel:0088-86（無料） ・簡単インターネットコース接続サポート Tel:0088-85（無料） 午前 9 時～午後 6 時（年中無休） URL:http://www.odn.ne.jp/　E-mail:odn-support@odn.ad.jp ・快適ブロードバンドコースサービス案内 Tel:0088-222-375（無料） ・快適ブロードバンドコース接続サポート Tel：0088-228-325（無料） 午前 9 時～午後 6 時（年中無休） URL:http://www.odn.ne.jp/adsl/　E-mail:info-adsl@odn.ad.jp
オンラインサービスのご紹介 BIGLOBE チャレンジホームページ BIGLOBE IP 電話 BIGLOBE 動画集 BIGLOBE フォトサービス BIGLOBE トラベル BIGLOBE 語学・資格 ドラネット パル BIGLOBE ゲーム BIGLOBE ショッピング	・BIGLOBE カスタマーサポートインフォメーションデスク サービス内容や事務手続きに関するお問い合わせ Tel:0120-86-0962（フリーダイヤル） 03-3947-0962（携帯・PHS・CATV 電話の場合） 毎日　午前 9 時～午後 10 時 ・BIGLOBE カスタマーサポートサポートデスク　24 時間 365 日受付 操作方法や環境設定に関するお問い合わせ Tel:0120-68-0962（フリーダイヤル） 03-3941-0962（携帯・PHS・CATV 電話の場合） 午前 0 時～午前 9 時の時間帯は、緊急を要する技術対応のみとなります。 ・BIGLOBE カスタマーサポートホームページ インターネットの接続設定、最新のアクセスポイント、事務手続きの方法など BIGLOBE を利用する上で必要な情報をご案内しています。 URL:http://support.biglobe.ne.jp/ URL:http://support.biglobe.ne.jp/ask.html （「お問い合わせフォーム」をご利用ください）
PC ポータル	NEC 121 コンタクトセンター Tel:0120-977-121（フリーコール） 03-3768-2337（携帯・PHS などの場合）
So-net 簡単スターター	So-net インフォメーションデスク Tel:0570-00-1414（全国共通） 携帯・PHS の場合 札幌 011-711-3765　仙台 022-256-2221 東京 03-3446-7555 名古屋 052-819-1300　大阪 06-6577-4000 広島 082-286-1286　福岡 092-624-3910 毎日 午前 9 時～午後 9 時 Fax:03-3446-7557 URL:http://www.so-net.ne.jp/support/ E-mail:info@so-net.ne.jp

ソフトウェア名	サポート窓口
かるがるネット	サポートセンター 〒104-0032　東京都中央区八丁堀 3-1-1 京橋第三長岡ビル 2F Tel:03-3537-1325　Fax:03-3537-1326 月～金曜日　午前 10 時～午後 6 時 URL:http://www.karugaru.net/ E-mail:info@karugaru.net
POINT サインアップナビ	POINT コールセンター お問い合わせ、サポート Tel:0081-1588（無料）　0120-719-033（無料） 携帯・PHS の場合 03-4316-4050（有料） 月～金曜日　午前 10 時～午後 9 時 土・日・祝祭日　午前 10 時～午後 6 時 URL:http://www.point.ne.jp/ 資料請求:http://www1.poweredcom.net/dataqa/
AquaReal LE	NEC CD-ROM ソフトサポートセンター Tel:03-5821-1339 Fax:03-5821-1615 月～金曜日　午前 10 時～午後 6 時（ただし祝祭日を除く） URL:http://www.neic.co.jp/pchome/
筆王	NEC インターチャネル株式会社　バンドルソフトユーザーサポートセンター Tel:03-5767-1386 月～金曜日 午前 10 時～午後 6 時（ただし祝祭日を除く）
BeatJam ホームページミックス	ジャストシステムサポートセンター 東京 03-5412-3980　大阪 06-6886-7160 月～金曜日　午前 10 時～午後 7 時（特別休業日を除く） 土・日・祝祭日　午前 10 時～午後 5 時（特別休業日を除く） URL:http://support.justsystem.co.jp/
BIGLOBE ネットプリントサービス	NEC BIGLOBE カスタマーサポート URL:http://support.biglobe.ne.jp/ask.html (「お問い合わせフォーム」をご利用ください)
BIGLOBE ツールバー	BIGLOBE サーチ事務局 E-mail:search@bcs.biglobe.ne.jp
NETGAMECENTER Cyber 囲碁 Epoch Online Gunbound Helbreath	NETGAMECENTER ユーザーサポートセンター E-mail:gate-support@terrac.co.jp
DVD-MovieAlbum	松下電器産業株式会社　お客様ご相談センター Tel:0120-878-365 毎日 午前 9 時～午後 8 時 URL:http://panasonic.jp/support/cn/

ソフトウェア名	サポート窓口
DVD MovieWriter VideoStudio	ユーリードシステムズ株式会社 製品のサポートを受けられる際には、シリアル NO. が必要になります。 あらかじめご準備ください。 また、電話によるお問い合わせは、新製品発売時期や時間帯などによって繋がりにくくなります。その際には、ユーリードシステムズ株式会社のサポートページをご覧になられるか、サポートページ内に用意されております「お問い合わせフォーム」をご利用の上お問い合わせください。 ・インターネットによるお問い合わせ URL:http://www.ulead.co.jp/tech/tech.htm ※「お問い合わせフォーム」は上記ページよりアクセスしていただけます。 ・電話によるお問い合わせ Tel:03-5491-5662 月～金曜日 午前 10 時～ 12 時 午後 1 時～ 5 時 （ただし祝日、年末年始を除く）
JWord Plugin	株式会社アクセスポート　JWord サポートチーム URL:http://www.jword.jp/help/ E-mail:support@jword.jp
McAfee VirusScan Online	・サービス全般のお問い合わせ カスタマーオペレーションセンター Tel:0570-030-088 E-mail:mo_coc@nai.com 月～金曜日 午前 9 時～午後 5 時（ただし、祝祭日を除く） ・技術的なお問い合わせ McAfee Online テクニカル・サポートセンター 午前 9 時～午後 9 時（年中無休） Tel:0570-060-033 E-mail:mo_tsc@nai.com
RecordNow DX	イージーシステムズジャパン株式会社 ESJ カスタマーセンター Tel:03-5643-8724 月～金曜日 午前 10 時～午後 5 時 30 分 （ただし祝祭日、年末年始及び特別休業日を除く） Fax:03-5643-8737
Virtual CD 7	キヤノンシステムソリューションズ株式会社 キヤノンシステムソリューションズ・サポートセンター 〒 108-0073　東京都港区三田 3-11-34 センチュリー三田ビル Tel:03-5730-7197 月～金曜日 午前 10 時～ 12 時 午後 1 時～ 4 時 30 分 （ただし休業日、祝祭日を除く） Fax:03-5730-7122（24 時間受付） ・サポート URL:http://canon-sol.jp/supp/index.html ・製品情報 URL:http://canon-sol.jp/product/vd/index.html E-mail:vd-info@canon-sol.co.jp

ソフトウェア名	サポート窓口
WinDVD	インタービデオジャパンテクニカルサポート Tel:03-5447-0576 月〜金曜日 午前9時30分〜12時 午後1時30分〜午後5時 （ただし休業日、祝祭日、年末年始を除く） Fax:03-5447-6689 月〜金曜日 午前9時30分〜12時 午後1時30分〜午後5時 （ただし休業日、祝祭日、年末年始を除く） URL:http://www.intervideo.co.jp E-mail:support@intervideo.co.jp ・お問い合わせの前に インタービデオジャパンのウェブサイトでは、24時間いつでもご利用いただけるように「よくあるご質問(FAQ)」ページを用意しています。お問い合わせの前に、必ずご覧ください。また、お使いのコンピュータのモデル名と合わせてご連絡をお願いします。
駅すぱあと	株式会社ヴァル研究所　ユーザーサポートセンター 〒166-8565　東京都杉並区高円寺北2-3-17 高円寺NKビル Tel:03-5373-3522　Fax:03-5373-3523 月〜金曜日　午前10時〜12時 午後1時〜5時 （ただし祝祭日を除く） URL:http://ekiworld.net/
蔵衛門デジブック	トリワークスカスタマーサポートセンター Tel:03-5468-5258　Fax:03-5468-1250 月〜金曜日 午前10時〜午後5時（ただし夏期、年末年始、祝祭日を除く） URL:http://www.kuraemon.com E-mail:support@triworks.com
携帯マスター	・技術的なお問い合わせ ジャングルユーザーサポートセンター Tel:03-5280-9264　Fax:03-5280-9266 月〜金曜日 午前10時〜12時 午後1時〜5時 （ただし休業日、夏期休暇、祝祭日、年末年始を除く） URL:http://www.junglejapan.com/ktai/nec10/support.html ※携帯マスター用NEC純正ケーブルご利用以外はサポート外となります。 ※携帯電話自体の機能や使い方に関するご質問はサポート外となります。 ※無料サポートは最初にサポートをお受けになった日付から起算して90日間となります。それ以降は、製品がサポート対象である限り、有償サポートを受けていただくことが可能となります。
百年プリント@コニカ （店頭受け取り）	コニカ オンラインラボサポートセンター Tel:0120-201-990 月〜金曜日　午前9時〜午後5時（ただし祝祭日を除く） E-mail:info@konica-lab.net

PART 5 付録

ここに記載されていないソフトについては、以下へお問い合わせください(ソフトチョイス対応アプリケーションやオンラインサービスは除きます。それぞれのサポート窓口へお問い合わせください。ソフトチョイス対応アプリケーションのお問い合わせ先については、「ソフトナビゲーター」の「このソフトについて」ボタンをクリックして表示される画面を、オンラインサービスのサポート窓口については接続したホームページをご覧ください)。

NEC 121コンタクトセンター

・ まずは「121ware.com」でQ&A情報を探す
URL　http://121ware.com/support/

・ 答えが見つからない場合はNEC 121コンタクトセンターへ

フリーコールTel:0120-977-121　9:00～17:00(祝日を除く)
※ 携帯電話・PHSなど、フリーコールがご利用いただけないお客様は次の電話番号へおかけください。
Tel:03-3768-2337(東京)(通話料お客様負担)　9:00～17:00(祝日を除く)
※ 土・日も受付をしております。
電話音声ガイドをご確認の上、「使い方」のご相談窓口にお問い合わせください。
また、登録番号の確認を行いますので、お客様が所有している121wareお客様登録番号をお手元に用意しておかけください。

譲渡／廃棄について

このパソコンを譲渡するには

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件にしたがってください。また、譲渡を受けた場合は、所定の手続きにしたがって、「お客様登録」を行ってください。

譲渡するお客様へ

本製品を第三者に譲渡（売却）するときは、以下の条件を満たす必要があります。

①本機に添付されるすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと

②各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

③譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること（このパソコンに添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください）

・ パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをおすすめします。

・ ご登録されている製品を第三者に譲渡（売却）する場合は、121ware登録センター（TEL: 0120-469-121）までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

譲渡を受けたお客様へ

NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」での登録をお願いします。http://121ware.com/my/にアクセスし、「新規登録」でログインID（121コミュニケーションID）を取得したあと、保有商品情報の「新規・追加登録」から登録することができます。あるいは、お客様登録に必要な以下の事項を記入し、官製ハガキまたは封書でお送りください。

●記載内容

①本体型名および保証書番号（本機背面または本機底部に記載の型名および製造番号）

②あなたの氏名、住所、電話番号、Eメールアドレス、中古購入された場合はその購入先、購入日

●宛先

〒183-8501　東京都府中市日新町1-10（NEC府中事業場）
NEC 121ware登録センター係行

このパソコンを廃棄するには

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく回収再資源化対象商品です。
PCリサイクルマークが銘板(パソコン本体の底面に型番や製造番号が記載されているラベル)に表示されている、又は、PCリサイクルマークのシールが貼り付けられている弊社製品は弊社が責任をもって回収・再資源化いたします。
当該製品が『ご家庭』から排出された場合であって、弊社規約に基づく回収・再資源化にご協力頂ける場合は、別途回収再資源化料金をご負担頂く必要はありません。
廃棄時の詳細については、NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(URL:http://121ware.com/support/)をご覧ください。

なお、下記の窓口でも廃棄についてお問い合わせいただけます。

NEC 121コンタクトセンター

廃棄のお問い合わせ　受付時間:9:00〜17:00(祝日は除く)

0120-977-121

電話番号はよくお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。
携帯電話、PHSなどフリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。

03-3768-2337(東京)(通話料お客様負担)

当該製品が『事業者』から排出される場合　(産業廃棄物として廃棄)
当社は資源有効利用促進法に基づき、積極的に当社の回収・リサイクルシステムにしたがって資源の有効利用につとめています。
廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。(URL:http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/shigen_menu.html)

※本文に記載された電話番号や受付時間などは、将来予告なしに変更することがあります。

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

パソコンを使っていくと、ハードディスクにお客様が作成、使用した重要なデータが記録されていきます。
そのため、このパソコンを譲渡または廃棄するときに、これらの重要なデータ内容を消去することが必要となります。ところが、ハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、実はそれほど簡単なことではありません。

一般に「データを消去する」という場合、次の操作を指します。
・ データを「ごみ箱」に捨てる
・「削除」操作を行う
・「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
・ ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
・ 再セットアップを行い、工場出荷状態に戻す

これらの操作を行うと、パソコン内部では、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更され、データが見えなくなっているだけという状態になります。
つまり、データは一見消去されたように見えますが、WindowsなどのＯＳから、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータはハードディスク内に残っているのです。

データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があり、悪意のある人によって、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

お客様が廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、ハードディスクに記録された全データをお客様の責任において消去することが非常に重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス（共に有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

また、ハードディスク上のソフトウェア（ＯＳ、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。詳しくは「このパソコンを譲渡するには」（p.２１１）をご覧になり、十分な確認を行ってください。

メモリカードの廃棄・譲渡時の内部メモリ上のデータ消去に関するご注意

メモリカードを使っていくと、メモリカードに、お客様が作成、使用したデータが記録されていきます。
そのため、メモリカードを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。ところが、メモリカードに書き込まれたデータを消去するのは、それほど簡単ではありません。

一般に「データを消去する」という場合、次の操作を指します。
・ データを「ゴミ箱」に捨てる
・ メモリーカードに対応した機器で「削除」操作を行う
・「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
・ メモリーカードに対応した機器で初期化（フォーマット）する

これらの操作を行うと、メモリカードに記録されたデータのファイル管理情報が変更され、データが見えなくなっているだけという状態になります。
つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのＯＳから、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで、本来のデータは残っているという状態です。

データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があり、悪意のある人によって、メモリカードの重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

お客様がメモリーカードの廃棄・譲渡等を行う際に、メモリーカードに記録された重要なデータの流出トラブルを回避するために、メモリーカードに記録された全データをお客様の責任において消去することが非常に重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(共に有償)を利用するか、メモリカードを金槌などで物理的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

また、メモリーカードに記録されたソフトウェア（ＯＳ、アプリケーションソフトなど）を削除せずにメモリカードを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認を行ってください。

バッテリパックのリサイクルについて

・本機はリチウムイオン電池を使用しています。
・リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換後不要になった電池、および使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、以下の拠点に設置した充電式電池回収BOXに入れてください。
　ー個人ユーザ様：充電式電池リサイクル協力店くらぶ
　　※詳細は、電池工業会ホームページ（http://www.baj.or.jp/）をご覧ください。
　ー法人ユーザ様：ＮＥＣ法人向け二次電池持ち込み拠点
　　※ 詳細は、ＮＥＣ環境ホームページ（http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/indes_denchi.html）をご覧ください。
・リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
　ー製品、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
　ー（社）電池工業会小型二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局
・リサイクル時のご注意
　ー電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
　ー外装カバー（被膜・チューブなど）をはがさないでください。
　ー電池を分解しないでください。

索　引

索引

英数

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

■ 技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータには電気通信事業法第50条第1項の規定に基づき技術基準認証済みのいずれかの通信機器が搭載されています。認証番号は次の通りです。

通信機器	認証番号
モデム	A02-0604JP
トリプルワイヤレスLAN	D03-0431JP
2.4GHzワイヤレスLAN	D03-0001JPB

本機の内蔵モデムは、諸外国で使用出来る機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他国モードに設定してご使用になりますと電気通信事業法(技術基準)に違反する行為となります。なお、ご購入時の使用国モード(初期値)は「日本モード」となっておりますので、設定を変更しないでそのままご使用ください。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■ 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

■ 瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合]
本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリパックを取り付けている場合]
本装置にバッテリパック実装時は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■ レーザ安全基準について

このパソコンには、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1適合のCD/DVDドライブが内蔵または添付されています。

■FCC自己適合宣言書

NEC Solutions America,

DECLARATION OF CONFORMITY

We, the Responsible Party

NEC Solutions America
15 Business Park Way
Sacramento, Ca.95828

declare that the product

LaVie

is in conformity with part 15 of the FCC Rules. Operation of this product is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

ご注意

（1）本書の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
（4）当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5）本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6）海外における保守・修理対応は、海外保証サービス［NEC UltraCare[SM] International Service］対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/ultracare/jpn/
（7）本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindowsは本機でのみご使用ください。また、本機に添付のDVD-ROM、CD-ROMは、本機のみでしかご利用になれません（詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください）。
（8）ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
（9）ハードウェアの保守情報をセーブしています。

"MagicGate Memory Stick"("マジックゲートメモリースティック")および"Memory Stick"("メモリースティック")、MEMORY STICK、、MEMORY STICK PRO、MEMORY STICK DUO、"MagicGate"("マジックゲート")、MAGICGATEはソニー株式会社の商標です。
SDロゴは、商標です。
BIGLOBE、121ポップリンクおよびPCGATEは、日本電気株式会社の商標または登録商標です。
その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアなどの正式名称

Windows、 Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 1または Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 1
Windows XP Home Edition	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 1
Windows XP Professional	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 1
Windows Media Player	Microsoft® Windows Media™ Player9
Windows Messenger	Microsoft® Windows® Messenger Version4.7
Office Personal 2003	Microsoft® Office Personal Edition 2003(Microsoft Office Word 2003、Microsoft Office Excel 2003、Microsoft Office Outlook® 2003、Microsoft Office Home Style+)
Word 2003	Microsoft® Office Word 2003
Excel 2003	Microsoft® Office Excel 2003
Outlook 2003	Microsoft® Office Outlook® 2003
Home Style+	Microsoft® Office Home Style+
インターネット エクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 6.0 Service Pack 1
Outlook Express	Microsoft® Outlook® Express 6.0
BIGLOBEで インターネット	BIGLOBEインターネット接続ツール
インターネット無料体験	BIGLOBEインターネット無料体験
BIGLOBEツールバー	BIGLOBEツールバー Ver.2.0
@niftyでインターネット	@niftyでインターネットfor Windows® Version5.00
Acrobat Reader	Adobe® Acrobat® Reader®
携帯マスター	携帯マスター 10 for NEC
DVD-MovieAlbum	DVD-MovieAlbumSE 3
DVD MovieWriter	Ulead® DVD MovieWriter™ for NEC Ver.2
So-net簡単スターター	So-net簡単スターター Ver.2.3
DIONサインアップ	DIONサインアッププログラム

POINTサインアップナビ	POINT(POWERED INTERNET)サインアップナビ Ver.1
RecordNow DX	Sonic RecordNow DX
VideoStudio	Ulead® VideoStudio® 6 SE Basic
ホームページミックス	ホームページミックス /R.2
蔵衛門デジブック	蔵衛門10デジブック for NEC
かるがるネット	かるがるネット接続ソフト
バックアップ-NX	バックアップ-NX(パソコン乗換機能付)
翻訳アダプタII CROSSROAD	翻訳アダプタII CROSSROAD(Ver3.0)
PCGATE Personal	PCGATE Personal Ver2.1
BeatJam	BeatJam for NEC
WinDVD	InterVideo® WinDVD™ 4 for NEC

◆ 上記以外の正式名称について

上記以外のソフトウェアの正式名称につきましては、「スタート」-「ぱそガイド」の「ヘルプ」をご覧ください。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。（ただし、海外保証サービス[NEC UltraCare℠ International Service]対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを実施致しております。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare℠ International Service can be provided with hardware maintenance service outside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy,Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

＊1：NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

このマニュアルは再生紙
（古紙率:表紙50%、本文100%）
を使用しています。

リチウムイオン電池の
リサイクルにご協力ください。

ユーザーズマニュアル

LaVie

初版 2003年11月
NEC
P
853-810601-199-A
Printed in Japan